magicolor® 2300 DL
ユーザーズガイド

1800687-014B

はじめに

弊社プリンタをお買い上げいただきありがとうございます。magicolor 2300 DL は、Windows および TCP/IP ネットワーク環境でお使いいただくのに最適なプリンタです。

ユーザー登録について

プリンタ本体には、ユーザー登録カードが入っています。必要事項をご記入の上、弊社にご返送ください。

ユーザー登録の情報をもとに保証書を発行致しますので、かならずユーザー登録カードをご返送頂けますようお願いいたします。

弊社の Web からもユーザー登録をすることができます。

URL：http://www.minolta-qms.co.jp/Support/Userreg/index.html

登録商標および商標

QMS、MINOLTA-QMS ロゴおよび magicolor は、MINOLTA-QMS, Inc. の登録商標です。

Minolta はミノルタ株式会社の商標です。

本書に記載されているその他の製品名は各社の商標または登録商標です。

本製品は Peerless Systems Corporation の Software Developer Kit を使用しています。
Copyright © 2001 Peerless Systems Corporation. All rights reserved.

本製品は Novell, Inc. の NEST Office SDK を使用しています。
Copyright © 1999 Novell, Inc. NEST is a trademark of Novell, Inc. in the United States and other countries.

ソフトウェアの所有権について

本プリンタに添付のソフトウェアは著作権により保護されています。本ソフトウェアの著作権は、MINOLTA-QMS, Inc. に帰属しています。いかなる形式または方法においても、またいかなる媒体へも MINOLTA-QMS, Inc. の書面による事前の承諾なく、添付のソフトウェアの一部または全部を複製・修正・ネットワーク上などへの掲示・譲渡もしくは複写することはできません。

Copyright © 2002 by MINOLTA-QMS, Inc. All Rights Reserved.

著作権について

本書の著作権は MINOLTA-QMS, Inc. に帰属します。書面による MINOLTA-QMS, Inc. の承諾なく、本書の一部または全部を複写もしくはいかなる媒体への転載、いかなる言語への翻訳をすることはできません。

Copyright © 2002 by MINOLTA-QMS, Inc., One Magnum Pass, Mobile, AL 36618. All Rights Reserved.

本書について

本書は、改良のため予告なしに変更することがあります。本書の内容に関しては、誤りや記述漏れのないよう万全を期して作成しておりますが、本書中の不備についてお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。

MINOLTA-QMS, Inc. は、本書による特定の商用などの目的に対する利用についての保証はいたしておりません。

本書の記載事項からはずれて本機を操作・運用したことによる偶然の損害、特別・重大な損害などの影響について、MINOLTA-QMS, Inc. は保証・責任を負いかねますのでご了承ください。

日本語

もくじ

日本語

1

ソフトウェアのインストール

日本語

付属の CD-ROM について（Utilities and Documentation CD-ROM）

プリンタドライバとユーティリティ

プリンタドライバ

プリンタドライバ	機能
プリンタドライバ（Windows Me/98/95 用）	Windows 上で、給紙・排紙設定や複雑なレイアウトなど、プリンタの全機能を設定できます。 詳しくは「プリンタドライバの使いかた」（p.41）を参照してください。
プリンタドライバ（Windows XP 用）	
プリンタドライバ（Windows 2000 用）	
プリンタドライバ（Windows NT 4.0 用）	

ユーティリティ

ユーティリティ	機能
プリントモニタ（magicolor TCP/IP ポート）	Windows Me/98/95 で使用する TCP/IP Port です。（Windows XP/2000 では Microsoft が提供している Standard TCP/IP Port を、Windows NT4.0 では Microsoft が提供している LPR Port を使用します。）
ステータスディスプレイ	詳しくは「ステータス ディスプレイ の使いかた」（p.53）を参照してください。

CD-ROM の詳しい内容については、「CD-ROM リファレンスガイド」を参照してください。

プリンタドライバとソフトウェア

必要なシステム

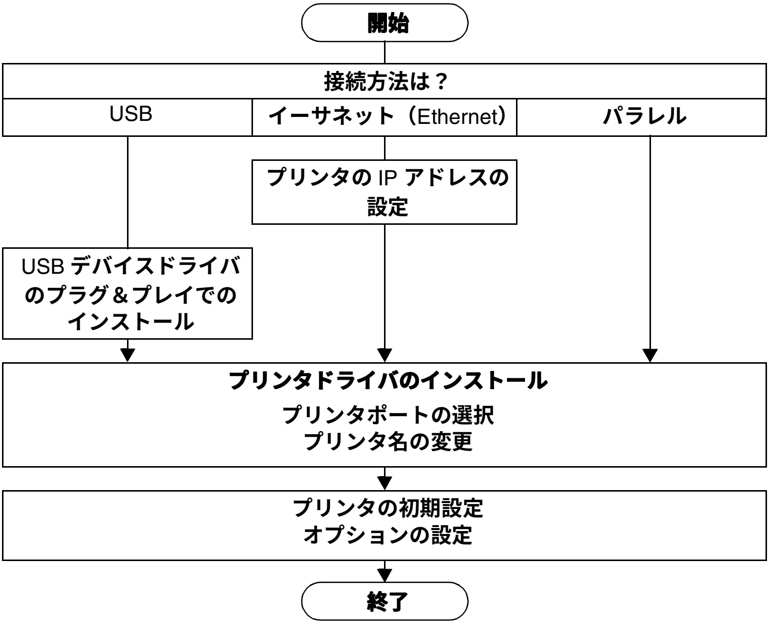
- **コンピュータ：**
  IBM 互換 PC で 200 MHz 以上の CPU（300 MHz 以上を推奨)
  Intel Pentium/Celeron シリーズ、AMD K6/Athron/Duron プロセッサ、またはそれらに準ずるプロセッサ
- **オペレーティングシステム：**
  Microsoft Windows 95, Windows 98/98SE, Windows Me, Windows NT 4.0 Workstation, Windows 2000 Professional, Windows XP Home Edition/ Professional

- **空きハードディスク容量：**
  - 約 20 MB（プリンタドライバとステータスディスプレイ）
  - 約 16 MB（画像処理）
- **メモリ：**
  - Windows 95/98/98SE/NT 4.0 Workstation の場合
    32 MB 以上の RAM
  - Windows Me の場合
    32 MB 以上の RAM
  - Windows 2000 Professional の場合
    64 MB 以上の RAM
  - Windows XP Home Edition/Professional の場合
    128 MB 以上の RAM
- CD-ROM ドライブ
- **インターフェイス：**
  10BaseT/100BaseTX イーサネット（Ethernet）インターフェイスポート、
  IEEE 1284 準拠タイプ B パラレルポート、
  USB Revision 1.1 準拠インターフェイスポート

日本語

プリンタドライバとソフトウェアのインストール

プリンタドライバのインストールについて



■ 上図はプリンタソフトウェアをインストールする流れを示しています。

動作環境

	USB	IEEE 1284 パラレル	イーサネット（Ethernet）
Windows XP	○	○	○
Windows Me	○	○	○
Windows 2000	○	○	○
Windows 98 SE	○	○	○
Windows 98	×	○	○
Windows 95	×	○	○
Windows NT 4.0	×	○	○

○：対応
×：非対応

インストールを始める前に、次の点を確認してください。

- **お使いのコンピュータのオペレーティングシステムは？**
- **コンピュータの** CD-ROM **ドライブのドライブ名は？（例えば** D、E **など）**
- **プリンタにオプションユニットは装着されていますか？**
- **プリンタはネットワークに接続されていますか？**
  それともパラレルまたは USB **ケーブルで直接コンピュータに接続されていますか？**

イーサネット接続の場合のプリンタの設定方法については、「NIC **リファレンスガイド」を参照してください。**

USB 接続の場合

お使いの OS **が** USB **に対応しているか、**USB **デバイスドライバがすでにインストールされているかを確認してください（「スタート」メニューから「設定」－「コントロール パネル」－「システム」を選択し、「デバイス マネージャ」タブをクリックして確認できます）。**

USB **デバイスドライバは、**Windows 2000/XP **ではお使いの** Windows **の** CD-ROM **内にあります。**Windows 98/Me **では、**magicolor 2300 DL **の** Utilities and Documentation CD-ROM **内の「**\drivers\japanese\win9x**」フォルダにあります。**

本プリンタは、OS **が** Windows 95 **および** Windows NT 4.0 **のコンピュータには** USB **接続できません。**

日本語

1 コンピュータとプリンタの電源をオンにします。

2 プリンタのメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」と表示されたら、Utilities and Documentation CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブに入れます。

CD-ROM の自動インストールプログラムが自動的に起動します。

3 CD-ROM の自動インストールプログラムを終了します。

4 USB ケーブルの一方をコンピュータの USB ポートに接続し、もう一方をプリンタの USB ポートに接続します。

コンピュータのディスプレイに「新しいハードウェアの検出」メッセージが表示されます。

- Windows 98/Me をお使いの場合は、Utilities and Documentation CD-ROM の「\Drivers\Japanese\Win9x」を参照して USB デバイスドライバをインストールします。
- Windows 2000/XP をお使いの場合は、自動で USB デバイスドライバがインストールされます。

5 USB デバイスドライバのインストールが完了したら、プリンタの追加メッセージが表示されます。

メッセージにしたがってプリンタドライバをインストールます。

- プリンタのモデルを選択する画面で、[ディスクを使用] をクリックし、Utilities and Documentation CD-ROM の「\Drivers\Japanese」フォルダより、お使いのオペレーティングシステムを選択してください。
（Windows Me の場合は「Win9x」を選択してください。）

6 インストールが終了したら、CD-ROM を取り出し、大切に保管してください。

7 お使いのプリンタのオプション構成に合わせて、プリンタドライバの設定を行います。詳しくは、プリンタドライバのオンラインヘルプを参照してください。

パラレル接続およびイーサネット接続の場合

1 あらかじめプリンタの設定、ケーブルの接続等を行います。
詳しくは、「NIC リファレンスガイド」を参照してください。

2 Utilities and Documentation CD-ROM を CD-ROM ドライブに入れ、プリンタドライバをインストールします。詳しくは、「CD-ROM リファレンスガイド」を参照してください。

インストールプログラムが自動的に開始しない場合は、CD-ROM 中の “ Setup.exe ” をダブルクリックしてください。

3 プリンタドライバおよびソフトウェアのインストールが終了したら、メインメニューに戻ります。

4 画面左下の をクリックして画面を終了します。

5 Utilities and Documentation CD-ROM をコンピュータの CD-ROM ドライブから取り出し、大切に保管してください。

プリンタドライバのオプション／初期設定の設定

プリンタを使い始める前に、プリンタドライバの初期設定を確認／変更しておくことをお薦めします。また、オプションを装着している場合は、プリンタドライバでそのオプションを設定しておいてください。

1 プリンタドライバの設定画面を表示させます。

■ Windows XP/2000 の場合
プリンタウィンドウで「magicolor 2300 DL」プリンタアイコンを右クリックし、メニューから「印刷設定」をクリックします。

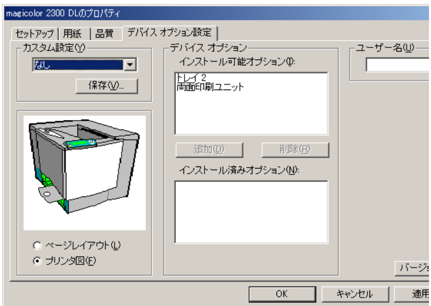
■ Windows Me/98/95 の場合
プリンタウィンドウで「magicolor 2300 DL」プリンタアイコンを右クリックし、メニューから「プロパティ」をクリックします。

■ Windows NT 4.0 の場合
プリンタウィンドウで「magicolor 2300 DL」プリンタアイコンを右クリックし、メニューから「ドキュメントの既定値」をクリックします。

2 オプションを装着している場合は、手順 3 へ進んでください。
オプションを装着していない場合は、手順 6 へ進んでください。

3 「デバイスオプション設定」タブをクリックします。

4 「インストール可能オプション」から装着しているオプションを選択し（一度に 1 つ）、［追加］をクリックします。そのオプションは、「インストール済みオプション」リストに移動します。

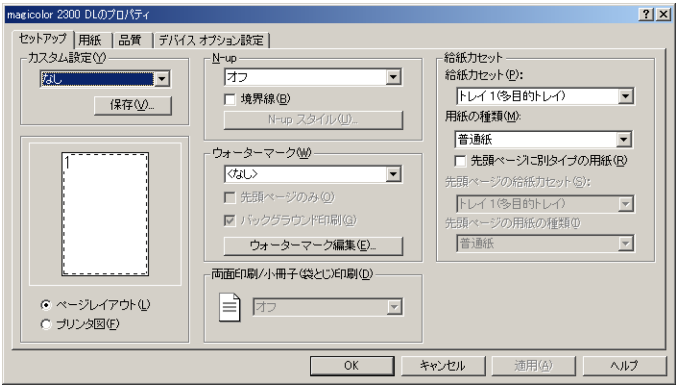


間違って装着されていないオプションを追加した場合は「インストール済みオプション」リストからそのオプションを選択し、［削除］をクリックしてください。

5 装着されているオプションをすべて設定したら、［適用］をクリックします。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

6 **「セットアップ」、「用紙」、「品質」タブをクリックします。**
使用する用紙の種類やサイズなど、プリンタの初期設定を選択します。



7 **[適用] をクリックします。**

お使いの OS によっては、[適用] ボタンが表示されません。
その場合はそのまま次の手順へ進んでください。

8 **[OK] をクリックし、プリンタの設定ダイアログを閉じます。**

日本語

日本語

プリンタドライバのアンインストール

ここでは、magicolor 2300 DL プリンタドライバをアンインストールする場合の手順について説明します。

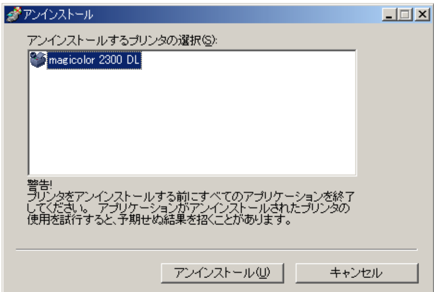
プリンタドライバを削除するアンインストールプログラムを実行すると、USB デバイスドライバも同時に削除されるようになっています。

プリンタドライバのアンインストール

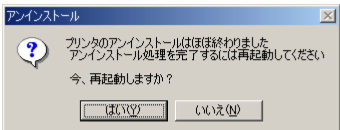
1 Windows 95/98/Me/2000/NT 4.0 の場合、［スタート］メニューの［プログラム］から［magicolor 2300 DL ユーティリティ］を選択し、［magicolor 2300 DL ユーティリティ］をクリックします。

Windows XP の場合、［スタート］メニューの［すべてのプログラム］から［magicolor 2300 DL ユーティリティ］を選択し、［magicolor 2300 DL ユーティリティ］をクリックします。

2 アンインストールダイアログで「magicolor 2300 DL」を選択し、［アンインストール］をクリックします。



3 右図のようなダイアログが表示されたら、［はい］をクリックしてコンピュータを再起動します。



アンインストール終了後に、コンピュータを再起動することをお薦めします。

2

用紙の取り扱い

はじめに

この章では、用紙の取り扱い方、使用できる用紙、用紙のセットのしかた、用紙の保管方法について説明しています。

日本語

- 用紙は印刷面を上に、短辺を先（給紙口側）に挿入してください。
- すべての用紙種類で、用紙の端から 4 mm を除く領域が印刷可能領域になります。（ただし、349.6 mm 以上の長さの用紙の場合、用紙の後端から 10 mm のエリアについては保証されません。）
- 印刷するデータのページフォーマットや印刷設定については、各アプリケーションの説明書を参照してください。
- 自動両面印刷は、坪量 60 ～ 90 g/m^2 の普通紙に対応しています。「使用できる用紙サイズ」(p.13) を参照してください。

ご注意

MINOLTA-QMS 推奨の用紙をお使いください。インクジェットプリンタ用など、サポートしていない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。また、その場合は保証の対象外となります。

使用できる用紙サイズ

どのような種類・サイズの用紙が使えますか？

用紙	用紙サイズ ミリ（mm）	用紙サイズ インチ（in.）	給紙トレイ *	両面印刷	モード	坪量
A4	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1/2	○	普通紙	60 〜 90 g/m²
A5	148.0 × 210.0	5.9 × 8.3	1	×		
B5 (JIS)	182.0 × 257.0	7.2 × 10.1	1	×		
フリーサイズ（最小値）	92.0 × 210.0	3.6 × 8.3	1	×		
フリーサイズ（最大値）	216.0 × 356.0	8.5 × 14.0	1	×		
エグゼクティブ	184.0 × 267.0	7.25 × 10.5	1	×		
リーガル	215.9 × 355.6	8.5 × 14.0	1	○	普通紙	
レター	215.9 × 279.4	8.5 × 11.0	1	○		
A4 OHP フィルム	210.0 × 297.0	8.2 × 11.7	1	×	OHP フィルム	推奨用紙のみ
官製ハガキ	100.0 × 148.0	3.9 × 5.8	1	×	官製ハガキ	
封筒 洋形 0 号	120.0 × 235.0	4.7 × 9.25	1	×	封筒	
封筒 洋形 2 号	114.0 × 162.0	4.5 × 6.375	1	×		
封筒 洋形 6 号	98.0 × 190.0	3.875 × 7.5	1	×		
厚紙	A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズ		1	×	厚紙	91 〜 163 g/m²

備考：* 給紙トレイ 1 = 多目的トレイ、
給紙トレイ 2 = オプションの給紙ユニット（A4 サイズのみ）

日本語

用紙種類

普通紙以外の特殊紙に印刷する際には、十分な品質の印刷結果が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。
推奨用紙については、「用紙に関する情報」（p.31）を参照してください。

用紙はセットするまで包装紙の中に入れ、平らな場所で保管してください。

普通紙

容量	トレイ 1 （多目的トレイ）	200 枚（80 g/m^2 用紙の場合） 坪量によって容量が異なります。
	トレイ 2 （オプションの給紙ユニット）	500 枚（80 g/m^2） A4 サイズ用紙のみ対応 坪量によって容量が異なります。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	MINOLTA-QMS 推奨用紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	普通紙	
坪量	60 〜 90 g/m^2	
両面印刷	「使用できる用紙サイズ」（p.13）を参照。	

以下の用紙を使用してください。

- 販売店で取り扱っている OA 用紙、再生紙など、レーザープリンタ対応の普通紙

ご注意

以下に示す用紙は使用しないでください。印刷品質の低下や、紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

以下のような用紙は使用しないでください。

- 表面加工されている用紙（カーボン紙、デジタル光沢紙、カラー加工された紙など）
- カーボン紙
- 感熱紙、熱転写用紙
- 水転写用紙
- 感圧紙
- インクジェットプリンタ用紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、はがきなど）
- 一度印刷に使用した用紙
  ・インクジェットプリンタで印刷された用紙
  ・モノクロ／カラーのレーザープリンタ／コピー機で印刷された用紙
  ・熱転写プリンタで印刷された用紙
  ・他のプリンタやファクス機で印刷された用紙
- 湿気のある用紙
  湿度が 35% 〜 85% の場所に用紙を保管してください。湿気があるとトナーは用紙にうまく付着しません。
- 重なっている用紙
- 粘着性のある用紙
- 折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
- 穴の開いた用紙、パンチ穴加工された用紙、破れた用紙
- なめらかすぎる用紙、あらすぎる用紙、織られたもの
- 表と裏で紙質（あらさ）が異なる用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 静電気がたまっている用紙
- アルミ箔や金箔、光っているもの
- 感熱紙、または定着部の温度（180°C）に耐性がない用紙
- 変則的な形の（長方形でない、正しい角度で裁断されていない）用紙
- のり、テープ、クリップ、ステープル、リボン、留め金、ボタンがついているもの
- 酸性のもの
- その他対応していない用紙

厚紙

坪量 90 g/m² より厚い用紙を厚紙として扱います。どの厚紙の場合も、十分な印刷品質が得られるか、あらかじめ試し印刷をしてください。

容量	トレイ 1	50 枚（用紙の厚さにより変わります） A4/ レターサイズまたはそれ以下の用紙サイズにのみ対応しています。
	トレイ2	対応していません。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	厚紙	
プリンタドライバでのモード設定	厚紙	
坪量	91 〜 163 g/m²	
両面印刷	対応していません。	

以下のような使いかたはしないでください。

- 給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

封筒

封筒の表面（宛先（表）面）のみに印刷が可能です。種類によっては、3 枚構造になっているものがあります（表面／裏面／折り返し）。その場合、重なっている部分の印刷が欠けたり、かすれる可能性があります。

容量	トレイ 1	10 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ2	対応していません。
印刷方向	印刷面が上向き	
適合種類	洋形 0 号、洋形 2 号、洋形 6 号	
プリンタドライバでのモード設定	封筒	
坪量	91 〜 120 g/m²	
両面印刷	対応していません。	

以下の封筒を使用してください。

- 接合部が斜めで、折り目と縁がしっかりしている事務用封筒

  印刷時に高温のローラー部を通過するため、封にのりがついた封筒はのりが接着してしまう場合があります。乳液質の接着剤が使われている封筒をお使いください。

- レーザープリンタ対応の封筒
- 乾いている封筒

以下のような封筒は使用しないでください。

- 折り返し部分にのりがついている封筒、封にのりがついた封筒
- テープシール、金属の留め具、クリップ、ファスナー、はがして使用するシールがついている封筒
- 窓付きの封筒
- 表面が粗い和紙などの封筒
- 定着部の熱（180°C）で溶けたり、燃焼、蒸発、有毒ガスを発生するものが使われている封筒
- すでにのりでとじられている封筒

ラベル紙

ラベル紙は、表面の紙（印刷面）、シール部分、台紙で構成されています。

- 表面の紙は、普通紙の仕様にしたがってください。
- 表面の紙が台紙全体を覆い、シール部分が表面に出ない用紙を使用してください。

ラベル紙にも連続印刷することができます。ただし、用紙の品質や印刷環境によっては、給紙がうまくいかない場合があります。問題が起こったときは、連続印刷を中止し、一度に 1 枚だけ印刷するようにしてください。

お使いのアプリケーションにしたがってラベル紙用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。ラベル紙への印刷についての詳細は、お使いのアプリケーションのマニュアルを参照してください。

容量	トレイ 1	50 枚（ラベル紙の厚さにより変わります）
	トレイ2	対応していません。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	MINOLTA-QMS 推奨用紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	ラベル用紙	
坪量	60 〜 163 g/m²	
両面印刷	対応していません。	

以下のラベル紙を使用してください。

■ レーザープリンタ用ラベル紙

■ A4 またはレターサイズのラベル紙

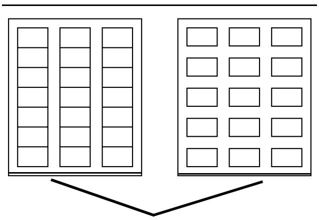
以下のようなラベル紙は使用しないでください。

■ はがれやすいラベル紙

■ 裏紙がはがされていたり、のりがむき出しになっているラベル紙
ラベルが定着ユニットに貼り付き、紙づまりが起こる可能性があります。

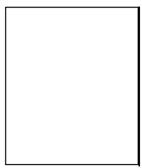
■ 最初から裁断されているラベル紙

使用禁止



型抜きされて台紙面が
露出しているラベル紙

使用可



断裁されていない
ページ全体のラベル紙

はがき

お使いのアプリケーションにしたがってはがき用のデータを作成してください。また、あらかじめ普通紙で試し印刷をして確認してください。

日本語

容量	**トレイ 1**	50 枚（用紙の厚さにより変わります）
	トレイ2	対応していません。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	官製はがき	
プリンタドライバでのモード設定	官製ハガキ	
両面印刷	対応していません	

以下のはがきを使用してください。

■ 官製はがき（100 × 148 mm）
（市販のはがきには、使用できないものがあります。）

以下のようなはがきは使用しないでください。

■ 光沢のあるもの

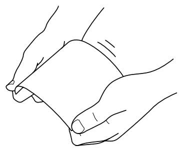
■ 曲がっているもの

■ インクジェットプリンタ用はがき

■ 切り込みやミシン目のあるはがき

■ すでに印刷されているもの、色加工されているもの
（はがきの製造時に表面に散布される、紙同士の貼り付きを防止する粉が給紙ローラーに付着して給紙できなくなる場合があります。）

はがきが曲がっているときは、トレイ 1 にセットする前に曲がっている部分を平らにしておいてください。



OHP フィルム

ご注意

必ず MINOLTA-QMS で推奨している OHP フィルムを使用してください。サポートしていない用紙を使用すると、プリンタが故障するおそれがあります。また、その場合は保証の対象外となります。

セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。静電気が発生し、印刷時のエラーの原因になります。

一度に多くの OHP フィルムをセットしないでください。また、OHP フィルムの表面を手で触わると、印刷品質に影響を及ぼす可能性があります。

通紙部は清潔に保ってください。OHP フィルムは通紙部の汚れの影響を大きく受けてしまいます。用紙の先端／後端に影がみられる場合は、7 章「メンテナンス」を参照してください。

静電気が起きないように、印刷後すぐに OHP フィルムを排紙トレイから取り除いてください。

OHP フィルムを連続印刷することができますが、用紙の質、静電気の発生、印刷環境によっては、うまく給紙できない場合があります。

お使いのアプリケーションにしたがって OHP フィルム用のデータを作成してください。また、印刷がずれないか、普通紙で試し印刷をして確認してください。

一度に多くの OHP フィルムをセットして問題がある場合は、10 枚以下の用紙をセットしてください。一度に多くの OHP フィルムをセットすると、静電気が発生し、給紙トラブルの原因になります。

容量	トレイ 1	50 枚（OHP フィルムの厚さにより変わります）
	トレイ2	対応していません。
印刷方向	印刷面が上向き	
用紙種類	MINOLTA-QMS 推奨用紙を使用してください。	
プリンタドライバでのモード設定	OHP フィルム	
両面印刷	対応していません	

以下の OHP フィルムを使用してください。

- MINOLTA-QMS 推奨の OHP フィルム

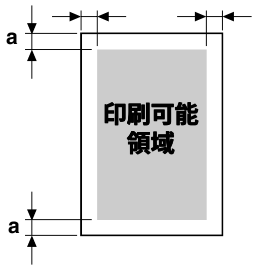
以下のような OHP フィルムは使用しないでください。

- 静電気が発生し、互いにくっつくもの

印刷可能領域

印刷保証範囲と印刷可能範囲は？

すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。



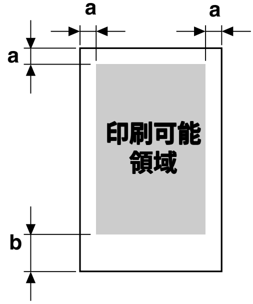
a = 4 mm

用紙サイズには印刷可能領域（画像のゆがみや欠損がなく印刷される最大領域）があります。

この領域は、ハードウェアによる制限（物理的な用紙サイズ、プリンタで必要なマージン）とソフトウェアによる制限（ページ全体のフレームバッファ用のメモリ量）によって決まります。すべての用紙サイズで、用紙の端から 4 mm を除く領域が、印刷可能領域になります。

印刷保証外領域 — 長さ 349.6 mm 以上の用紙

長さ 349.6 mm 以上の用紙の場合、用紙後端から 10 mm の領域の印刷は保証されません。

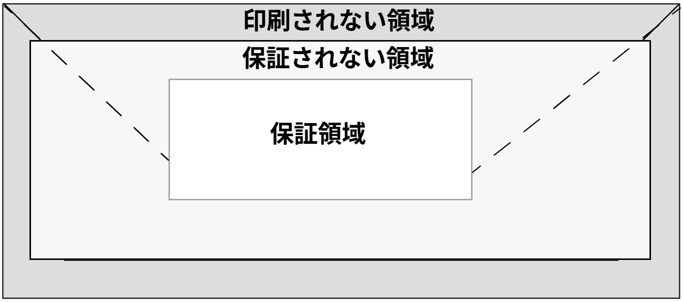


a = 4 mm
b = 10 mm

封筒の印刷保証領域

封筒では、封の部分は印刷保証外です。また、印刷保証外領域は封筒の種類によって異なります。

封筒の印刷方向は、お使いのアプリケーションによって決まります。



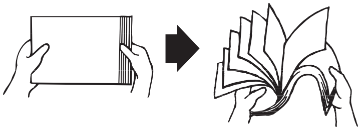
ページのマージン

マージンはお使いのアプリケーションで設定されています。アプリケーションによってはページサイズやマージンをユーザー設定できますが、標準のページサイズとマージンしか選択できないアプリケーションもあります。標準のフォーマットを選ぶと、印刷可能領域の制限のために、作成した部分が印刷されない場合があります。アプリケーションでページサイズのユーザー設定を行うときは、最適な結果が得られるように印刷可能領域内におさまるサイズを設定してください。

用紙のセット

用紙のセットのしかたは？

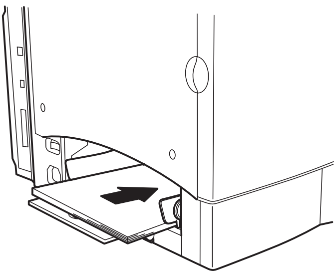
用紙の包みの中のいちばん上といちばん下の紙を取り除きます。約 200 枚の用紙の束を給紙トレイにセットする前にさばいて静電気が起きないようにします。

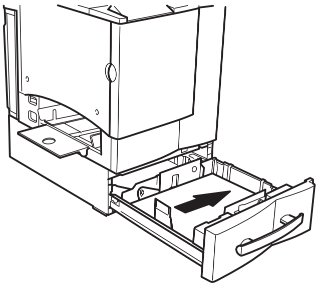


OHP フィルムはさばかないでください。

ご注意

本機は、幅広い種類の用紙に対応できますが、普通紙以外の種類については、専門的に印刷するようには設計されていません。
普通紙以外の用紙（厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムなど）を連続印刷すると、印刷品質が劣化したりマシンの寿命が短くなる場合があります。





用紙を補給するときは、まずトレイ内に残っている用紙をすべて取り除き、補給する用紙とあわせ、用紙の端をそろえてから給紙トレイにセットしてください。

トレイ 1（多目的トレイ）

トレイ 1 では、本機でサポートするすべての用紙サイズ・用紙種類を給紙することができます。A4 サイズの普通紙は、トレイ 1・トレイ 2 のどちらからでも印刷できます。

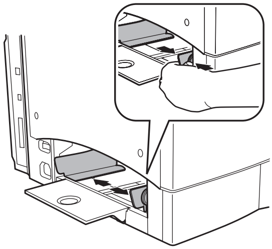
対応用紙については 「使用できる用紙サイズ」（p.13）を参照してください。

普通紙の補給

1. トレイ 1 にすでにセットされている用紙のサイズを変更したい場合は、トレイ 1 の用紙をすべて取り出します。

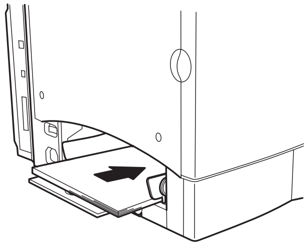
2. 用紙ガイドをセットする用紙の幅に合わせます。

   手前側の用紙ガイドのつまみをにぎりながら、用紙ガイドをスライドさせます。

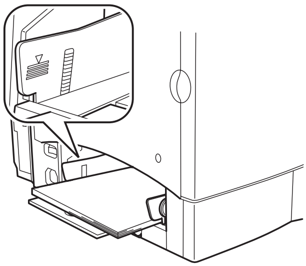


3. 用紙の印刷される面を上にし、短辺（またはレターヘッド）を給紙口側にしてセットします。

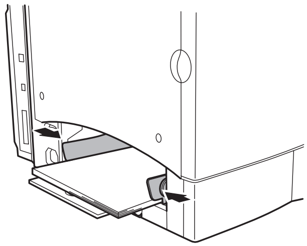
   用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。



トレイ内部の左側にある最大補給量マーク（▼）より上に用紙をセットしないでください。マークを超えてセットすると、正しく給紙されない場合があります。
トレイ 1 では約 200 枚までセットできます。（80 g/m² の A4 ／レターサイズの用紙の場合）



4 用紙ガイドを用紙に合わせます。



ご注意

用紙を挿入したら、必ず用紙ガイドを合わせてください。用紙ガイドが用紙の端にきちんと合っていないと、印刷品質の問題や紙づまり、プリンタの故障の原因になります。

5 プリンタドライバで適切な用紙サイズ・種類を選択し、印刷を実行します。

その他の用紙種類の補給

普通紙以外の用紙をセットする場合、プリンタドライバの「用紙の種類」メニューを正しく設定してください。（厚紙、封筒、ラベル、OHP フィルムなど）

最適な印刷結果を得るためには、トレイ 1 にセットした用紙の種類をプリンタドライバで設定することが重要です。

封筒の補給

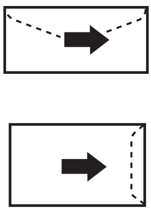
1 なめらかに給紙されるように、封筒の束をさばきます。

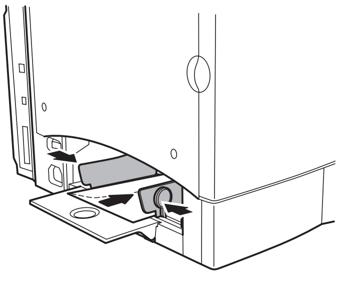
2 封筒を平らな場所に置き、封筒の隅を押さえて伸ばします。

3 封筒の束を平らな場所で軽くトントンと打ち付けて端をそろえます。

4 封筒のフタの側を下にしてトレイ 1 にセットします。フタが封筒の短辺にある場合、フタの側から挿入します。

大量に印刷する前に、1 枚の封筒で試し印刷をしてください。





5 用紙ガイドを封筒の幅に合わせます。

用紙ガイドが封筒の端に隙間なくまっすぐあたっていること、そして用紙ガイドで強くはさみすぎて封筒が反り上がっていないことを確認してください。

6 プリンタドライバで「封筒」モードに設定し、印刷を実行します。

7 封筒が排紙トレイに出力されたらすぐに（温度が低くなる前に）各封筒のフタを開けてください。

日本語

ラベル紙の補給

ラベル紙はトレイ 1 にセットしてください。

1 ラベル紙の印刷面を上にしてトレイ 1 にセットします。

2 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

3 プリンタドライバで用紙種類を「ラベル用紙」モードに設定し、用紙サイズを指定した後、印刷を実行します。

官製はがきの補給

官製はがきはトレイ 1 にセットしてください。

1 官製はがきの印刷面を上にしてトレイ 1 にセットします。

2 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

3 プリンタドライバで用紙種類と用紙サイズを「官製ハガキ」に設定し、印刷を実行します。

厚紙の補給

給紙トレイの中で厚紙を他の用紙と混ぜないでください。紙づまりの原因になります。

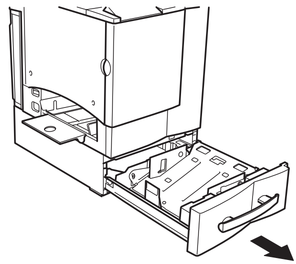
1 厚紙の印刷面を上にしてトレイ 1 にセットします。

2 用紙ガイドを用紙の幅に合わせます。

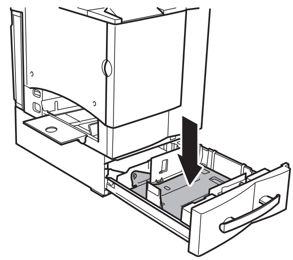
3 プリンタドライバで用紙種類を「厚紙」モードに設定し、用紙サイズを指定した後、印刷を実行します。

トレイ 2（オプションの給紙ユニット）

1　給紙トレイを引き出します。



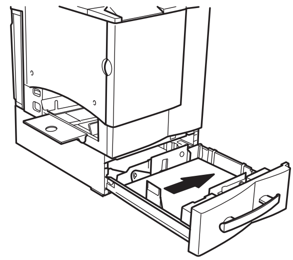
2　用紙押し上げ板をロックするまで押し下げます。



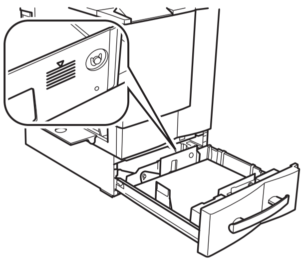
3　トレイの右側に用紙の短辺（またはレターヘッド）がくるように、印刷面を上にして用紙をセットします。

用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印が書かれていることがあります。

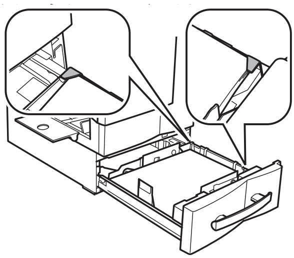
用紙の追加補給はしないでください。



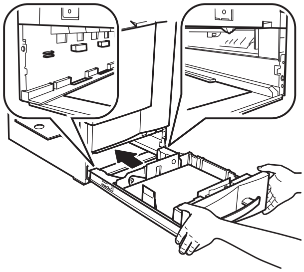
トレイの中に最大補給量マークがあります。トレイ 2 には 500 枚（80 g/m² の普通紙の場合）まで用紙をセットできます。



用紙はガイドの間に少し余裕がある状態でセットされていること、用紙の角がトレイ右側の 2 箇所にある用紙分離ツメの下に入っていること、用紙が曲がっていないことを確認してください。



4 トレイを給紙ユニットに挿入します。



トレイを給紙ユニットから完全に取り出している場合は、トレイを少し持ち上げながら給紙ユニット側のレールにあわせてトレイを挿入してください。

5 プリンタドライバで適切な用紙サイズ・種類を選択し、印刷を実行します。

両面印刷

用紙の両面に印刷をするには？

両面プリントユニット（オプション）をご用意ください。取り付け方法は「両面プリントユニット の取り付け」（p.128）を参照してください。
両面印刷の際には、裏映りしにくい用紙を使用してください。裏映りする用紙のときは、片面に印刷した内容が裏面から透けて見えますのでご注意ください。また、お使いのアプリケーションでマージンについても確認してください。あらかじめ試し印刷をし、裏映りの度合いを確認してください。

ご注意

自動両面印刷は、60 〜 90 g/m² の普通紙にのみ対応しています。
「使用できる用紙サイズ」（p.13）を参照してください。

90 g/m² 以上の厚紙、封筒、ラベル紙、官製はがき、OHP フィルム、および不定形紙では、両面印刷できません。

日本語

自動両面印刷の方法は？

両面プリントユニットがプリンタに装着されている状態で、両面印刷を行います。両面プリントユニットがプリンタに装着されていないと、両面印刷を選択しても片面印刷になります。

本機には 32 MB のメモリが標準で搭載されています。自動両面印刷を行うには、両面プリントユニットと十分な容量のメモリの搭載、そしてプリンタドライバでの両面印刷設定が必要です。たとえば、解像度 1200 × 600 dpi で A4 両面でモノクロ印刷する場合、標準的なビジネス文書であれば 32 MB のメモリで両面印刷が可能です。容量が非常に大きなデータ（1 ページあたりの内容が多いもの・画像を含むものなど）の両面印刷には 64 MB 以上のメモリが必要になる場合があります。メモリは 288 MB まで増設可能です。容量が非常に大きなデータを両面印刷するとき、プリンタに搭載されているメモリ容量では足りない場合は、解像度を 600 × 600 dpi に下げて印刷します。

標準で搭載されている 32 MB のメモリでは、標準的なビジネス文書を解像度 1200 × 600 dpi でカラー印刷できます。
以下の表では、各種条件で必要な最大メモリ容量（例えば、用紙いっぱいの写真画像のような印字率の高いデータを印刷する際に必要なメモリ容量）を示します。

印刷設定 用紙サイズ	片面印刷					両面印刷				
	600 × 600 dpi	1200 × 600 dpi	1200 × 600 ﾗｲﾝｱｰﾄ dpi	2400 × 600 dpi	2400 × 600 ﾗｲﾝｱｰﾄ dpi	600 × 600 dpi	1200 × 600 dpi	1200 × 600 ﾗｲﾝｱｰﾄ dpi	2400 × 600 dpi*	2400 × 600 ﾗｲﾝｱｰﾄ dpi
モノクロ印刷										
A4/ ﾚﾀｰ	32 MB	32 MB	32 MB	32 MB	32 MB	32 MB	32 MB	32 MB	64 MB	64 MB
カラー印刷										
A4/ ﾚﾀｰ	32 MB	64 MB	64 MB	64 MB	64 MB	128 MB	128 MB	128 MB	256 MB	256 MB
備考：	* 標準的なビジネス文書（例えば、画像を含まないもの）の場合、32 MB でも 2400 × 600 dpi での両面印刷が可能です。									

お使いのアプリケーションでの両面印刷用マージンの設定方法を確認してください。

1 両面印刷する場合：

a トレイ 1 の場合、用紙の上側をトレイの奥側に向けてセットします。

b トレイ 2 の場合、用紙の上側をトレイの右側に向けてセットします。

2 プリンタドライバで、両面印刷のレイアウトを設定します。

「長辺綴じ」に設定するとルーズリーフのノートのように横にめくるレイアウトになります。「短辺綴じ」に設定するとメモ帳のように縦にめくるレイアウトになります。

3 [OK] をクリックします。

自動両面印刷では先に裏面が印刷され、あとで表面が印刷されます。

排紙トレイ

どの用紙もプリンタ上部の排紙トレイに排出されます。排紙トレイは、印刷面が下向きに排出され、許容量は 80 g/m^2 の用紙で 200 枚までです。

用紙が多くなると、紙づまりが起きたり、用紙が曲がったり、静電気が起きたりします。

OHP フィルムの場合は、印刷したらすぐに排紙トレイから取り除いてください。

用紙の保管方法

用紙の保管のしかたは？

- 用紙をセットするまで、包装紙に入れたままにして平らで水平な場所に置いてください。
- 包装紙に入れずに長期間放置した用紙は、紙づまりの原因になります。
- いったん包装紙から取り出した用紙についても、使用しない場合は元の包装紙に入れて、水平な冷暗所に保管してください。

用紙を以下のような場所・環境に置かないでください。

- 湿気が多い場所
- 直射日光があたる場所
- 高温の場所（35° C 以上の場所）
- ほこりの多い場所
- 他のものに立てかけたり、垂直に置かないでください

大量の用紙や特殊用紙を購入する場合は、事前に試し印刷をして印刷品質を確認してください。

用紙に関する情報

MINOLTA-QMS が推奨する用紙とは？

MINOLTA-QMS が推奨する用紙に関する情報については、最寄りの販売店にお問い合わせいただくか、弊社の Web ページ：www.minolta-qms.co.jp/Contact/index.html にアクセスしてご確認ください。

日本語

3

操作パネルとメニュー

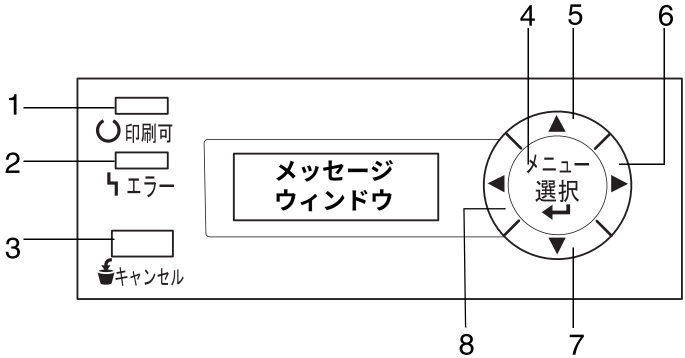
操作パネルについて

プリンタ上部にある操作パネルでは、直接プリンタの操作を行うことができます。また、操作パネルにはプリンタの状態や操作が必要であることを示すメッセージなどが表示されます。

■ 2 つのランプで、プリンタのステータス情報を表示します。

■ メッセージウィンドウにはステータスメッセージと設定情報が表示されます。

■ 6 つのキーは、プリンタの設定に使用します。



操作パネルのランプ／キー

No.	ランプ	オフ	オン
1	印刷可	印刷可能（データ受信可能）な状態になっていません。	印刷可能（データ受信可能）な状態です。
2	エラー	問題なし。	何か操作が必要であることを示しています。（通常、メッセージウィンドウにステータスメッセージが表示されます。）

No.	キー	機能
3	キャンセル	■ 1つまたはすべてのプリントジョブをキャンセルすることができます。 ■ メニュー表示中／選択中の場合、そのときの設定変更を取り消します。
4	メニュー 選択 ↵	■ 設定メニューが表示されます。 ■ メニュー表示中の場合、表示中のメニューが選択されサブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ メニュー表示中で設定項目の選択画面の場合、カーソル位置に関係なく表示されている項目が選択されます。
5	▲	■ 現在表示されているメニューの上のメニューレベルに戻ります。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の前の文字が表示されます。
6	▶	■ 表示されているメニュー／設定項目の右のメニュー／設定項目を表示します。 ■ 文字入力中の場合、カーソルを 1 カラム右へ移動します。
7	▼	■ 表示中のメニューが選択されサブメニューあるいは設定項目が表示されます。 ■ 設定項目の文字入力画面の場合、現在入力している文字の次の文字が表示されます。
8	◀	■ 表示されているメニュー／設定項目の左のメニュー／設定項目を表示します。 ■ 文字入力中の場合、カーソルを 1 カラム左へ移動します。

日本語

プリントジョブのキャンセル

プリントジョブを処理中に、操作パネルから（すべてのあるいは現在処理中の）ジョブをキャンセルすることができます。

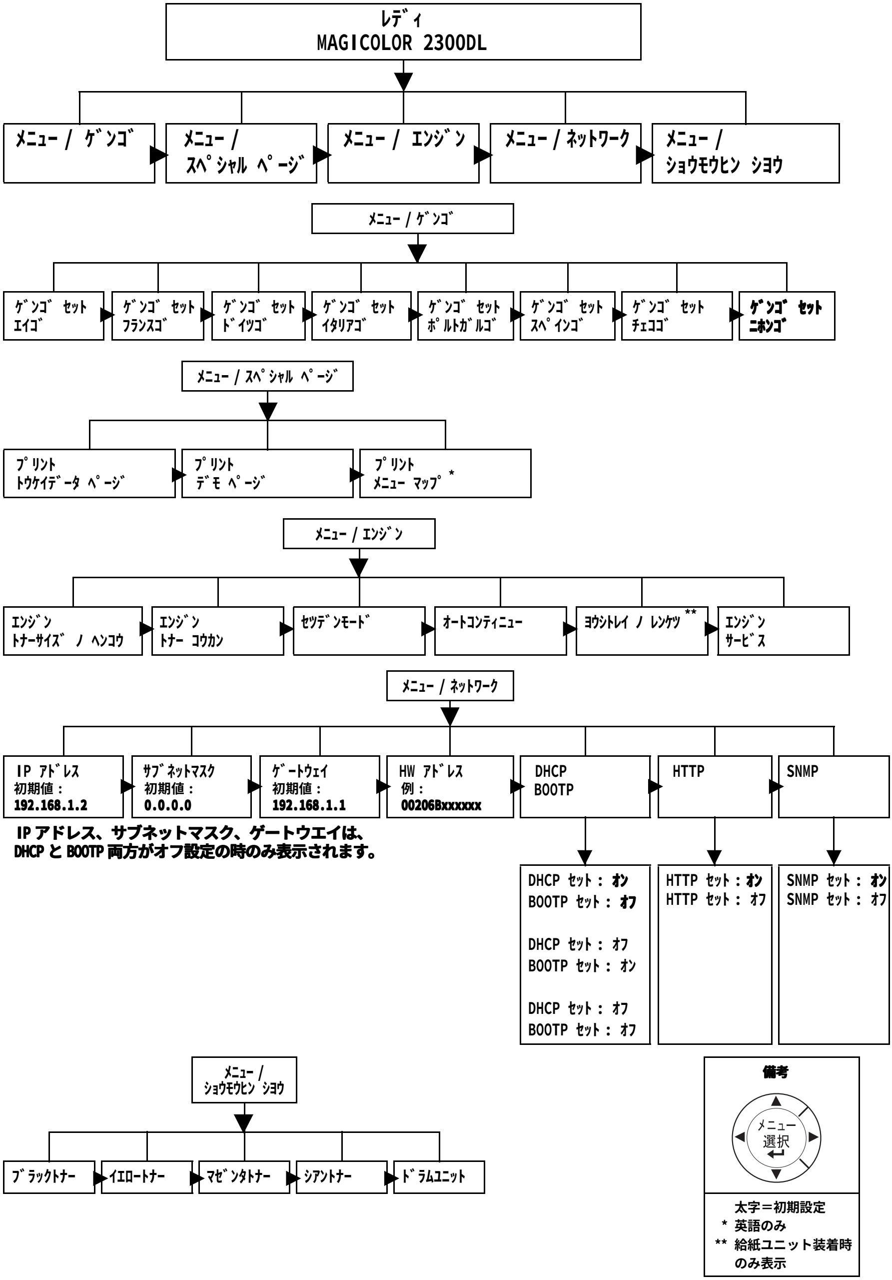
1 プリントジョブの処理中または印刷中に［キャンセル］キーを押します。

2 ◀または▶キーを押して「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｹﾞﾝｻﾞｲﾉｼﾞｮﾌﾞ」または「ｼﾞｮﾌﾞ ｷｬﾝｾﾙ / ｽﾍﾞﾃﾉｼﾞｮﾌﾞ」を選択します。

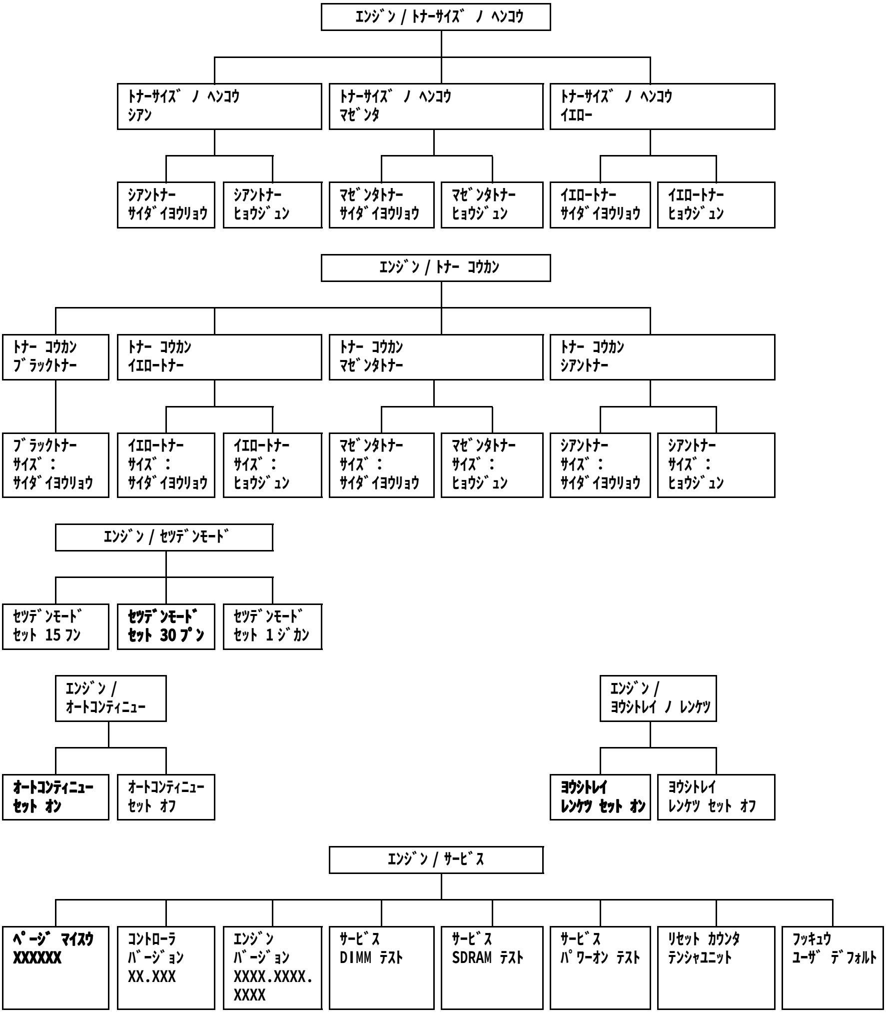
3 ［選択］キーを押します。

プリントジョブがキャンセルされました。

操作パネルのメニュー一覧



エンジンメニューのサブメニュー



太字：初期設定

日本語

日本語

メッセージウィンドウの言語選択

初期状態では、メッセージウィンドウの言語は日本語に設定されていますが、プリンタのステータスメッセージと設定メニューの表示を、英語、フランス語、ドイツ語、イタリア語、ポルトガル語、スペイン語、チェコ語で表示させることもできます。

メッセージウィンドウの言語を変更したいときは、操作パネルで以下の手順で操作してください。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｹﾞﾝｺﾞ
▼	ｹﾞﾝｺﾞ ｾｯﾄ ﾆﾎﾝｺﾞ
▶	設定したい言語（例：ｴｲｺﾞ）が表示されるまで、▶キーを押してください。
メニュー 選択 ↵	

スペシャルページメニュー

ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ	プリンタの設定内容（コンフィグレーションページ）を印刷します。
ﾃﾞﾓ ﾍﾟｰｼﾞ	デモページを印刷します。
ﾒﾆｭｰ ﾏｯﾌﾟ	メニューマップをプリントします。（英語版のメニューのみ）

エンジンメニュー

ｾﾂﾃﾞﾝ ﾓｰﾄﾞ	プリンタがプリントジョブを受信しなくなってから、あるいは操作をしなくなってから節電モードに入るまでの時間を設定します。節電モード中にプリンタがプリントジョブを受信すると、ウォームアップを開始し、印刷可能状態になってから印刷を開始します。
ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ	「ｵﾝ」に設定すると、印刷データの用紙サイズと指定した給紙トレイの用紙サイズが異なる場合でも、印刷を続行します。 印刷中でも「ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ」設定を変更することができます。 その場合、それ以降のプリントジョブに対して変更した設定が有効となります。

ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ（トレイ 2（オプションの給紙ユニット）装着時のみ有効）	「ｵﾝ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなった場合に自動的に同じサイズの用紙がセットされているトレイに切り替えて印刷を続行します。 「ｵﾌ」に設定すると、指定した給紙トレイの用紙がなくなると印刷を停止し、用紙の補給が必要であることを示すメッセージが表示されます。
ﾄﾅｰｻｲｽﾞ ﾉ ﾍﾝｺｳ	トナーカートリッジの容量を設定します。 イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）のカートリッジは、標準サイズ（1500 枚）と大容量サイズ（4500 枚）があります。ブラック（黒）のカートリッジは大容量（4500 枚）のみです。
ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ	交換したいトナーカートリッジの色を選択すると、選んだトナーカートリッジが取出し位置にくるようにラックが自動停止します。 トナーカートリッジの交換のしかたについては「トナーカートリッジの交換」（p.63）を参照してください。

サービスメニュー

ﾍﾟｰｼﾞﾏｲｽｳ	本機でこれまでプリントしたページ数を表示します。
ｺﾝﾄﾛｰﾗ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	コントローラのファームウェアのバージョンを表示します。
ｴﾝｼﾞﾝ ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ	プリンタエンジンのファームウェアのバージョンを表示します。
DIMM ﾃｽﾄ	DIMM テストを行います。DIMM にエラーがないかを確認することができます。
SDRAM ﾃｽﾄ	SDRAM テストを行います。SDRAM にエラーがないかを確認することができます。
ﾊﾟﾜｰｵﾝ ﾃｽﾄ	パワーオンテスト（ AIDC（自動画像濃度調整）キャリブレーション処理）を実行します。テストが終了し「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまで（150 秒未満）しばらくお待ちください。
ﾕｰｻﾞ ﾃﾞﾌｫﾙﾄ	ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ、ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ、ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ（給紙ユニット装着時）を工場出荷時の初期値に戻します。 ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ：30 ﾌﾟﾝ ｵｰﾄｺﾝﾃｨﾆｭｰ：ｵﾝ ﾖｳｼﾄﾚｲ ﾉ ﾚﾝｹﾂ：ｵﾝ
ﾘｾｯﾄｶｳﾝﾀ ﾃﾝｼｬﾕﾆｯﾄ	保守部品交換時にのみ使用するサービス専用です。（通常は使用しません。）

ネットワークメニュー

本機をネットワークに接続している場合、以下の項目を設定します。各設定の詳細については、ネットワーク管理者に相談してください。

IP ｱﾄﾞﾚｽ	本プリンタのネットワーク上の IP アドレスを設定します。 上下左右キーを使って値を入力します。 手動で IP を設定する場合は、はじめに「DHCP ｾｯﾄ」と「BOOTP ｾｯﾄ」の設定を「ｵﾌ」にしてください。
ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ	ネットワークのサブネットマスク値を設定します。上下左右キーを使って値を入力します。
ｹﾞｰﾄｳｪｲ	ネットワークにルータがある場合に、ルータの IP アドレスを設定します。上下左右キーを使って値を入力します。
HW ｱﾄﾞﾚｽ	本プリンタのイーサネット（Ethernet）ハードウェアアドレスを見ることができます。（変更はできません。）
DHCP ｾｯﾄ *	ネットワーク内に DHCP サーバがある場合、DHCP サーバから自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP ｾｯﾄ」と「BOOTP ｾｯﾄ」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。
BOOTP ｾｯﾄ *	BOOTP で自動的に IP アドレスを取得、他のネットワーク情報をロードするかどうかを設定します。 「DHCP ｾｯﾄ」と「BOOTP ｾｯﾄ」のどちらかを「ｵﾝ」または両方「ｵﾌ」に設定します。
HTTP *	HTTP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。HTTP を「ｵﾝ」にすると、プリンタに内蔵の HTTP サーバが提供する Web ページが有効になります。「ｵﾌ」にすると無効になります。
SNMP *	SNMP はネットワーク管理の標準プロトコルです。SNMP を「ｵﾝ」または「ｵﾌ」に設定します。
備考	* 設定の変更を有効にするには、プリンタの電源をオフ／オンしてください。

ショウモウヒン ショウメニュー

ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（ブラック）のトナー残量が表示されます。
ｲｴﾛｰﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（イエロー）のトナー残量が表示されます。
ﾏｾﾞﾝﾀﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（マゼンタ）のトナー残量が表示されます。
ｼｱﾝﾄﾅｰ	トナーカートリッジ（シアン）のトナー残量が表示されます。
ﾄﾞﾗﾑﾕﾆｯﾄ	ドラムカートリッジの残り寿命が表示されます。

4 プリンタドライバの使いかた

日本語

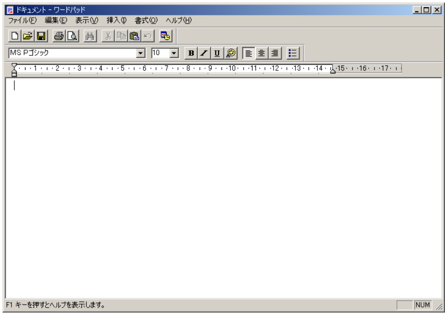
この章では、プリンタドライバの機能と使いかたを説明しています。

本プリンタをコンピュータに接続する方法や、プリンタドライバのインストール方法については、インストレーションガイドの「インターフェイスパネルについて（コンピュータとの接続）」および「ソフトウェアの インストール」（p.1）を参照してください。

印刷の手順

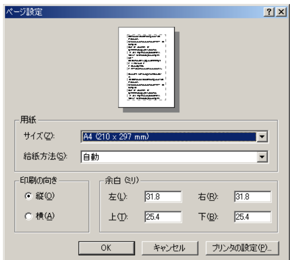
ここでは、Windows Me において、アプリケーションの一つであるワードパッドを用いた基本的な印刷手順について解説します。印刷の細かな手順は、お使いのアプリケーションにより違いがある場合がありますので、詳細はお使いのアプリケーションのマニュアルをご参照ください。

1 ワードパッドを起動させます。



2 「ファイル」メニューから「ページ設定」を選択します。

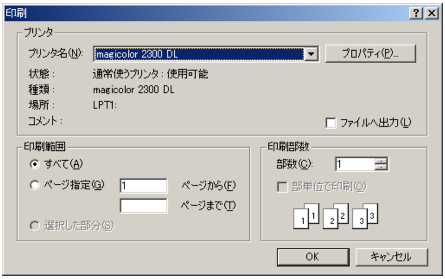
このダイアログでは、用紙サイズ、給紙カセット、用紙方向や上下左右の余白の設定が可能です。用紙サイズと余白は「用紙の取り扱い」（p.11）を参照してください。「ページ設定」での設定が終了したら［OK］をクリックします。



日本語

3 **データの入力が完了したら、「ファイル」メニューから「印刷」を選択します。**

このダイアログでは、印刷対象プリンタ（プリンタ名）、印刷範囲、印刷部数を設定します。



本機で印刷を行う場合は、プリンタ名が「magicolor 2300 DL」になっていることを確認してください。もし他のプリンタ名になっている場合には右横の下矢印ボタンをクリックすることにより、本プリンタを選択することができます。

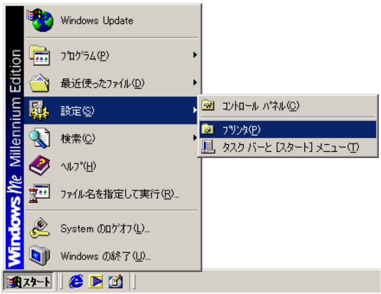
4 **印刷設定が終了したら、[OK] をクリックします。**

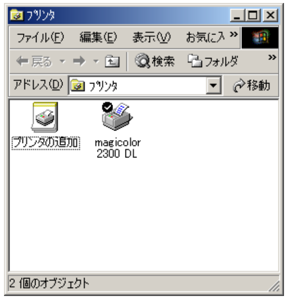
印刷処理が開始されます。本プリンタの詳細な設定を行うには、「プリンタ名」右の［プロパティ］をクリックし、プロパティダイアログで行います。プロパティの内容に関しては「プリンタドライバの設定」(p.45) を参照してください。

印刷の中止

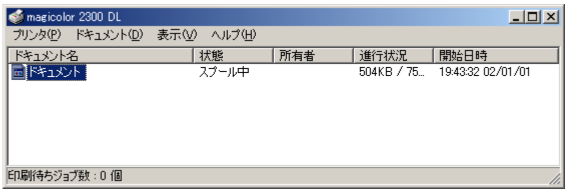
ここでは、Windows Me での印刷を中止する手順について解説します。

1　［スタート］メニューの［設定］から［プリンタ］を選択します。

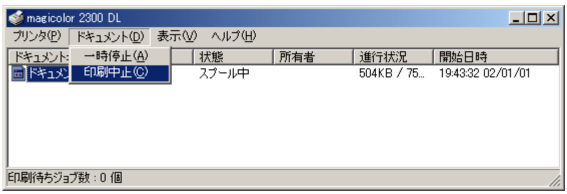




2　プリンタウィンドウの「magicolor 2300 DL」アイコンをダブルクリックします。



3　印刷を中止したい印刷データを選択した後、メニューバーの中の「ドキュメント」メニューから「印刷中止」を選択します。



プリンタドライバの設定

印刷設定に関する詳細な設定は、プリンタドライバの各種設定を変更することにより可能です。印刷設定画面（プロパティ）を選択する方法は 2 種類あります。

■ アプリケーションの「印刷」項目内での印刷設定（プロパティ）の変更
現在、編集・使用している文書に対してのみ変更内容を有効です。

■ プリンタウィンドウからの印刷設定（プロパティ）の変更
お使いのコンピュータから本プリンタで印刷する場合に頻繁に使用する設定を、あらかじめ初期値として指定しておくことができます。

例えば：

● 通常使用する用紙サイズ・用紙種類を設定する
● 通常使用する給紙方法・排紙方法を設定する

プリンタドライバ設定画面を表示する

以下の手順で magicolor 2300 DL プリンタの設定画面を開きます。

■ Windows XP
［スタート］メニューから［プリンタと FAX］を選択し、プリンタウィンドウを表示させます。
「magicolor 2300 DL」を選択し、「ファイル」メニューから「印刷設定」をクリックします。

■ Windows 2000
［スタート］―［設定］―［プリンタ］を選択し、プリンタウィンドウを表示させます。
「magicolor 2300 DL」を選択し、「ファイル」メニューから「印刷設定」をクリックします。

■ Windows Me/98/95
［スタート］―［設定］―［プリンタ］を選択し、プリンタウィンドウを表示させます。
「magicolor 2300 DL」を選択し、「ファイル」メニューから「プロパティ」をクリックします。
プロパティダイアログで［プロパティ］タブをクリックします。

■ Windows NT 4.0
［スタート］―［設定］―［プリンタ］を選択し、プリンタウィンドウを表示させます。
「magicolor 2300 DL」を選択し、「ファイル」メニューから「ドキュメントの既定値」をクリックします。

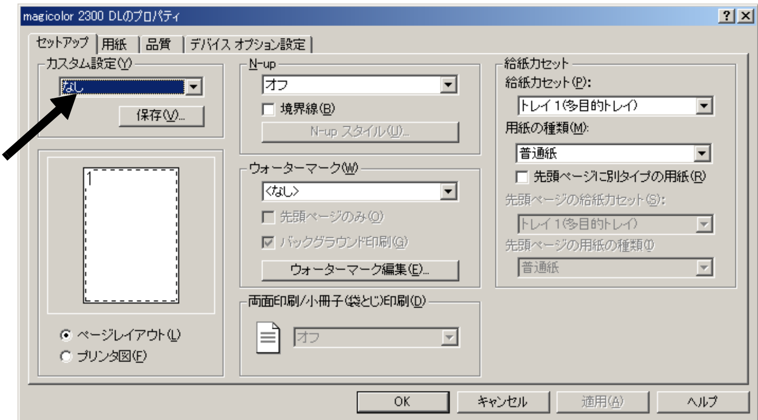
各タブ共通の設定

カスタム設定

1 現在の設定パターン（各種設定の組み合わせ）を保存するには、［保存］をクリックします。

複数の設定パターンを保存しておくことができます。
よく使う設定パターンをあらかじめ指定してから［保存］をクリックし、名前をつけて保存します。

あとで、ドロップダウンリストから保存した設定パターンを選んで呼び出すことができます。



2 ドロップダウンリストから「既定値（デフォルト）」を選択すると、プロパティの各種設定が初期値に戻ります。

ページレイアウト

［ページレイアウト］をクリックすると、表示エリアにページレイアウトのサンプル画像が現在の設定にもとづいて表示されます。

サンプルとして表示される項目は：

- 画像領域
- 用紙サイズ
- 印刷の向き
- N-up
- 両面印刷／小冊子（袋とじ）印刷

■ ウォーターマーク

これらの機能の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

プリンタ図

［プリンタ図］をクリックすると、表示エリアにプリンタ本体の図が表示されます。

各タブ共通のボタン

［OK］ボタン

それまでの設定変更を保存し、プロパティダイアログを閉じます。

［キャンセル］ボタン

それまでの設定変更をセーブしないでプロパティダイアログを閉じます。

［適用］ボタン

プロパティダイアログを表示したまま、それまでの設定変更を保存します。

お使いの OS によっては、［適用］ボタンが表示されないものがあります。

［ヘルプ］ボタン

オンラインヘルプが表示されます。

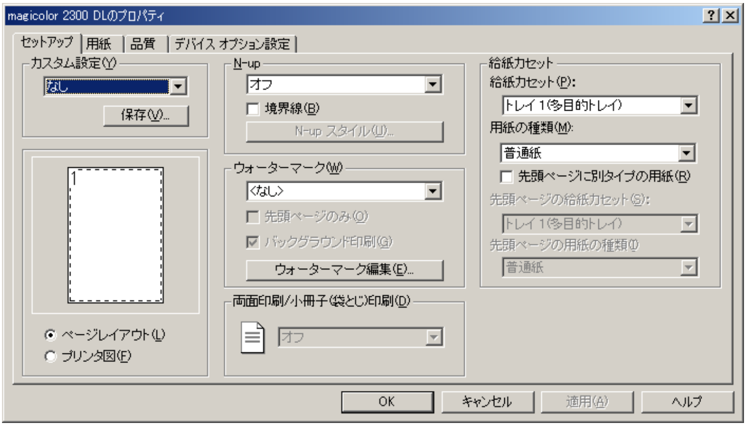
ポップアップヘルプ（[?]）

タイトルバーの［?］をクリックし、次に任意の項目をクリックすると、その項目に関する説明が表示されます。

閉じる （[×]）

それまでの設定変更をセーブしないでプロパティダイアログを閉じます。

「セットアップ」タブ



「セットアップ」タブでは次のことができます。

■ 複数のページを 1 枚の用紙に割り付けて印刷する（N-up）

■ ウォーターマーク（文書の背景に「部外秘」、「コピー」などの文字を印刷する機能）の設定をする

■ ウォーターマークの作成・編集をする

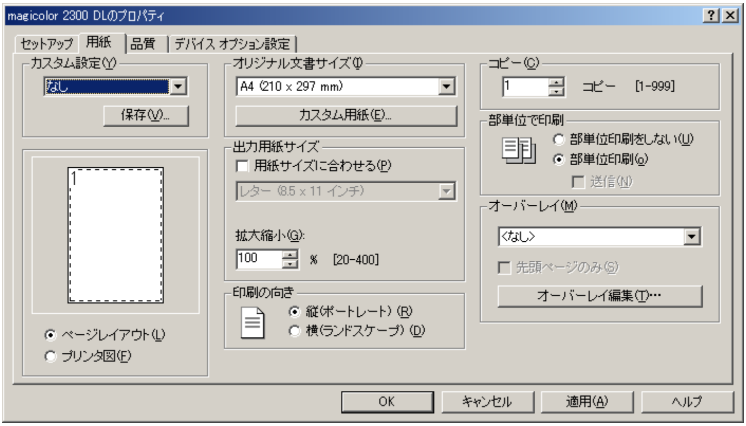
■ 両面印刷／小冊子印刷の設定をする

■ 給紙カセットを指定する

■ 用紙の種類を指定する

各機能の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

「用紙」タブ



「用紙」タブでは、次のことができます。

- ■ オリジナル文書のサイズを指定する
- ■ カスタム用紙（用紙サイズ）を設定する
- ■ 出力用紙サイズを指定する
- ■ 拡大／縮小の設定をする
- ■ 印刷方向を指定する
- ■ 印刷部数を指定する
- ■ 仕分け印刷（部単位で印刷）の指定をする
- ■ オーバーレイ（文書の背景に画像などのデータを印刷する機能）を設定する
- ■ オーバーレイの作成・編集をする

各機能の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

「品質」タブ



「品質」タブでは、次のことができます。

■ カラー印刷／モノクロ印刷の設定を切り替える

■ カラーマッチングの設定をする（写真、表・図柄、文字）
※詳細については次ページを参照してください。

■ 印刷イメージの解像度を指定する
ラインアート：解像度が 1200 × 600 dpi または 2400 × 600 dpi モードの時に設定が可能です。CAD 等の画像によっては薄い色の細線を描くことがありますが、このような場合に線をはっきり出力させます。ただし写真等の画像においては階調に段差が生じる場合がありますので用途により適切な設定をしてください。

■ 画像のトーン（コントラスト）を調節する

■ 画像の明るさ（明度）を調節する

■ 画像の色合い（彩度）を調節する

■ 画像の鮮明度（シャープネス）を調節する

各機能の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

カラーマッチング

この設定では、スクリーン上の色合いを忠実に表現するためにプリンタの色合いを調整するカラーマッチング機能を使用するかどうかを指定します。カラーマッチングが「オン」に設定されている時、写真（写真等のビットマップイメージ画像）、表・図柄（絵柄等のグラフィック画像）、文字（文書等のテキスト画像）に対してそれぞれ、「なめらかな色調」、「測色的に一致」、「あざやかな色彩」という色変換方法※1 の設定の中から 1 つを選択することができます。

オフ：　カラーマッチングを使用しない

DTP アプリケーション等ではアプリケーション側でプリンタに最適なデータとなるようにカラーマッチングを行い、プリンタにデータを送れるものがあります。アプリケーション側でこのような出力設定がされている場合、このモードを使用してください。

オン：　カラーマッチングを使用する
ドライバインストール時に自動的に定義づけされる ICM カラープロファイルを使用して sRGB※2 の色を出力するようにドライバ内部で色変換を行います。

なめらかな色調：　（Perceptual ／知覚）
写真画像に適した方法です。この方法では濃淡変化になるべく段差を生じない、滑らかな画像表現を行います。

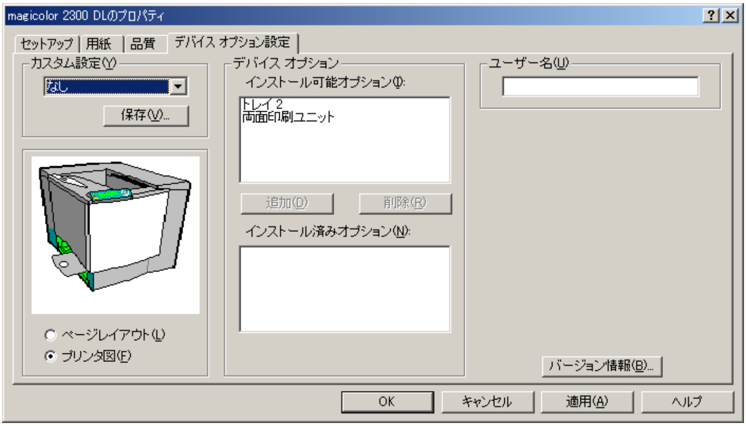
測色的に一致：　（Colorimetric ／カラーリメトリック）
オリジナル画像になるべく正確な色合いになるような再現がされます。ただモニタで再現した時、鮮やかでプリンタの色では表現できないような部分は、その色に近いプリンタの最大限の色で全て置き換えられますので、その部分の色の違いは表現できません。

あざやかな色彩：　（Saturation ／彩度）
ビジネスプレゼンテーション等の用途に適した方法です。この方法では、なるべく鮮やかな色合いになるように画像が表現されます。

※ 1：　通常モニタで表示される色はプリンタでは表現できない鮮やかな色もしくは明るい色を多く含みます。この場合、プリンタに表現できる色として変換する際に、「なめらかな色調」、「測色的に一致」、「あざやかな色彩」という方法で色を圧縮して表現します。

※ 2：　sRGB：IEC（International Electrotechnical Commission）が制定した色空間の国際規格（IEC61966-2-1）で、Windows の一般的な色空間です。

「デバイスオプション設定」タブ



「デバイスオプション設定」タブでは、次のことができます。

■ オプションのトレイ 2（給紙ユニット）や両面プリントユニットを有効にする

■ プリントジョブに付加するユーザー名を設定する

■ プリンタドライバに関する情報を見る

各機能の詳細については、プリンタドライバのヘルプを参照してください。

5

ステータス ディスプレイの使いかた

ステータスディスプレイについて

ステータスディスプレイは、コンピュータとプリンタをローカル接続している場合にプリンタの状態を表示します。

付属の CD-ROM のインストーラーを使ってプリンタドライバをインストールした場合は、ステータスディスプレイも同時にインストールされます。プリンタの追加ウィザードでプリンタドライバを手動インストールした場合は、ステータスディスプレイはインストールされません。

日本語

環境の条件

ステータスディスプレイが動作するオペレーティングシステムとインターフェイスの関係は以下のとおりです。

	IEEE 1284 パラレル	USB
Windows XP	❍	❍
Windows Me	❍	❍
Windows 2000	❍	❍
Windows 98 SE	❍	❍
Windows 98	❍	×
Windows 95	❍	×
Windows NT 4.0	❍	×
備考	❍ = 可 ; × = 不可	

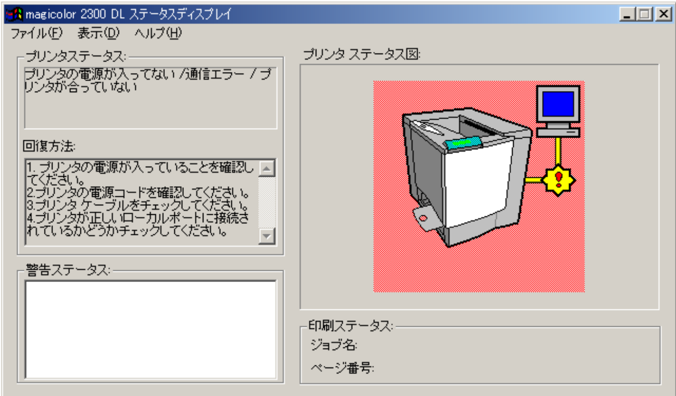
ステータスディスプレイを開く

以下に示す手順でステータスディスプレイを開きます。

- **Windows XP**—［スタート］メニューの［すべてのプログラム］から［magicolor 2300 DL ユーティリティ］を選択し、［magicolor 2300 DL ステータス］をクリックします。
- **Windows Me/2000/98/95/NT 4.0**—［スタート］メニューの［プログラム］から［magicolor 2300 DL ユーティリティ］を選択し、「magicolor 2300 DL ステータス」をクリックします。

ステータスディスプレイの使いかた

- ステータスディスプレイ右側の「プリンタステータスのイメージ」の背景が緑色のときは、プリンタが待機状態であるか、問題なく印刷処理が行われている状態であることを示します。
- ステータスディスプレイ右側の「プリンタステータスのイメージ」の背景が赤色のときは、何らかのエラーが発生し、プリントジョブが中断されている状態であることを示します。このとき、プリンタの状態とエラーメッセージが画面左側に表示されます。



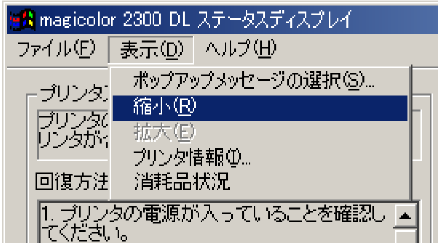
ステータスディスプレイの詳細は以下のとおり：

- **プリンタステータス** — プリンタの現在の状態を示すメッセージが表示されます。
- **回復方法** — 問題を解決し、エラー状態から回復するために必要な情報が表示されます。
- **警告ステータス** — 注意が必要な状態（例：トナーの交換時期が近い）を知らせるメッセージが表示されます。
- **プリンタステータスのイメージ** — プリンタの状態を示す図が表示され、エラーが発生したとき、問題のある場所が示されます。
- **印刷中ステータス** — 処理中のプリントジョブの状態が表示されます。
- **ポップアップメッセージの選択** — プリンタの状態の中で、どの状態をポップアップ表示させるかを指定することができます。
- **消耗品状況** — トナーカートリッジやドラムカートリッジの残容量（何%残っているか）が表示されます。

各機能の詳細については、ステータスディスプレイのヘルプを参照してください。

ステータスディスプレイの表示サイズを変更する

- 「表示」メニューから「縮小」を選択すると、表示サイズが小さくなります。
- 「表示」メニューから「拡大」を選択すると、表示サイズが大きくなります。



消耗品の状況を確認する

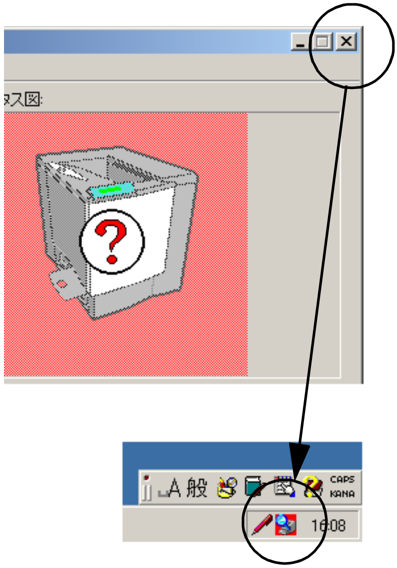
- 「表示」メニューから「消耗品状況」を選択すると、消耗品状況ダイアログが表示されます。
トナーカートリッジやドラムカートリッジの残容量を確認することができます。
- [Close] をクリックしてダイアログを閉じます。



ステータスディスプレイを終了する

ステータスディスプレイを終了するには、「ファイル」メニューから「終了」を選択します。

ステータスディスプレイ右上の［×］をクリックすると、ステータスディスプレイは閉じますが、タスクバーの右端に最小化されて残っています（終了していません）。タスクバー右端のアイコンをダブルクリックすると、ステータスディスプレイが再度表示されます。



日本語

日本語

6 消耗品の交換

消耗品の寿命（普通紙）

ここで記載している各消耗品の寿命は、普通紙・A4/ レターサイズ・一定の色の割合・一定の印字率（印字率 5%）での連続印刷時の目安です。実際の寿命は、気温・湿度なども含めた印刷環境によって異なります。

以下のメッセージが操作パネルのメッセージウィンドウに表示された場合、消耗品の交換が必要であることを示します。

ﾒｯｾｰｼﾞ	平均の寿命の目安（ページ数）	備考
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	モノクロの連続印刷で約 45,000 ページ 4 色カラーの連続印刷で約 11,250 ページ モノクロの単ページ印刷で約 10,000 ページ 4 色カラーの単ページ印刷で約 7,500 ページ	「ドラムカートリッジの交換」（p.70）を参照。
XXXX ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	**標準サイズ：**片面印刷で約 1,500 ページ（ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの各カートリッジにつき、印字率 5%の場合）	「トナーカートリッジの交換」（p.63）を参照。
	大容量サイズ：片面印刷で約 4,500 ページ（ブラック、イエロー、マゼンタ、シアンの各カートリッジにつき、印字率 5%の場合）	
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	モノクロ印刷で約 25,000 ページ 4 色カラー印刷で約 6,250 ページ （標準的なモード、A4/ レターサイズで印字率 5% の場合）	「廃トナーボトルの交換」（p.68）を参照。

同時期に複数のトナーカートリッジやその他の消耗品の交換が必要な状態になったとき、メッセージが点滅し、3 秒ごとに表示が切り替わります。
各メッセージにしたがって処置してください。

普通紙以外の用紙（厚紙、OHP フィルム等）使用時の各消耗品の寿命は、普通紙に比べて短くなります。
詳しくは、「消耗品の寿命（詳細）」（p.148）を参照してください。

トナーカートリッジ（ブラック）は、製品同梱品のみ標準サイズになっています。

自動画像濃度調整（AIDC）

本プリンタは、最適な画質を保つためにカラーキャリブレーション（自動画像濃度調整（AIDC））動作を定期的に行います。この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。トナーカートリッジ、ドラムカートリッジを交換すると、自動的にカラーキャリブレーション（約 150 秒）が行われます。

処理の途中で（「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に）プリンタのドアを開けると、いったんキャリブレーション処理が停止し、ドアが閉められると同時に再度キャリブレーション処理をやり直します。

プリンタは 200 ページの印刷が行われるごとに 1 回カラーキャリブレーション（約 90 秒）を行います。
前回のカラーキャリブレーション処理から 1,000 ページ以上印刷が行われているとき、節電モードからのウォームアップ後、自動的にカラーキャリブレーション（約 150 秒）を行います。

トナーカートリッジの寿命

大容量サイズのトナーカートリッジの場合、イエロー、マゼンタ、シアン、ブラックの各トナーごとに最大 4,500 ページの印刷（A4/ レターサイズの普通紙で印字率 5%での片面連続印刷）が目安です。
標準サイズのトナーカートリッジの場合、イエロー、マゼンタ、シアンの各トナーごとに最大 1,500 ページの印刷（A4/ レターサイズの普通紙で印字率 5%での片面連続印刷）が目安です。

印字率が大きくなると、最大印刷枚数が少なくなります。

トナーカートリッジ交換のタイミングは？

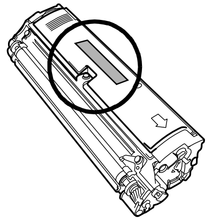
トナーカートリッジの交換が必要になると、メッセージウィンドウに「XXXX ﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ」と表示されます。（XXXX はトナーの色を示します。）このメッセージが表示されてからも印刷できますが、色がまだらになったりかすれたりします。できるだけ早くトナーカートリッジを交換してください。

また、トナーカートリッジの交換メッセージはステータスディスプレイでも表示されます。（「ステータスディスプレイについて」（p.54）を参照してください。）

日本語

標準サイズと大容量サイズの確認のしかたは？

トナーカートリッジについているラベルを確認してください。



消耗品の交換のしかた

ご注意

本マニュアルに記載されいる手順にしたがわなかったことによる故障については、保証の対象にはなりません。

リサイクルトナーカートリッジについて

ご注意

リサイクルトナーカートリッジは使用しないでください。リサイクルトナーカートリッジを使用したことによる故障や印刷品質の問題については、保証の対象にはなりません。

トナーカートリッジの交換

文字や画像はレーザープリンタ内で、感光体（Optical Photo Conductor (OPC) drum）─写真のフィルムのようなはたらきをする─に作られた像にトナーをのせて現像する、といった工程で形成されます。
本機ではブラック（黒）、イエロー（黄色）、マゼンタ（赤）、シアン（青）の 4 つのトナーカートリッジを使います。トナーカートリッジを取り扱う際は、トナーがプリンタや手などにこぼれないように注意してください。

トナーは有害なものではありません。トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。

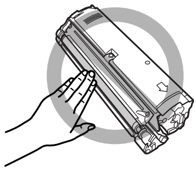
警告！

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

ご注意

トナーカートリッジを立てて持たないでください。

トナーカートリッジのローラー部分に触らないでください。印刷品質低下の原因になります。



トナーカートリッジは以下のように保管してください。

- トナーカートリッジを装着するまでは、保護袋を開けないでください。
- 日光を避け、冷暗所に保管してください。
  気温 35°C 以下、湿度 80% 以下の場所で結露が起こらないように保管してください。トナーカートリッジを寒い場所から温かい湿度の高い場所へ移動すると、結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。使用する前には約 1 時間トナーカートリッジをその環境に置いて適応させてください。
- 水平な状態で保管してください。
  トナーカートリッジを縦に置いたり、逆向きに置いたりしないでください。トナーカートリッジ内のトナーが固まったり、均等にならない可能性があります。
- 塩を含んだ空気や、エアゾールなどの腐食性のガスに触れないようにしてください。

「ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示された場合

ご注意

トナーカートリッジを交換するときは、トナーがこぼれないように注意してください。もしトナーがこぼれた場合は、すみやかにやわらかい乾いた布で拭き取ってください。

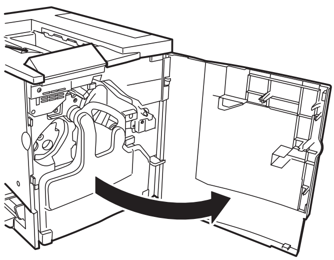
「ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」が表示されて、トナー交換から 6000 枚まで印刷されたら、それ以降プリントできなくなります。以下の手順に従ってトナーカートリッジを交換してください。

1 メッセージウィンドウで、なくなったトナーの色を確認します。
下の表の作業を行うことで、トナーラックは空になったトナーカートリッジが取り出し位置にくるように自動停止します。

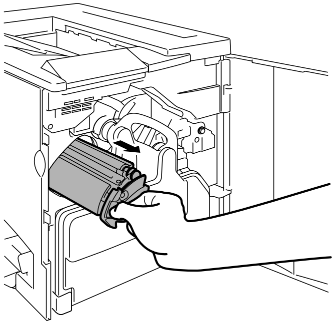
押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	XXXX ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ
▶	ﾄﾅｰｺｳｶﾝ XXXX ﾄﾅｰ（交換するﾄﾅｰが表示されるまで）
メニュー 選択 ↵	
▶	XXXX ﾄﾅｰ ｻｲｽﾞ：ｻｲﾀﾞｲﾖｳﾘｮｳ または XXXX ﾄﾅｰ※1 ｻｲｽﾞ：ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
メニュー 選択 ↵	...... ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ......
	しばらくすると「ﾄﾞｱｦｱｹﾃ ﾄﾅｰｦｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示

※1： イエロー、マゼンタ、シアンの場合に表示されます。

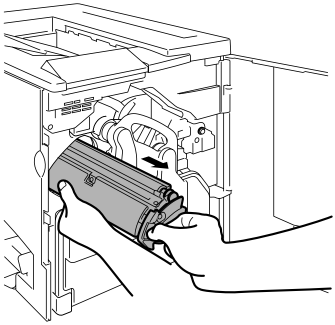
2 プリンタの前ドアを開きます。



3　**図のようにトナーカートリッジ前面の穴（2 つ）に右手の親指と人差し指を入れ、カートリッジを手前に 15 cm ほど引き出します。**



4　**トナーカートリッジの中央を左手で支え、カートリッジを引き抜きます。**



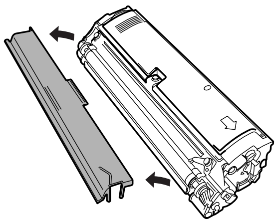
警告！

トナーカートリッジは地域の条例にしたがって廃棄してください。トナーカートリッジを火中に投じないでください。
尚、トナーカートリッジの回収については、弊社の Web ページ www.minolta-qms.co.jp にアクセスしてご確認いただけます。

5　**引き抜いたトナーカートリッジと同じ色の新しいトナーカートリッジを箱から取り出します。**

6　**保護カバー（“ 取り外してください ” と書かれています）を取り外します。**

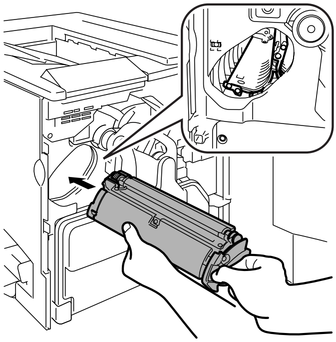
各トナーカートリッジの片側にはトナーと同じ色がついています。必ずトナーラック側の色と合わせてトナーカートリッジを挿入してください。



日本語

7 図のようにトナーカートリッジ前面の穴（2 つ）に右手の親指と人差し指を入れ、左手でカートリッジの中央を支えながらトナーカートリッジのガイドをラックの取りつけレールにセットします。

8 トナーカートリッジをゆっくり押しこみます。



9 プリンタの前ドアを閉じます

どの消耗品交換後も、プリンタはキャリブレーション（150 秒間未満）を行います。もしメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に前ドアを開けると、キャリブレーションを停止し、前ドアを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

トナーがなくなる前にトナーカートリッジを交換する場合

トナーがなくなる前にトナーカートリッジを交換することもできます。例えばコンピュータのステータスディスプレイ画面で、あるトナーがなくなりそうであることを示しているとき、長い印刷ジョブを実行したいが、その間トナーカートリッジの交換ができない場合は、トナーがなくなる前にトナーカートリッジを交換することができます。

1 操作パネルのメッセージウィンドウで交換したいトナーカートリッジの色を選択します。以下の手順にしたがってください。

例：イエロートナーカートリッジを交換する場合

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ / ｹﾞﾝｺﾞ
▶	ﾒﾆｭｰ / ｴﾝｼﾞﾝ
メニュー 選択 ↵	
▶	ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
メニュー 選択 ↵	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ﾌﾞﾗｯｸﾄﾅｰ
▶	ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ ｲｴﾛｰﾄﾅｰ
メニュー 選択 ↵	ｲｴﾛｰﾄﾅｰ ｻｲｽﾞ ：ｻｲﾀﾞｲﾖｳﾘｮｳ
▶	ｲｴﾛｰﾄﾅｰ ｻｲｽﾞ ：ｻｲﾀﾞｲﾖｳﾘｮｳ
	または
	ｲｴﾛｰﾄﾅｰ ｻｲｽﾞ ：ﾋｮｳｼﾞｭﾝ
適切なサイズが表示されたら右図のキーを押します。 メニュー 選択 ↵	...... ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ ......
	しばらくすると「ｵｰﾌﾟﾝﾄﾞｱ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ」と表示。

消耗品の交換を行うと、プリンタは自動的にキャリブレーション（最長 150 秒間）を行います。もしメッセージウィンドウに「ｵｰﾌﾟﾝﾄﾞｱ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ」が表示される前に前ドアを開けると、キャリブレーションを停止し、前ドアを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

2 プリンタの前ドアを開きます。

3 トナーカートリッジを取り出します。

4 新しいトナーカートリッジの保護カバーを取り外し、トナーカートリッジをラックにセットします。

5 プリンタの前ドアを閉じます。

交換手順の詳細は、「「ﾄﾅｰｶﾞｱﾘﾏｾﾝ」と表示された場合」（p. 64）を参照してください。

廃トナーボトルの交換

廃トナーボトルがいっぱいになると「ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｦ コｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されます。プリンタは印刷を中断し、廃トナーボトルを交換後に印刷を再開します。

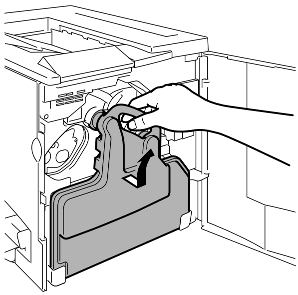
日本語

使用済み廃トナーボトルを取り外す

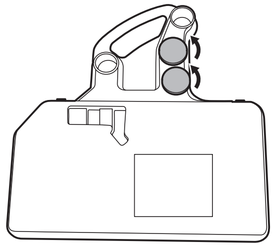
1 プリンタの前ドアを開きます。

2 廃トナーボトルの取手を持ち、少し前に倒してから、ゆっくりと持ち上げてボトルを取り外します。

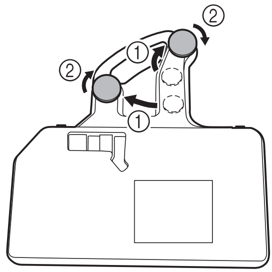
トナーがこぼれないように、廃トナーボトルは立てたままにしてください。



3 キャップ 2 個を反時計回りに回して取り外します。



4 取り外した 2 個のキャップを図のホールに取り付け、時計回りに回して固定します。



5 廃トナーボトルを廃棄します。

警告！

廃トナーボトルは地域の条例にしたがって廃棄してください。（火中に投じないでください。）

新しい廃トナーボトルを取り付ける

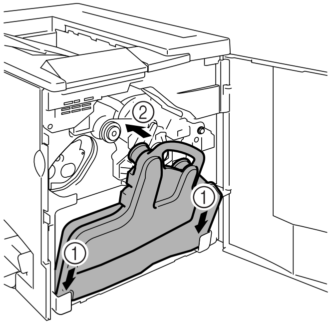
1 新しい廃トナーボトルを箱から取り出します。

2 ボトルの下部 ① をプリンタ側の取り付け位置に差し込みます。

3 ボトルの上部 ② をしっかり固定されるまで押し込みます。

4 前ドアを閉じます。

廃トナーボトルが正しく取り付けられていないときや、転写ベルトユニット解除レバーが正しい位置（下向き：7 時の位置）にセットされていないときは、前ドアを閉じることができません。



どの消耗品交換後も、プリンタはキャリブレーション（150 秒間未満）を行います。もしメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に前ドアを開けると、キャリブレーションを停止し、前ドアを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

ドラムカートリッジの交換

ドラムカートリッジの交換時期がくると「ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示されます。このメッセージが表示されてからも印刷できますが、印刷品質が低下しますので、すみやかにドラムカートリッジを交換してください。

ご注意

ドラムカートリッジ内の OPC ドラムは、明るい光、直射日光に非常に敏感です。トナーカートリッジは、装着するまでは保護袋に入れておいてください。どのような光に対しても感光しないよう注意してください。感光すると損傷する可能性があります。

ドラムカートリッジの取り扱い上の不備による損傷については、保証の対象外となります。カートリッジを持つときは両端を持ち、OPC ドラムの表面（緑色のローラー部分）に触れないよう注意してください。OPC ドラムは手の皮脂やキズにも非常に敏感で、印刷品質低下の原因になります。

「ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージが表示され、ドラムカートリッジを交換したときは、プリンタは自動的にキャリブレーション（150 秒間未満）を行った後、印刷を再開します。

ドラムカートリッジの寿命はドラムの回転数に直接関連します。連続印刷でのドラムカートリッジの寿命が最大となります。小さな印刷ジョブの単ページ印刷では印刷の前後でクリーニングによる回転が入るため、寿命に影響します。

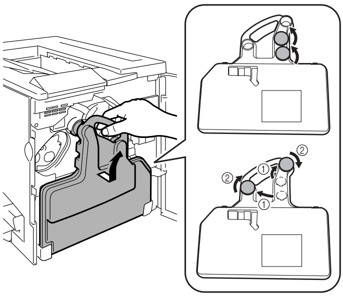
ドラムカートリッジの消耗状況については、ステータスディスプレイ画面から確認することができます。（「消耗品の状況を確認する」（p.56）を参照。）

使用済みドラムカートリッジを取り出す

1 プリンタの前ドアを開きます。

2 廃トナーボトルの取手を持ち、少し前に倒してから、ゆっくりと持ち上げてボトルを取り外します。

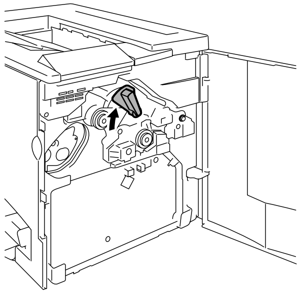
トナーがこぼれないように、廃トナーボトルは立てたままにしてください。



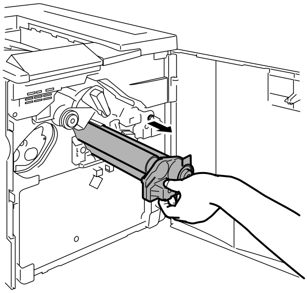
3 図のキャップ 2 個を反時計回りに回して取り外し、図②のホールに取り付けます。（時計回りに回すとキャップがしまります。）

4 転写ベルトユニット解除レバーを上向きに（時計回りに 11 時の位置まで）回します。

転写ベルトユニットが上に持ち上げられます。

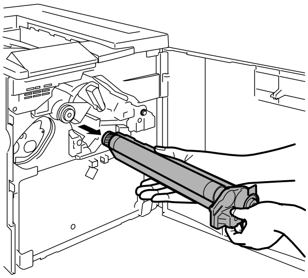


5 ドラムカートリッジの取手部（解除レバー）をにぎってロックを解除し、ドラムカートリッジを手前に 15 cm ほど引き出します。



6 ドラムカートリッジの下側を支えながら、ゆっくりと手前に引き出します。

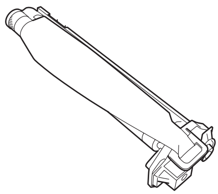
ドラムカートリッジは地域の条例にしたがって廃棄してください。



引き続き、新しいドラムカートリッジの取り付けを行ってください。

新しいドラムカートリッジを取り付ける

1 新しいドラムカートリッジを箱から取り出します。



日本語

ご注意

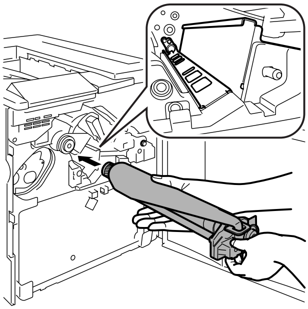
保護シートを付けたままでカートリッジの取り付けを行ってください。感光体（緑色のローラー部）上の保護シートには触れないよう注意してください。感光体に傷がつき、印刷品質低下の原因になります。

転写ベルトユニット解除レバーは上向き（11 時の位置）のまま次の手順に進んでください。

2 ドラムカートリッジを水平に持ち、カートリッジの先端を、取り付けレールの位置に合わせます。

3 ドラムカートリッジをゆっくりと押し込みます。

ドラムカートリッジを取り付けるときは、解除レバーの下側を押さないように注意してください。レバーの下側を押すと、ロックが解除されて正しくカートリッジが取り付けられません。

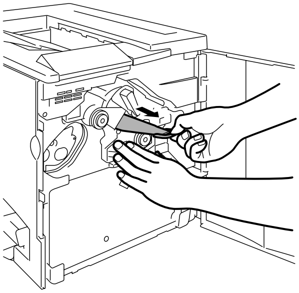


ご注意

ドラムカートリッジは容易に挿入することができます。無理に押し込まないでください。

4 ドラムカートリッジを片方の手で押さえ、もう片方の手で保護シートのタブを持ちます。

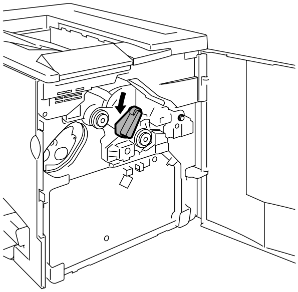
5 保護シートを手前にゆっくり引き出します。



保護シートは地域の条例にしたがって廃棄してください。

6 転写ベルトユニット解除レバーを下向きに元の位置（反時計回りに 7 時の位置）まで回します。

転写ベルトユニットが下にさがります。

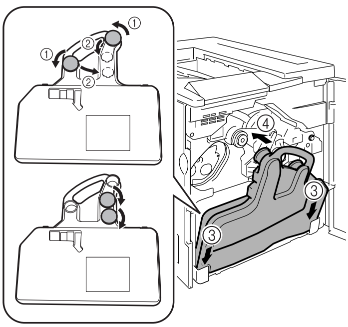


ご注意

転写ベルトユニット解除レバーが正しい位置（下向き：7 時の位置）にセットされていないときは、廃トナーボトルを取り付けることができません。

7 先に取り外した廃トナーボトルを立てて持ち、キャップ 2 個を取り外します。取り外したキャップはキャップホルダに取り付け、時計回しに回して固定します。

8 ボトルの下部 ③ をプリンタ側の取り付け位置に差し込み、ボトルの上部 ④ をしっかり固定されるまで押し込みます。



9 前ドアを閉じます。

廃トナーボトルが正しく取り付けられていないときや、転写ベルトユニット解除レバーが正しい位置（下向き：7 時の位置）にセットされていないときは、前ドアを閉じることができません。

どの消耗品交換後も、プリンタはキャリブレーション（150 秒間未満）を行います。もしメッセージウィンドウに「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に前ドアを開けると、キャリブレーションを停止し、前ドアを閉じた後で再度キャリブレーションを繰り返します。

日本語

消耗品のご注文

MINOLTA-QMS の純正トナーカートリッジは、お使いの MINOLTA-QMS プリンタの仕様に合うように設計されております。

消耗品がなくなりましたら、プリンタをお買い求めの販売店、または弊社指定サービス機関で純正品をお買い求めください。

お近くに取扱店がない場合は、弊社の Web ページ：www.minolta-qms.co.jp/Store/index.html でも注文できます。

最新の情報は、弊社の Web ページ：www.minolta-qms.co.jp にアクセスしてご確認いただけます。

7

メンテナンス

プリンタのメンテナンス

ご注意

すべての注意／警告ラベルを注意深く読み、必ずその指示にしたがってください。これらのラベルはプリンタのドア内部やプリンタ本体の内部にあります。

プリンタが長く使用できるように丁寧に取り扱ってください。誤使用や乱暴な取り扱いによる故障については保証の対象になりません。ほこりや用紙の断片がプリンタ内部・外部に残っていると、印刷品質低下の原因となります。定期的にプリンタの清掃をされることをお薦めします。以下のガイドラインにしたがってください。

警告！

清掃前には、プリンタの電源を切り、電源ケーブル、インターフェースケーブルを外してください。
プリンタ内部に水や洗剤がこぼれないよう注意してください。プリンタの損傷や感電のおそれがあります。

- プリンタを使用する前、あるいは電源ケーブルを外したあと定着部の温度が下がるまで待ってから清掃してください。

ご注意

定着部は高温になります。定着部の温度はゆっくり下がります（1 時間お待ちください）。

- プリンタ内部の清掃の際や紙づまり用紙を取り除く際には、定着部など内部の部品は非常に高温になるため、定着部の周辺に触れないよう注意してください。
- プリンタの上に物を置かないでください。
- プリンタの清掃には柔らかい布を使用してください。
- プリンタの表面に洗剤液を直接スプレーしないでください。プリンタのすき間からスプレー液が入り込むと、内部の回路が損傷するおそれがあります。
- プリンタの清掃に、溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨材や腐食剤を使用しないでください。
- 中性洗剤などの洗剤液を使用する際は、プリンタの小範囲で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。

■ プリンタの清掃にはとがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの掃除パッド、ブラシなど）は使用しないでください。

■ プリンタのカバーはゆっくり閉めて下さい。プリンタに振動を与えないようにしてください。

■ プリンタを使用後すぐにカバーをかけないでください。電源を切り、プリンタの温度が下がるまで待ってください。

■ プリンタのカバーを長時間開けたままにしないでください。特に明るい場所では、光によってドラムカートリッジが損傷を受ける場合があります。

■ 印刷中はプリンタのいずれのカバーも開けないでください。

■ 用紙の束をプリンタの上部にぶつけてそろえないでください。

■ プリンタに油をさしたり、分解しないでください。

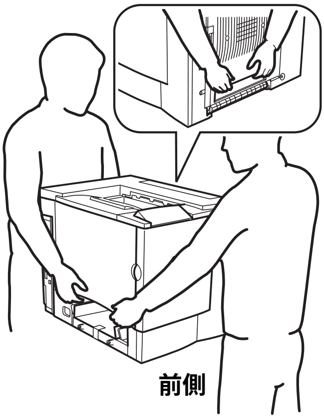
■ プリンタを傾けないでください。

■ 電気配線、ギア、レーザービーム装置には触れないでください。プリンタの故障や印刷品質の低下の原因になります。

■ 排紙トレイ上の用紙の量が多くなりすぎないように取り除いてください。用紙の量が多すぎると、紙づまりをおこしたり用紙がカールする原因になります。

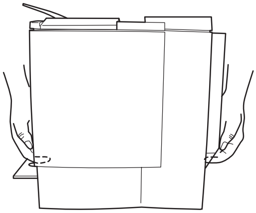
■ プリンタを移動するときは、必ず 2 人以上で持ち上げてください。
プリンタを移動するときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

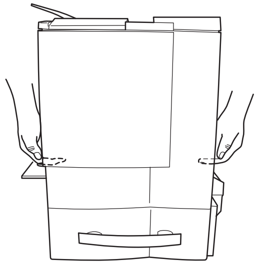
■ プリンタを持ち上げるときは、トレイ 1 上部の取手とプリンタ右下の取手（オプションの両面プリントユニット装着時は両面プリントユニット下部の取手）を持ってください。



日本語

オプションの給紙ユニット装着時も同様に、必ず下図に示す取手を持ってください。トレイ 2 の取手（引き出し部）や給紙ユニット右側のカバーを持たないでください。給紙ユニットの破損の原因になります。





■ トナーが手についたときは、冷水と中性洗剤で洗ってください。

警告！

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

■ 清掃時に取り外した内部の部品は、プリンタの電源ケーブルをコンセントに接続する前に取り付けられていることを確認してください。

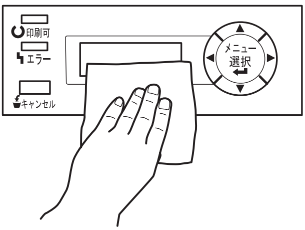
プリンタの清掃

中性洗剤などの洗剤液を使用する際は、プリンタの小範囲で試しに使用し、洗剤の効果などを確認してください。

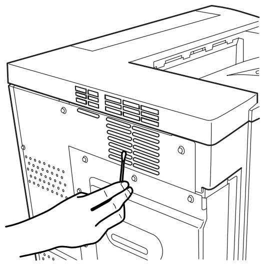
プリンタ外側の清掃

清掃が必要な箇所	清掃時期	使用するもの	使用してはいけないもの
操作パネル	30,000 ページの片面印刷または 12ヶ月ごと（どちらか先に達した時点で）	柔らかい乾いた布	とがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの清掃パッドなど）
排気ダクト		綿棒など	
			液体
外部カバー		固くしぼった柔らかい布（中性洗剤を使用）	とがっているものや表面がざらざらしているもの（針金、プラスチックの清掃パッドなど）
			溶剤（アルコール、ベンゼン、シンナーなど）を含む研磨剤や腐食剤

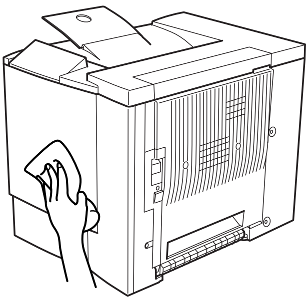
操作パネル



排気口



プリンタの外側



日本語

プリンタ内部の清掃

ご注意

清掃前にはプリンタの電源を切り、電源ケーブルを外してください。

清掃が必要な箇所	清掃時期	使用するもの	使用してはいけないもの
オプションの両面プリントユニットの搬送ローラー	紙づまりが頻繁に発生する場合、または印刷結果が汚れている場合	柔らかい乾いた布	研磨剤または洗剤
トレイ 2 の給紙ローラー			
トレイ 1 の給紙ローラー	30,000 ページの片面印刷または 12ヶ月ごと（どちらか先に達した時点で）	柔らかい乾いた布	液体、研磨剤または洗剤
レーザーレンズカバー	廃トナーボトルを取り外し、周囲を清掃してください。30,000 ページの片面印刷または 12ヶ月ごと（どちらか先に達した時点で）		
プリンタ内部（前ドア内側や廃トナーボトルの周囲）	30,000 ページの片面印刷または 12ヶ月ごと（どちらか先に達した時点で）		

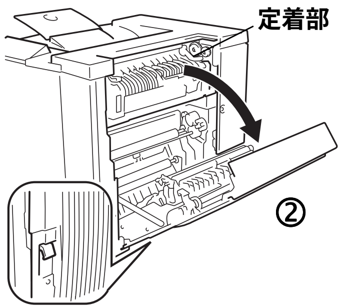
給紙ローラー

給紙ローラー部に紙粉やほこりがたまると、給紙トラブルの原因になります。

トレイ 1（多目的トレイ）の給紙ローラーの清掃

1 トレイ 1 の用紙をすべて取り除きます。

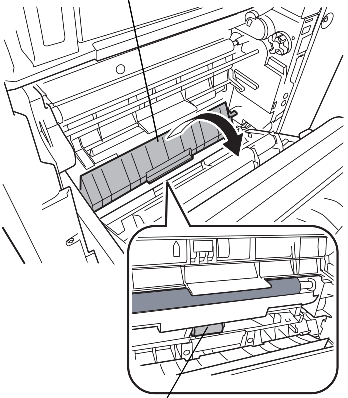
2 右ドア解除レバー ① を引き、右ドア ② を開きます。



ご注意

定着部は高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。
高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

3 片方の手で用紙ガイドを押しながら、もう片方の手で給紙ローラーを柔らかく乾いた布で拭きます



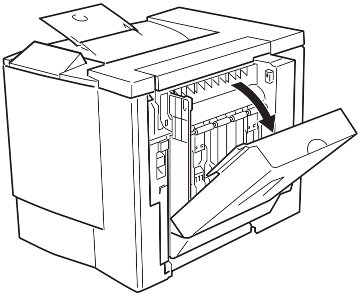
4 用紙ガイドを閉じます。

5 右ドアを閉じます。

6 用紙をトレイ 1 にセットしなおします。

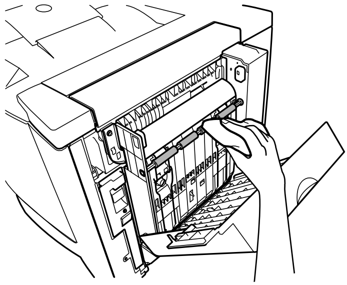
両面プリントユニットの搬送ローラー

1 オプションの両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 搬送ローラーを固くしぼった柔らかい布で拭きます。

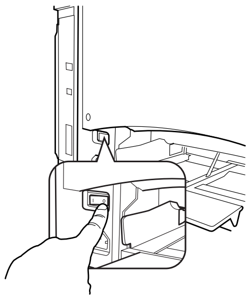
3 オプションの両面プリントユニットのドアを閉じます。



トレイ 2（オプションの給紙ユニット）の給紙ローラー／搬送ローラーの清掃

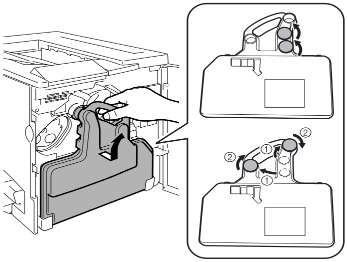
1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。

2 トレイ 2 から用紙を取り出します。



3 **前ドアを開き、廃トナーボトルを取り外します。**

廃トナーボトルの中には回収されたトナーが入っています。取り外すときにボトルを傾けすぎないよう注意してください。

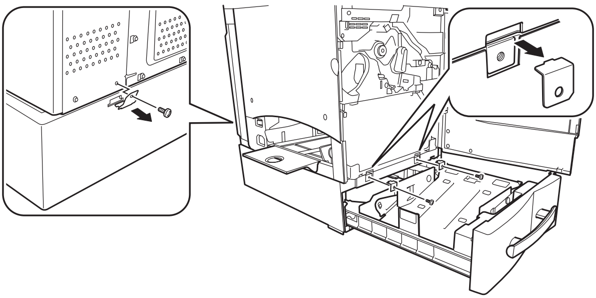


4 **廃トナーボトルを縦にして持ち、2 つのホールにキャップを取り付けます。**

取り出した廃トナーボトルはホール側を上向きにして安定した場所に置いてください。（プリンタの上に置いたり、立てかけたりしないでください。）

廃トナーボトルを取り外すと固定金具（プリンタ前面の 2 個）がよく見えます。

5 **プリンタと給紙ユニットの固定金具（プリンタ前面に 2 個、背面に 1 個）を取り外します。**

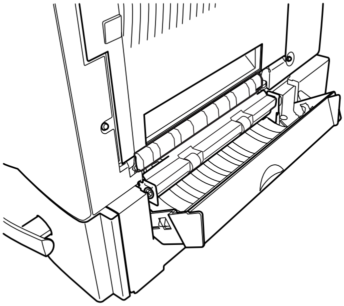


警告！

プリンタの重さは約 28 kg あります。プリンタを持ち上げるときは、必ず 2 人で作業してください。

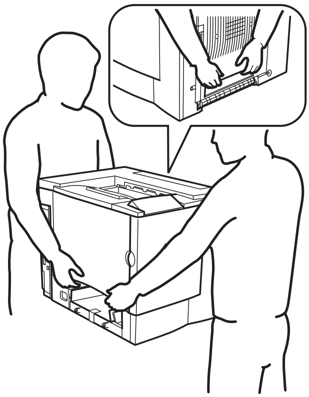
日本語

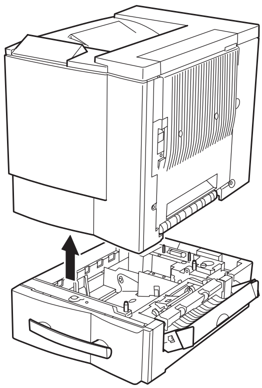
6 給紙ユニットの右ドアを開きます。



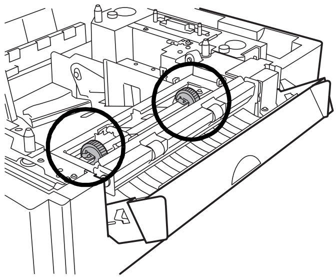
7 プリンタを持ち上げ、給紙ユニットから離します。

プリンタは 2 人で取手を持って持ち上げてください。また、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

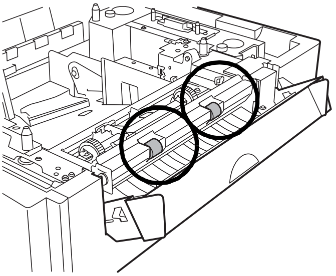




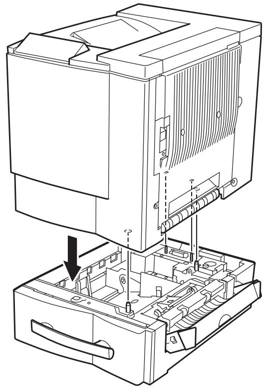
8 給紙ローラーを固くしぼった柔らかい布で拭きます。



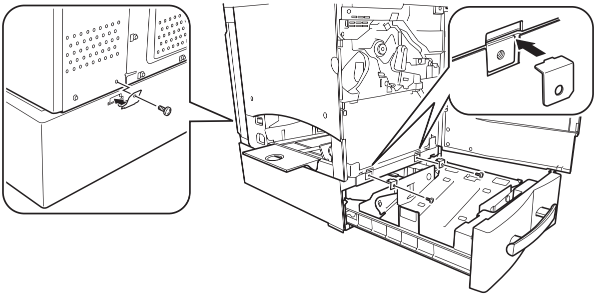
9 給紙ユニット右ドア内部の搬送ローラーを固くしぼった柔らかい布で拭きます。



10 給紙ユニットの右ドアを開いたままで、給紙ユニットとプリンタを重ねます。



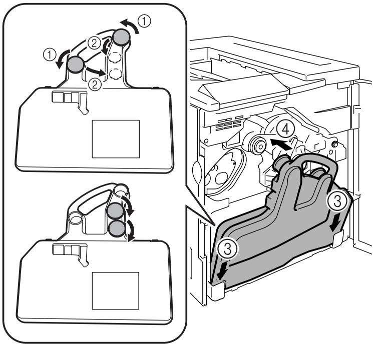
11 固定金具（前面に 2 個、背面に 1 個）を取り付け、給紙ユニットの右ドアを閉じます。



日本語

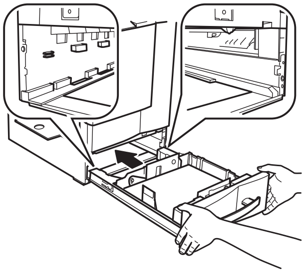
12 廃トナーボトルを縦にして持ち、2 つのホールからキャップを取り外してキャップホルダに取り付けます。
キャップは時計回りに回して固定します。

13 廃トナーボトルの下部をプリンタ側の取り付け位置に差し込み、ボトルの上部をしっかり固定されるまで押し込みます。



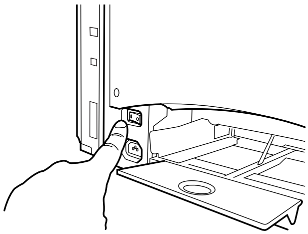
14 前ドアを閉じます。

15 給紙トレイを引き抜いている場合は、給紙トレイをプリンタに挿入します。



16 インターフェイスケーブルと電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。

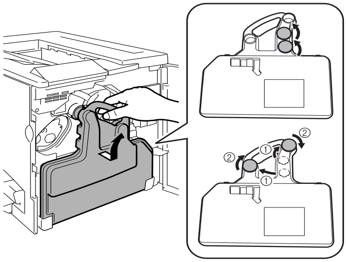
電源ケーブルの抜き差しがしやすいように設置してください。



プリンタ内部とレーザーレンズカバーの清掃

1 プリンタの前ドアを開きます。

2 廃トナーボトルを取り外します。

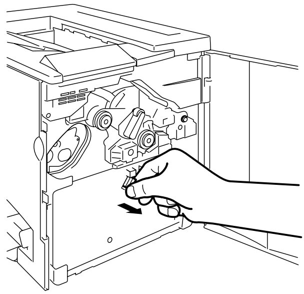


廃トナーボトルの中には回収されたトナーが入っています。取り外すときにボトルを傾けすぎないよう注意してください。

3 廃トナーボトルを縦にして持ち、2 つのホールにキャップを取り付けます。

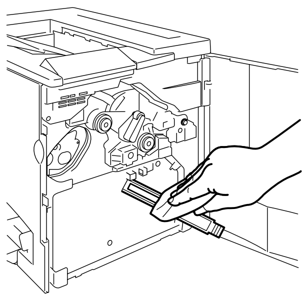
取り出した廃トナーボトルはホール側を上向きにして安定した場所に置いてください。（プリンタの上に置いたり、立てかけたりしないでください。）

4 レーザーレンズカバーを引き出します。

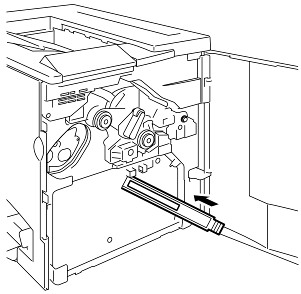


レーザーレンズカバーは取り外せません。無理やり引っぱらないでください。

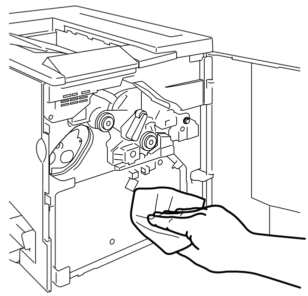
5 レーザーレンズカバーの表面を柔らかい乾いた布で拭きます。



6 **レーザーレンズカバーを挿入します。**

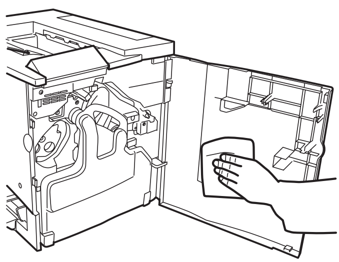


7 **プリンタの内部を柔らかい乾いた布で拭きます。**



8 **前ドアの内側を柔らかい乾いた布で拭きます。**

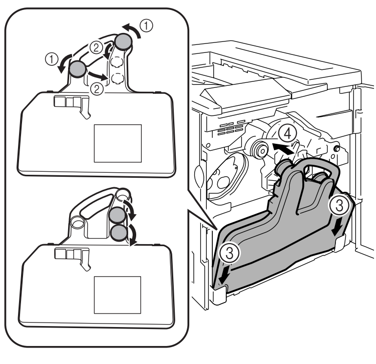
9 **廃トナーボトルの外側を柔らかい乾いた布で拭きます。**



10 **廃トナーボトルを縦にして持ち、2 つのホールからキャップを取り外してキャップホルダに取り付けます。キャップは時計回りに回して固定します。**

11 **廃トナーボトルの下部をプリンタ側の取り付け位置に差し込み、ボトルの上部をしっかり固定されるまで押し込みます。**

12 **前ドアを閉じます。**



8 トラブルシューティング

日本語

はじめに

この章では、プリンタ使用時に問題が起きた場合の解決方法や、困ったときに役立つ情報について説明しています。

コンフィグレーションページを印刷する

コンフィグレーションページを印刷し、プリンタが正しく印刷動作をしているかを確認します。

押すキー	ディスプレイ（このように表示されるまで）
	ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ｹﾞﾝｺﾞ
▶	ﾒﾆｭｰ ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ
メニュー 選択 ↵	ﾒﾆｭｰ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ
メニュー 選択 ↵	コンフィグレーションページが印刷され「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」の画面に戻ります。

紙づまりを防ぐには

確認してください
用紙はプリンタの仕様に合っていますか？
用紙（特に給紙される側）は平らですか？
プリンタは表面が固く、平らで、安定した水平な場所に置いてありますか？
用紙は湿気の多い場所を避けて保管されていますか？
静電気の発生を防ぐために、OHP フィルムに印刷したら、すぐに排紙トレイから取り除いていますか？
トレイ 1 に用紙をセットしたら、常に用紙ガイドを用紙サイズに合わせていますか？（用紙ガイドが用紙サイズに合っていないと、印刷品質の低下や紙づまり、プリンタの破損の原因になります。）
用紙は、印刷する面（片面印刷の場合）を上にしてトレイ 1 またはトレイ 2 にセットしていますか？（用紙の包装ラベルに用紙の印刷面を示す矢印がかかれていることがあります。）

避けてください
折られた用紙、しわのある用紙、エンボス加工されている用紙、曲がった用紙
重なっている用紙（用紙が重なって給紙される場合は、いったんトレイから取り出し、さばいてください。）
OHP フィルムをさばく（静電気が発生するので、OHP フィルムはさばかないでください。）
異なる種類・サイズ・坪量の用紙を同時にセットしないでください。
給紙トレイの最大容量以上に用紙をセットしないでください。
排紙トレイの最大容量以上の用紙を置いたままにしないでください。（排紙トレイは最大 200 枚まで排紙できます。200 枚以上の用紙を置いたままにすると、紙づまりの原因になります。）
排紙トレイに OHP フィルムを大量に排紙しないでください。

用紙送りの流れ

プリンタ用紙の流れを知っておくと、紙づまりが起こった場所が分かりやすくなります。

① 排紙口

② 排紙トレイ

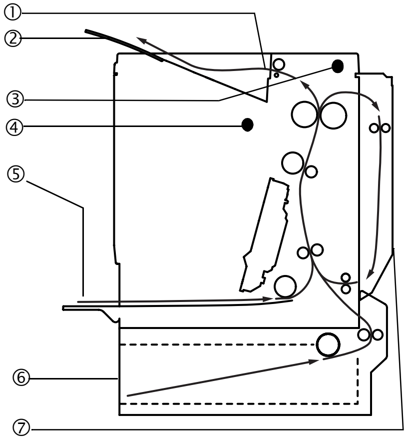
③ 定着部

④ 転写ベルトユニット

⑤ トレイ 1（多目的トレイ）

⑥ トレイ 2（オプションの給紙ユニット／ 500 枚給紙トレイ）

⑦ 両面プリントユニット



トレイ 1（多目的トレイ）

トレイ 1（多目的トレイ）はプリンタの左側にあります。用紙はトレイ 1 から給紙されると OPC ドラムと転写ベルトの下を通り、定着部を通過します。そして排紙部を通り、プリンタ上部の排紙トレイに排出されます。

トレイ 2（オプションの給紙ユニット／ 500 枚給紙トレイ）

トレイ 2（500 枚給紙トレイ）はプリンタの前面にあります。用紙はトレイ 2 から給紙されると OPC ドラムと転写ベルトの下を通り、定着部を通過します。そして排紙部を通り、プリンタ上部の排紙トレイに排出されます。

両面プリントユニット（オプション ）

用紙はトレイから給紙されると OPC ドラムと転写ベルトの下を通り、定着部を通過した後、両面プリントユニットに搬送されて用紙の向きを変えます。再度転写部と定着部を通過し、排紙部を通ってプリンタ上部の排紙トレイに排出されます。

両面印刷の際は、同時に複数の用紙がプリンタ内／両面プリントユニット内を搬送されるので、紙づまりが起こったときは 1 枚以上の用紙を取り除く必要がある場合があります。

紙づまりの処理

故障を防ぐため、紙づまりを起こした用紙がやぶれないようにゆっくりと取り除きます。大きくても小さくても紙片がプリンタ内に少しでも残ると、用紙送りできなくなり、紙づまりの原因となります。
紙づまりを起こした用紙をもう一度セットしないでください。

ご注意

定着部の前の段階では、印刷イメージは定着されていません。印刷面に触れるとトナーが手に付く場合がありますので、つまった用紙を取り除くときには印刷面に触れないように注意してください。また、プリンタ内部にトナーをこぼさないでください。

定着されていないトナーは、手や衣服などを汚す場合があります。
トナーが衣服についたときは、できる範囲で軽く払ってください。それでも衣服に残る場合は、お湯を使わず冷水ですすいでください。トナーが肌についたときは、水または中性洗剤で洗ってください。

警告！

トナーが目に入ったときは、すぐに冷水で洗い、医師に相談してください。

紙づまりの処理をした後でも、操作パネルのメッセージウィンドウに紙づまりのメッセージが表示されている場合は、プリンタのドアの開閉を行ってください。これで紙づまりのメッセージが消えます。

紙づまりの場所と処理について

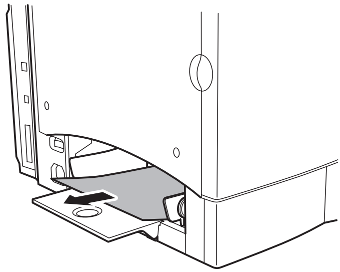
紙づまりの発生場所	記載ページ
トレイ 1	p. 94
トレイ 2	p. 95
プリンタ内部	p. 96
両面プリントユニット	p. 100
排紙トレイ	p. 100

日本語

トレイ 1（多目的トレイ）での紙づまり

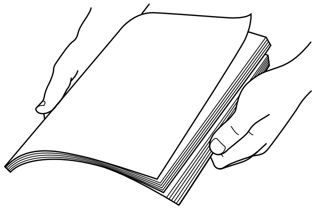
1 トレイ 1 からすべての用紙を取り除きます。

2 つまった用紙をゆっくりと引き出します。



3 手順1で取り出した用紙をさばいてから、用紙の端をそろえます。

OHP フィルムをトレイにセットするときはさばかないでください。静電気が発生してエラーの原因になります。



4 用紙の印刷面を上向きにしてトレイにセットします。

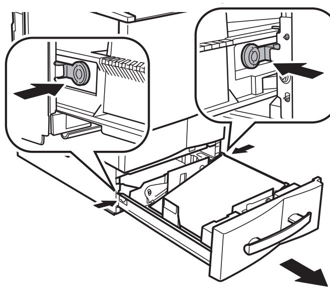
用紙が平らにセットされていること、そして最大補給量マークを越えていないことを確認してください。また、用紙ガイドが用紙の幅にきちんと合っているかも確認してください。

5 右ドアを開閉します。

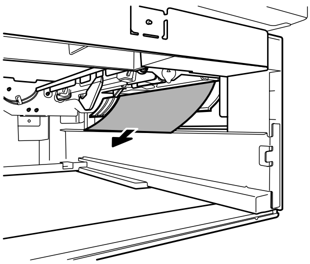
操作パネルに表示されている紙づまりのメッセージが解除されます。

トレイ 2（オプションの給紙ユニット／500 枚給紙トレイ）での紙づまり

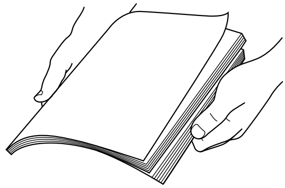
1 両側にある解除ボタンを押しながら、給紙トレイを引き出します。



2 つまっている用紙を右図で示す方向にゆっくり引き抜きます。



3 給紙トレイから用紙を取り出し、さばいてから用紙の端をそろえます。

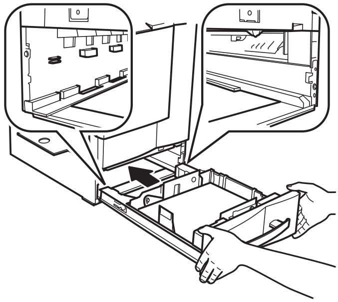


4 用紙の印刷面を上向きにして、給紙トレイにセットします。

用紙が平らにセットされていること、そして最大補給量マークを越えていないことを確認してください。また、用紙ガイドが用紙の幅にきちんと合っているかも確認してください。

日本語

5 給紙トレイを給紙ユニットに差し込んで取り付けます。



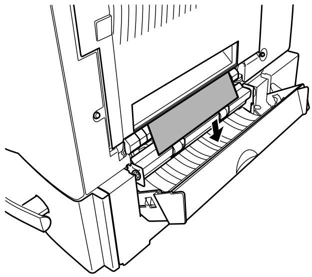
6 右ドアを開閉します。

操作パネルに表示されている紙づまりのメッセージが解除されます。

給紙ユニットの右ドア内部での紙づまり

1 給紙ユニットの右ドアを開きます。

2 つまった用紙をゆっくり取り除きます。



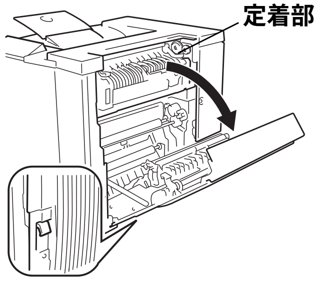
3 給紙ユニットの右ドアを閉じます。

操作パネルに表示されている紙づまりのメッセージが解除されます。

プリンタ内部での紙づまり

搬送部での紙づまり

1 右ドア解除レバーを引いて、右ドアをゆっくり開きます。
オプションの給紙ユニット装着時は、プリンタの右ドアが開くと同時に給紙ユニットの右ドアも開きます。

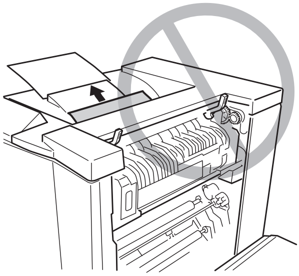


ご注意

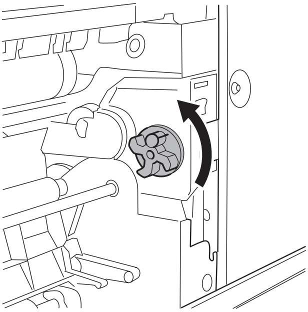
定着部は高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。
高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

ご注意

つまった用紙を右図で示す方向に引き抜かないでください。定着していないトナーが定着部のローラーに付着し、印刷品質のトラブルの原因になります。

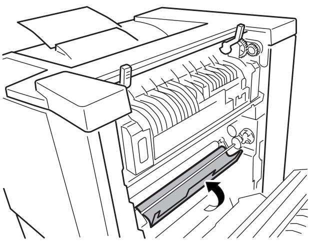


もし、つまった用紙が取り除きにくい場合は、紙づまり解除ダイヤルを反時計回りに回して用紙を下に送り出します。



2 縦搬送部で紙づまりが起こった場合、内部の用紙ガイドを開き、つまった用紙を下方向に引き抜きます。

3 内部の用紙ガイドを閉じます。



定着部での紙づまり

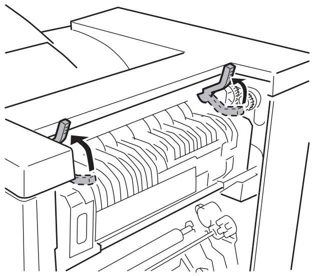
ご注意

定着部は高温になっています。やけどの原因となりますので、指定された部分以外には触れないように注意してください。
高温部に手などが触れてしまった場合は、すぐに冷たい水で冷やし、医師にご相談ください。

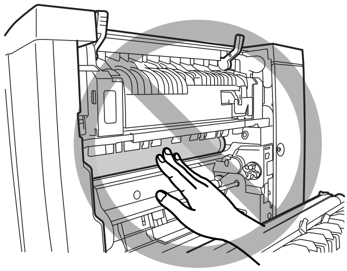


日本語

1 定着ユニット両側の緑色のレバーを持ち上げます。

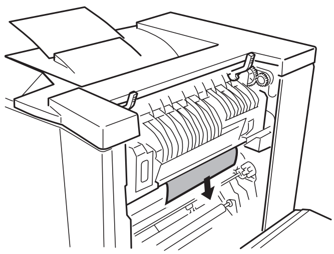


つまった用紙を取り除く際は、転写ベルトに触らないよう注意してください。
転写ベルトに触れると、印刷品質低下の原因になります。

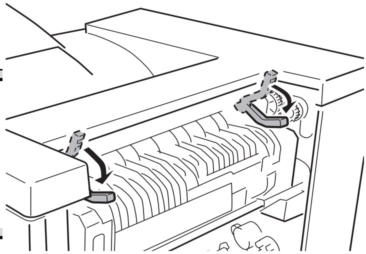


2 定着ユニットの紙づまり処理ガイドを開き、定着ユニット内に紙づまりがないか確認し、つまった用紙は下方向に引き抜きます。

3 定着ユニットの紙づまり処理ガイドを閉じます。



4 定着ユニットのレバーを元に戻します。

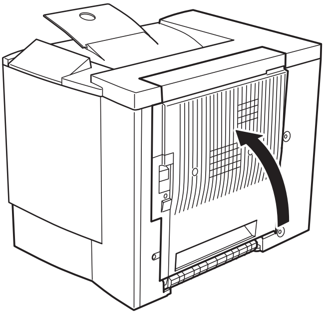


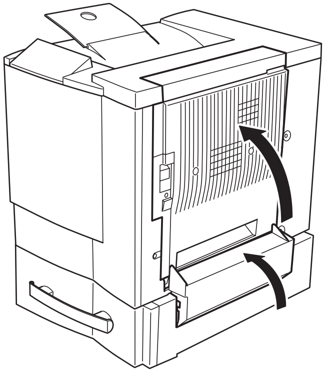
ご注意

右ドアを閉じる前に、必ず定着ユニットのレバーを元に戻してください。レバーが下がった状態でないと右ドアは閉まりません。

5 右ドアを閉じます。

オプションの給紙ユニット装着時は、給紙ユニットの右ドアも閉じます。



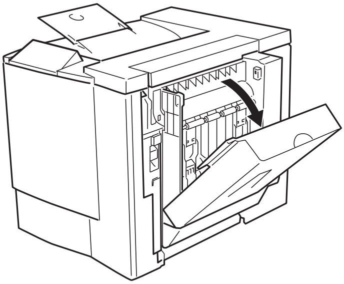


操作パネルに表示されている紙づまりのメッセージが解除されます。

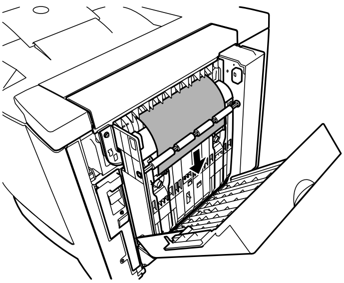
右ドア解除レバーがゆるんでいないかを見て、右ドアが確実に閉じていることを確認してください。

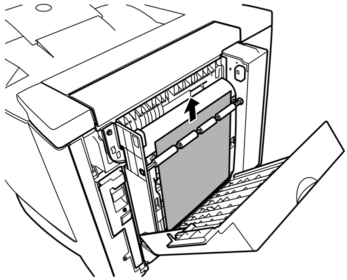
両面プリントユニット（オプション）内での紙づまり

1 両面プリントユニットのカバーを開きます。



2 下図のように、つまった用紙を取り除きます。





3 プリンタの右ドアを開閉します。

オプションの給紙ユニット装着時は、給紙ユニットの右ドアも閉じます。

操作パネルに表示されている紙づまりのメッセージが解除されます。

排紙部での紙づまり

排紙トレイにつまっている用紙をゆっくりと左方向に引き抜きます。

紙づまりの問題

特定の場所で紙づまりが頻繁に起こる場合は、その場所について確認、修理、清掃が必要です。また、対応していない種類の用紙を使用すると、紙づまりの原因になります。

症状	原因	処置のしかた
複数の用紙が重なって給紙される	用紙の先端がそろっていない。	用紙を取り出し、用紙の端をそろえてセットしなおしてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	静電気が起きている。	OHP フィルムはさばかないでください。
紙づまりのメッセージが消えない	プリンタをリセットする必要がある。	プリンタの右ドアを開閉してリセットしてください。
	プリンタ内につまった紙、紙片が残っている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。
両面印刷の紙づまりが起きている	間違った用紙を使用している。	対応用紙以外は使用しないでください。「使用できる用紙サイズ」（p.13）を参照。
		オプションの両面プリントユニット装着時に、60 〜 90 g/m² の普通紙で両面印刷ができます。プリンタドライバで両面プリントユニットをインストール済みオプションに設定し、用紙種類を正しく設定してください。自動両面印刷に対応している用紙については「使用できる用紙サイズ」（p.13）を参照。
		トレイ 1（多目的トレイ）に異なる種類の用紙を混ぜてセットしないでください。
		厚紙や封筒、ラベル紙、OHP フィルムを両面印刷に使用しないでください。
	まだ紙づまりを起こしている。	用紙が通る場所を再確認し、紙づまりがすべて取り除かれているか確認してください。

症状	原因	処置のしかた
紙づまりが起きる	給紙トレイ内で用紙が正しい位置にセットされていない。	つまった紙を取り除き、給紙トレイに正しく用紙をセットしなおしてください。
	トレイ内の用紙枚数が最大補給量を超えている。	最大補給量を超えている用紙を取り除き、トレイ内の用紙の枚数を減らしてセットしなおしてください。
	用紙ガイドの幅が、用紙サイズに合うように調節されていない。	給紙トレイ内の用紙ガイドを用紙サイズに合うように調節してください。
	用紙がオプションの給紙トレイの用紙分離ヅメの上にのっている。	用紙を取り出し、用紙の右側前後の角が給紙トレイの用紙分離ヅメの下になるようにセットしてください。
	給紙トレイ内の用紙が曲がったりしわになったりしている。	曲がった用紙やしわになった用紙を取り除き、新しい用紙に替えてください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿気のある用紙を取り除き、新しい乾いた用紙に替えてください。
	オプションの給紙トレイに厚紙、ラベル紙、封筒、官製はがき、OHP フィルムがセットされている。	普通紙以外の用紙は多目的トレイにセットしてください。
	推奨用紙の OHP フィルムまたはラベル紙が、トレイ 1（多目的トレイ）内で逆向きにセットされている。	OHP フィルムやラベルの向きを正しい向きにセットしてください。
	封筒がトレイ 1（多目的トレイ）内で間違った向きにセットされている。	封筒はフタを下側にしてセットしてください。
		フタが封筒の短辺にある場合は、フタの側からトレイに挿入してください。
	複数の OHP フィルムが手差しトレイ内で静電気を起こしている。	OHP フィルムを取り除き、一度に 1 枚ずつトレイ 1（多目的トレイ）にセットします。セットする前に OHP フィルムをさばかないでください。
	対応していない用紙（対象外のサイズ、厚さ、種類の用紙）を使用している。	プリンタの保証範囲内の用紙を使用してください。
	給紙ローラーが汚れている。	給紙ローラーを清掃してください。 詳しくは「給紙ローラー」（p.80）を参照。

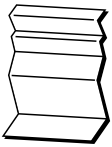
その他の問題

症状	原因	処置のしかた
プリンタの電源が入らない	電源ケーブルが正しくコンセントに差し込まれていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にし、電源ケーブルをコンセントから外し、差し込みなおして、電源スイッチをオン（｜の位置）にします。
	プリンタが使用しているコンセントに問題がある。	他の電気機器をそのコンセントに接続して、正しく動作するか確認してください。
	電源スイッチが正しくオン（｜の位置）になっていない。	電源スイッチをオフ（○の位置）にしてから、オン（｜の位置）にします。
	プリンタが接続されているコンセントの電源の電圧や周波数がプリンタの仕様に合っていない。	付録「電気特性」(p.145) に記載されている仕様に合った電源を使用してください。
コンピュータで印刷を実行してもプリンタ側で印刷されない	メッセージウィンドウにエラーメッセージが表示されている。	表示されているメッセージにしたがって操作してください。
予定よりもかなり早くメッセージウィンドウに「XXXX ﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ」が表示される	大容量サイズのトナーカートリッジをセットしているが、トナーサイズの設定は標準サイズになっている。	トナーカートリッジを交換するときは、「ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰｻｲｽﾞ ﾉ ﾍﾝｺｳ」でトナーカートリッジのラベルに記されている容量に合わせて設定してください。 このとき、内容量の設定と消耗品のカウンタが更新されます。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
コンフィグレーションページが印刷されない	給紙トレイに用紙がセットされていない。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	プリンタのドアがしっかり閉まっていない。	プリンタのドアがしっかり閉まっているか確認してください。すべてのドアを、プリンタを傷めないようにゆっくり閉じてください。前ドアを閉じるときは、廃トナーボトルが正しくセットされているか確認してください。
	紙づまりがおきている。	紙づまりをしていないか確認し、つまった用紙を取り除いてください。

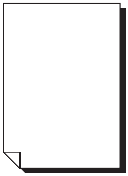
症状	原因	処置のしかた
印刷に時間がかかりすぎる	印刷に時間のかかるモード（厚紙や OHP フィルム）に設定されている。	OHP フィルムなどの特殊な用紙では、印刷に時間がかかります。 普通紙を使用しているときは、プリンタドライバで用紙の種類が普通紙に設定されていることを確認してください。
	プリンタが節電モードになっている。	プリンタが節電モードの状態では、印刷するまでに少し時間がかかります。 お待ちください。
	複雑なプリントジョブを処理している。	処理時間を要します。お待ちください。
	プリンタのメモリが十分でない。	メモリを増設してください。
白紙が排出される	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れているか、トナーがなくなっている。	ステータスディスプレイのメッセージを確認してください。 トナーカートリッジを確認してください。
	用紙や設定が正しくない。	プリンタドライバで用紙の種類が、プリンタにセットされている用紙と合っているか確認してください。
操作パネルのメニューで設定変更が終わらないうちに「ﾚﾃﾞｨ」画面に戻ってしまう	メニュー画面で設定変更中に 2 分間何も選択されていない。	メニュー画面では、2 分経つ前にメニュー・項目を選択してください。
印刷されないページがある	プリンタのインターフェイスケーブルの種類またはポートが間違っている。	インターフェイスケーブルを確認してください。
	［キャンセル］キーが押された。	ジョブの印刷中に、誰も［キャンセル］キーを押していないことを確認してください。
	給紙トレイが空になっている。	給紙トレイに用紙があるか、正しく揃えてセットされているか確認してください。
	オーバーレイを設定して印刷しようとしたときに、magicolor 2300 DL 用以外のドライバで作成されたオーバーレイファイルが選択されている。	オーバーレイを設定する場合は、magicolor 2300 DL 用のオーバーレイファイルを使用してください。

症状	原因	処置のしかた
頻繁にプリンタがリセットされたり電源が切れたりする	電源ケーブルが AC コンセントに正しく接続されていない。	プリンタの電源を切り、電源ケーブルが AC コンセントに正しく接続されているか確認して、電源を入れなおしてください。
	システムエラーが起きている。	エラー情報については、販売店または弊社に連絡してください。
両面印刷時に問題がある	用紙や設定が正しくない。	両面プリントユニットが装着されているか確認してください。
		両面印刷では普通紙を使用してください。厚紙、封筒、ラベル、はがき、OHP フィルムでは両面印刷しないでください。 トレイ 1 に異なる種類の用紙がセットされていないか確認してください。
		印刷する文書が 2 ページ以上あることを確認してください。
		プリンタドライバの「デバイスオプションの設定」タブで両面プリントユニットが「インストール済みオプション」に設定されているか確認してください。
		プリンタドライバの「セットアップ」タブの「両面印刷／小冊子（袋とじ）印刷」で「短辺綴じ」（メモ帳のように縦にめくる）または「長辺綴じ」（ルーズリーフのノートのように横にめくる）を選択してください。 正しい用紙を使用しているか確認してください。
		N-up 設定で両面印刷を行う場合、「部単位で印刷（仕分け、コレート）」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側で「部単位で印刷（仕分け、コレート）」の設定をしないでください。
N-up 設定で 2 部以上印刷する場合に、正しく排出されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「部単位で印刷」の設定がされている。	N-up 設定で 2 部以上の印刷を行う場合、「部単位で印刷」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側で「部単位で印刷（仕分け、コレート）」の設定をしないでください。
小冊子（袋とじ）印刷時に、左綴じ／右綴じの設定通りに印刷されない	プリンタドライバとアプリケーションの両方で「部単位で印刷」の設定がされている。	小冊子（左綴じ／右綴じ）印刷を行う場合、「部単位で印刷」の設定は必ずプリンタドライバの「用紙」タブで行ってください。アプリケーション側で「部単位で印刷（仕分け、コレート）」の設定をしないでください。

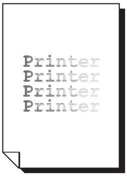
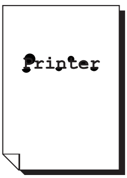
症状	原因	処置のしかた
印刷前、印刷中に約 90 秒プリンタが停止する	プリンタは AIDC（自動画像濃度調整）カラーキャリブレーションを行うために停止しています。 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。処理の途中で（「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に）プリンタのドアを開けると、いったんキャリブレーション処理が停止し、ドアが閉められると同時に再度キャリブレーション処理をやり直します。	「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまでお待ちください。 ※プリンタは連続して 200 ページの片面印刷が行われるごとに 1 回 AIDC カラーキャリブレーションを行います。
印刷前、印刷中に約 150 秒プリンタが停止する	プリンタは AIDC（自動画像濃度調整）カラーキャリブレーションを行うために停止しています。 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。処理の途中で（「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示される前に）プリンタのドアを開けると、いったんキャリブレーション処理が停止し、ドアが閉められると同時に再度キャリブレーション処理をやり直します。	「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまでお待ちください。 ※プリンタは気温や湿度など環境の変化によるリブート後、自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。
		「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまでお待ちください。 ※前回の AIDC カラーキャリブレーション処理から 1,000 ページ以上印刷が行われているとき、プリンタは、節電モードからのウォームアップ後、自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。
		「ﾚﾃﾞｨ/MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまでお待ちください。 ※プリンタは、新しいトナーカートリッジやドラムカートリッジの装着後、自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。

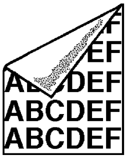
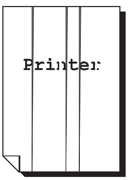
症状	原因	処置のしかた
異常音がする	プリンタが水平に置かれていない。	プリンタを平らで、固く、安定した、水平な面（傾き ±1° 以内）に置いてください。
	給紙トレイが正しくセットされていない。	給紙トレイを取り外し、確実にセットしなおしてください。
	プリンタ内に異物がある。	プリンタの電源を切り、異物を取り除いてください。取り除くことができない場合は、販売店または弊社に連絡してください。
Web ベースのユーティリティでプリンタにアクセスできない	PageScope Light の管理者パスワードが正しくない。	1 〜 4 文字の管理者パスワードを入力してください。パスワードについては管理者に確認してください。
用紙にしわができる 	用紙が湿気を帯びている、または用紙が水でぬれている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	転写ローラーまたは定着ユニットが壊れている場合があります。	転写ローラーに損傷がないか確認してください。必要であれば、エラー情報を販売店または弊社に連絡してください。 連絡先については www.minolta-qms.co.jp をご覧ください。
	対応していない用紙を使用している。	弊社の推奨用紙を使用してください。 「用紙種類」（p.14）を参照。

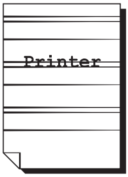
印刷品質の問題

症状	原因	処置のしかた
何も印刷されない 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	プリンタドライバが正しくセットされていない。	普通紙に印刷する場合、プリンタドライバで用紙の種類が「OHP フィルム」に設定されていないか確認し、「普通紙」の設定に変更してください。
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	用紙が湿気を帯びている。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。 湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	プリンタドライバの用紙設定と実際にプリンタにセットされている用紙が合っていない。	プリンタに正しい用紙をセットしてください。
	電源がプリンタの仕様に合っていない。	仕様に合った電源を使用してください。
	複数の用紙が同時に給紙されている。	給紙トレイから用紙を取り出し、静電気が起きていないか確認してください。OHP フィルム以外の用紙であれば、用紙をさばいてから給紙トレイに戻してください。
	用紙が給紙トレイに正しくセットされていない。	用紙を取り出し、トントンと用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。
	プリンタが水平でない場所に置かれている。	プリンタを十分に支えることのできる、平らで、固く、安定した、水平な場所にプリンタを置いてください。
	用紙をセットする前に、きちんと端が揃えられていない。	用紙を取り出し、トントンと用紙の端をそろえて給紙トレイに戻し、用紙ガイドを調節してください。

症状	原因	処置のしかた
まっ黒または一面カラーで印刷される 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
印刷が薄い 	レーザーレンズカバーが汚れている。	レーザーレンズカバーを清掃してください。
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	トナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている。	トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ) 新しいトナーカートリッジの容量が、古いものと異なる場合は、トナーカートリッジサイズの設定を変更してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰｻｲｽﾞ ﾉ ﾍﾝｺｳ)
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。
印刷が濃い 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
画像がにじむ 背景が汚れる 光沢にムラがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
濃度が均一でない 	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少なくなっている、または壊れている場合があります。	トナーカートリッジを交換してください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが正しく装着されていないか、壊れている場合があります。	ドラムカートリッジをセットしなおしてください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	プリンタが平らで水平ではない場所に置かれている。	水平な場所にプリンタを置いてください。(プリンタの周囲を含めて傾き ±1° 以内)
画像にムラがある、または一部分が欠ける 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	湿度が高すぎる。	用紙を保管する場所の湿度を調節してください。
	対応していない用紙を使用している。	プリンタが対応している用紙を使用してください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
十分にトナーが定着していない、またはこすると画像が落ちてしまう 	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
	対応していない用紙を使用している。	プリンタが対応している用紙を使用してください。
	用紙の種類が正しく設定されていない。	厚紙、封筒、ラベル紙、OHP フィルムに印刷する場合は、プリンタドライバで用紙の種類を指定してください。

症状	原因	処置のしかた
しみやカスの汚れがある 	1 つ以上のトナーカートリッジが正しく装着されていない、または壊れている場合があります。	しみ汚れが用紙の表側だけの場合： トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
用紙の裏面にしみ汚れがある（両面印刷かどうかに関係なく） 	給紙ローラー、搬送ローラーが汚れている。	給紙ローラー、搬送ローラーを清掃してください。
		給紙ローラー、搬送ローラーの交換が必要と思われる場合、販売店または弊社に連絡してください。 連絡先については www.minolta-qms.co.jp をご覧ください。
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。 (ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
白または黒、カラーの線が同じパターンで現れる 	レーザーレンズカバーが汚れている。	レーザーレンズカバーが汚れていないか確認してください。必要であれば、きれいなな柔らかい布で清掃してください。
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	異常な線が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
画像が欠ける 	レーザーレンズカバーが汚れている。	レーザーレンズカバーを柔らかい乾いた布で清掃してください。
	トナーカートリッジからトナーがもれている。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	トナーカートリッジが壊れている場合があります。	異常な現象が現れる色のトナーカートリッジを取り出し、新しいトナーカートリッジをセットしてください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	ドラムカートリッジが壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを交換してください。
横方向に線や帯が現れる 	プリンタが平らで水平ではない場所に置かれている。	水平な場所にプリンタを置いてください。(プリンタの周囲を含めて傾き ±1° 以内)
	通紙経路がトナーで汚れている。	白紙を数枚印刷し、余分なトナー汚れを取り除いてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。(ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ)
	PC ドラムの表面に傷がある、または壊れている。	ドラムカートリッジを取り出し、緑色のローラー部に傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
色再現が極端におかしい	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている、または寿命に達している。	トナーカートリッジを取り出し、ローラー部に均等にトナーがのっているか確認し、トナーカートリッジをセットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジ内のトナーが残り少ない、またはなくなっている。	操作パネルに「XXXX ﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ」と表示されていないか確認してください。メッセージが表示されている場合、指定されている色のトナーカートリッジを交換してください。

症状	原因	処置のしかた
色再現が適切でない（色が混ざったり、ページによって色再現が異なるなど）	前ドアがきちんと閉まっていない。	前ドアが確実に閉まっていることを確認してください。
	ドラムカートリッジが正しく装着されていない。	ドラムカートリッジを取り出し、セットしなおしてください。
	1 つ以上のトナーカートリッジが壊れている場合があります。	トナーカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、トナーカートリッジを交換してください。（ｴﾝｼﾞﾝ / ﾄﾅｰ ｺｳｶﾝ）
	用紙が湿気を帯びている。	湿った用紙を取り出し、新しい乾いた用紙に替えてください。
色再現が不十分、または色の濃度が薄い	転写部が壊れている場合があります。	ドラムカートリッジを取り出し、損傷がないか確認してください。必要であれば、ドラムカートリッジを交換してください。
	AIDC（自動画像濃度調整）センサが汚れている。	前ドアを数回開閉してください。（前ドアを開閉することにより、AIDC センサの表面が清掃されます。） AIDC カラーキャリブレーション（ｴﾝｼﾞﾝ / ｻｰﾋﾞｽ / ﾊﾟﾜｰｵﾝ ﾃｽﾄ）を実行してください。「ﾚﾃﾞｨ /MAGICOLOR 2300DL」が表示されるまでお待ちください。

もし上記の処置を行っても問題が解決されない場合は、販売店または弊社にお問い合わせください。

問い合わせ先については www.minolta-qms.co.jp をご覧ください。

ステータス、エラー、サービスのメッセージ

ステータス、エラー、サービスのメッセージは、操作パネルのメッセージウィンドウに表示されます。プリンタの情報を表示し、問題のある場所を見つけるのに役立ちます。表示されたメッセージを確認し、正しい処置を行ってください。

日本語

通常のステータスメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
ｷｬﾘﾌﾞﾚｰｼｮﾝﾁｭｳ	プリンタは次のタイミングで自動的に AIDC カラーキャリブレーションを行います。 • 200 ページおよび 1,000 ページの印刷が行われるごと • 電源オンの起動時 • 消耗品の交換後 この処理は、プリンタの印刷品質を最適に保つために行われます。	通常のステータスメッセージです。処置の必要はありません。
ｼﾞｮﾌﾞﾉｷｬﾝｾﾙﾁｭｳ	プリントジョブがキャンセルされています。	
ｾﾂﾃﾞﾝﾓｰﾄﾞ	節電機能がはたらいています。節電モードになり動作していない間は、消費電力が少なくなります。プリントジョブを受信すると、プリンタは 180 秒以内に通常の消費電力に戻ります。	
ﾚﾃﾞｨ MAGICOLOR 2300DL	プリンタは印刷可能な状態です。	
ｲﾝｻﾂﾁｭｳ	印刷処理中です。	
ｼｮﾘﾁｭｳ	データ処理中です。	
ｳｫｰﾐﾝｸﾞｱｯﾌﾟ	ウォームアップ中です。	

エラーメッセージ

メッセージ	意味	処置のしかた
XXXX ﾄﾅｰｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	*XXXX（トナーの色を示します）*のトナーカートリッジが正しく取り付けられていません。	表示されているトナーカートリッジを取り付けてください。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	給紙ユニットの右ドアが開いています。	右ドアを閉じてください。
ﾄﾚｲ 2 ｶｸｼﾞﾂﾆｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	給紙トレイ（トレイ 2）が給紙ユニットに正しく差し込まれていません。	給紙トレイを給紙ユニットに確実に差し込んでください。
ﾄﾞﾗﾑｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	ドラムカートリッジが取り付けられていません。	ドラムカートリッジを取り付けてください。
ﾘｮｳﾒﾝﾕﾆｯﾄｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの両面プリントユニット未装着の状態で、プリンタドライバの両面印刷が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更するか、両面プリントユニットを取り付けてください。
ﾒﾓﾘｵｰﾊﾞｰﾌﾛｰ ｴﾗｰ	プリンタは、メモリで処理できる量以上のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。 または、オプションのメモリを増設してください。
ﾋﾞﾃﾞｵｱﾝﾀﾞｰﾗﾝ ｴﾗｰ	プリンタ内部の通信速度で処理できない量のデータを受信しました。	プリンタの電源を切り、数秒してから再度電源を入れます。 プリントジョブのデータ容量を少なくし（例えば、解像度を低くするなど）、再度印刷してください。
ﾘｮｳﾒﾝｹﾞﾀﾞﾝﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	両面プリントユニットの搬送部（下段）で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾘｮｳﾒﾝｼﾞｮｳﾀﾞﾝﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	両面プリントユニットの内部（上段）で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。

日本語

メッセージ	意味	処置のしかた
ﾊｲｼｭﾂｴﾘｱﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	プリンタ内部と排紙口の間で紙づまりが起きています。 定着部とプリンタ上部の排紙ローラーの間で紙づまりが起きています。 排紙口辺りで紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾃｲﾁｬｸｴﾘｱﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	定着ユニットで紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾃﾝｼｬﾛｰﾗｰﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	転写ローラーの辺りで紙づまりが起きています。この場合、用紙は排紙口まで進んでいません。	つまった用紙を取り除いてください。
ﾄﾚｲ 1（2）ﾃﾞ ﾒﾃﾞｨｱｼﾞｬﾑ	トレイ 1（またはトレイ 2）の給紙部で紙づまりが起きています。	つまった用紙を取り除いてください。
XXXX ﾄﾅｰﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ	*XXXX（トナーの色を示します）*トナーが残り少なくなっています。あと 200 ページ（A4 サイズで 5% の印字率の場合）印刷する前にトナーカートリッジを交換する必要があります。	指定されたトナーカートリッジを交換してください。
ﾄﾞﾗﾑﾉｼﾞｭﾝﾋﾞ	ドラムカートリッジが寿命に近づいています。印刷品質が薄くなってくるので交換が必要です。	ドラムカートリッジを交換してください。
ﾌﾟﾘﾝﾀｶﾊﾞｰｶﾞ ｱｲﾃｲﾏｽ	プリンタの前ドアが開いています。	前ドアを閉じてください。
ﾄﾚｲ *X*ﾆ ﾖｳｼ ｾｯﾄ *YYYY*	トレイ *X*（トレイ 1 またはトレイ 2）に *YYYY* サイズの用紙がセットされていません。	正しいサイズの用紙を指定されたトレイにセットしてください。
ﾄﾚｲ *X*ﾆ *YYYY*ｦ ｾｯﾄｼﾃｸﾀﾞｻｲ	トレイ *X*（トレイ 1 またはトレイ 2）に *YYYY*（用紙の種類）がセットされていません。	正しい種類の用紙を指定されたトレイにセットしてください。
ｻｲｽﾞﾐｽﾏｯﾁ	プリンタドライバで設定されている用紙サイズとトレイにセットされているサイズが異なります。	正しいサイズの用紙を給紙トレイにセットしてください。

日本語

メッセージ	意味	処置のしかた
ｻｲｽﾞ / ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ	プリンタドライバで設定されている用紙サイズ、用紙種類とトレイ 1 にセットされているものが異なります。	正しいサイズ、種類の用紙をトレイ 1 にセットしてください。
ｻｲｽﾞ / ﾀｲﾌﾟ ｴﾗｰ ﾘｮｳﾒﾝ	両面印刷時、プリンタドライバで設定されている用紙サイズ、用紙種類と給紙トレイにセットされているものが異なります。	両面印刷に対応したサイズ、種類の用紙を使用してください。
XXXX ﾄﾅｰｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	*XXXX（トナーの色を示します）*トナーカートリッジ内のトナーがなくなりました。	トナーカートリッジを交換してください。 （p. 64 を参照）
ﾄﾚｲ *X* ﾖｳｼﾅｼ	トレイ X（トレイ 1 またはトレイ 2）がプリンタドライバの「給紙カセット」で指定されていますが、トレイに用紙がありません。	指定された給紙トレイに用紙をセットしてください。
ﾄﾚｲ 2 ｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	オプションの給紙ユニット未装着の状態で、プリンタドライバの「給紙カセット」に「トレイ 2」が指定されました。	プリントジョブを中止し、プリンタドライバの設定を変更するか、給紙ユニットを取り付けてください。
ﾄﾚｲ 2 ﾖｳｼｽｸﾅｲ	トレイ 2 の用紙が残り少なくなりました。	トレイに給紙する用紙を準備してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙ ﾎﾎﾞﾌﾙ	廃トナーボトルがもうすぐいっぱいになります。	新しい廃トナーボトルに交換してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｦ ｺｳｶﾝｼﾃｸﾀﾞｻｲ	廃トナーボトルが廃トナーでいっぱいになりました。	新しい廃トナーボトルに交換してください。
ﾊｲﾄﾅｰﾎﾞﾄﾙｶﾞ ﾐﾂｶﾘﾏｾﾝ	廃トナーボトルが取り付けられていません。	廃トナーボトルを取り付けてください。
ﾘｮｳﾒﾝ ｲﾘｰｶﾞﾙｴﾗｰ	オプションの両面プリントユニットが取り付けられていません。	両面プリントユニットを取り付けてください。
	両面印刷に対応していないサイズ／種類の用紙が使われています。	両面印刷に対応したサイズ／種類の用紙以外は使用しないでください。

サービスメッセージ

いくつかの例外的な処理が重なった場合に、実際には問題がなくても、サービスメッセージが表示されることがあります。プリンタの動作が止まり、サービスメッセージが表示されたら、プリンタの電源を切ってから入れなおしてください。この操作でサービスメッセージが消え、プリンタの動作が復旧することがあります。サポートセンターへ連絡する前に、必ず電源のオフ／オンをしてみてください。

サービスは、保守契約を結ばれているサービス店かお買い求めの販売店、または弊社サポートセンターにご連絡ください。

メッセージ	意味	処置のしかた
ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ ｴﾗｰ	パラレル、USB またはイーサネットインターフェイスで通信エラーが検出されました。	インターフェイスケーブルが正しく接続されているか確認してください。 状況が変わらない場合は、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
AIDC ｾﾝｻｰ ｴﾗｰ	AIDC センサでエラーが検出されました。	プリンタを再起動してください。 状況が変わらない場合は、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。
ｺﾝﾄﾛｰﾗｰ ｴﾗｰ	プリンタ内部で制御エラーが検出されました。	
DIMM ｴﾗｰ	SDRAM DIMM エラーが検出されました。	
RAM ｴﾗｰ	RAM リード・ライトエラーが検出されました。	
ROM ｴﾗｰ	ROM エラーが検出されました。	
FATAL ERROR ｺｰﾄﾞ:XX	サービスメッセージ内に表示されている“XX”のエラーが検出されました。	プリンタを再起動してください。 状況が変わらない場合は、エラーの情報を販売店または弊社に連絡してください。

サービスとサポート

ユーザー登録

プリンタ本体には、ユーザー登録カードが入っています。必要事項をご記入の上、弊社にご返送ください。

ユーザー登録の情報をもとに保証書を発行致しますので、かならずユーザー登録カードをご返送頂けますようお願いいたします。

弊社の Web からもユーザー登録をすることができます。

URL：http://www.minolta-qms.co.jp/Support/Userreg/index.html

年間保守契約について

本プリンタを安心してお使いいただくために年間保守契約の制度を設けております。年間保守契約についての詳しいことはお買い求めの販売店またはミノルタ・キューエムエス（株）にお問い合わせください。

インターネットでのサポートについて

最新のソフトウェアのダウンロード、カタログ請求やカスタマ・サポート担当への電子メールにてユーザーサポートも受け付けております。

URL：http://www.minolta-qms.co.jp

プリンタに関するお問い合わせ

販売店及び弊社にお問い合わせになるときには、次のような項目をあらかじめ調べておいていただきますと不具合の原因を調べる助けになります。

- プリンタの機種名
- プリンタに接続されているコンピュータの機種
- コンピュータで使用されているオペレーティングシステムの種類とバージョン
- プリンタとコンピュータを接続しているインターフェイスの種類
- 使用されているアプリケーションソフトウェアとバージョン

日本語

以下の場合には、お問い合わせに対してご回答できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- アプリケーションソフトウェアの使い方及び操作方法
- ホストコンピュータの使い方及び操作方法
- お客様固有と思われるアプリケーションソフトウェア及びホストコンピュータでの動作について
- 問題解決に必要な情報が不足している場合
- 本来の使い方及び操作方法から逸脱している場合
- 本プリンタとは直接関係のない他社製品についてのお問い合わせ
- 本製品の非公開仕様に関するお問い合わせ

保証の対象外となる項目について

プリンタのご使用にあたっては本書およびインストレーションガイドに記載の注意事項を良くお読みいただき、正しい操作方法でご使用いただくことをお願いいたします。

尚、下表に示す項目は保証の対象外となりますのでご注意ください。

弊社推奨品以外の消耗品、用紙、オプションを使用したことにより故障または損傷した場合、有償修理の対象となります。

以下の場合は、保証の対象外です。	
用紙	表面加工されたカラーの OHP フィルムやインクジェット用紙など、弊社推奨品以外の用紙を使用した場合。 詳しくは、ユーザーズガイドの「用紙の取り扱い」を参照してください。
静電気の放電	コントローラボードを扱う際（増設メモリの取り付けなど、いかなる場合でも）、人体からの静電気に対する適切な保護を怠った場合。
操作	本書での操作の指示にしたがわなかった場合。
改造	プリンタを改造して使用された場合。 法令に触れたり安全や機能を損なうことがあります。
消耗品	弊社推奨品以外の消耗品を使用された場合。（トナーを再充填してトナーカートリッジを使用するとプリンタの損傷や品質の低下につながる恐れがあります。）
オプション	弊社推奨品以外のオプションを使用された場合。

9 オプションの取り付け

日本語

はじめに

日本語

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。

ご注意

本機は、純正品／推奨品以外のオプションには対応していませんので、それらの使用は保証の対象外となります。

この章では、以下のオプションについて説明します。購入方法については、販売店へお問い合わせいただくか、または www.minolta-qms.co.jp にアクセスしてご確認いただけます。

メモリ（DIMM）	増設メモリ 128 MB または 256 MB（PC-100 または PC-133 準拠の SDRAM DIMM） 最大 288 MB まで拡張可能
両面プリントユニット	自動で用紙の両面に印刷することができます。
給紙ユニット	500 枚給紙トレイ付

ご注意

オプションを取り付ける際は、必ずプリンタの電源を切り、電源ケーブルを抜いてから作業をしてください。

静電気防止の対策

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。
プリンタコントローラボードや部品を取り扱う前、またプリンタコントローラボードを取り外す前に、接地面に触れて、体についている静電気を放電してください。また、放電した後は、歩き回らないでください。

日本語

メモリ（DIMM）の取り付け

メモリ（DIMM）は、メモリチップが表面に載っている小型の基板です。

本プリンタには、標準で 32 MB のメモリが付属しています。増設メモリ（DIMM）を取り付けることにより、最大 288 MB のメモリまでプリンタをアップグレードすることができます。増設メモリは、128 MB または 256 MB（PC-100 または PC-133 準拠）の SDRAM DIMM を使用してください。メモリスロットは 1 つ使用できます。

A4 ／レターサイズ以上の用紙に、複雑で画像の多いページを両面印刷する場合に増設メモリが必要になります。

どれくらいのメモリ容量が必要？

プリンタに装着されているメモリ容量は、各用紙サイズに印刷できる解像度に影響を与えます。

プリンタに装着されているメモリが、選択された解像度で印刷するのに必要な最小限のメモリ容量に満たない場合、そのファイルは選択された解像度より低い、データ処理が可能な解像度で印刷されます。例えば、1200 × 600 dpi の解像度で 4 色の印字率の高いデータをリーガルサイズに片面印刷するには 64 MB のメモリが必要ですが、プリンタに装着されているメモリが 32 MB の場合、そのファイルは 600 × 600 dpi で印刷されます。

本プリンタは、すべてのプリントジョブを、装着されているメモリで対応可能な最大の解像度で印刷します。

必要なメモリ

本プリンタでは、標準で搭載している 32 MB のメモリで、4 色の標準的なビジネス文書（片面・両面とも）が解像度 2400 × 600 dpi で印刷できます。

しかし、ページいっぱいの写真画像など印字率の高いものを印刷するには、以下の表（概略）で示すようなメモリ容量が必要になります。

たいていの場合、メモリ容量を増加させるとパフォーマンスが向上します。

印刷タイプ	600 × 600 dpi				1200 × 600 dpi				1200 × 600 dpi 線画				2400 × 600 dpi			
	モノクロ		4 色カラー		モノクロ		4 色カラー		モノクロ		4 色カラー		モノクロ		4 色カラー	
用紙サイズ	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面	片面	両面
A4、レター	32	32	32	128	32	32	64	128	32	32	64	128	32	64	64	256
リーガル	32	32	32	128	32	32	64	128	32	32	64	128	32	64	64	256
備考	単位：MB															

印刷タイプ	2400 × 600 dpi 線画			
	モノクロ		4 色カラー	
用紙サイズ	片面	両面	片面	両面
A4、レター	32	64	64	256
リーガル	32	64	64	256
備考				

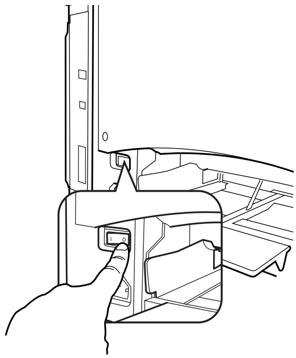
■ 操作パネル（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）でコンフィグレーションページを印刷し、プリンタに装着されているメモリの容量を確認してください。

メモリの取り付けかた

ご注意

コントローラボードや関連の基板、モジュールは、静電気にきわめて敏感です。コントローラボードを取り扱う作業では、静電気に十分注意してください。この操作を行う前に、「静電気防止の対策」（p.123）に載っている静電気防止の注意を確認してください。また、触るときは基板の縁を持ってください。

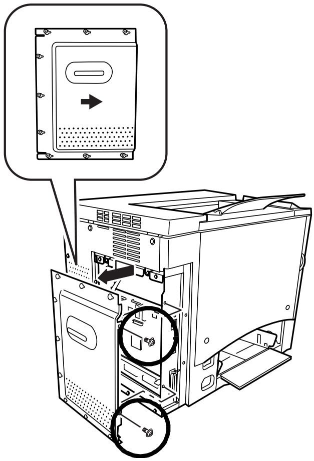
1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。



2 ドライバを使ってネジ9個をゆるめます。（ネジは取り外さないでください。）

3 右図で示すネジ 2 個を取り外します。金属パネルを右に少しずらし、プリンタから取り外します。

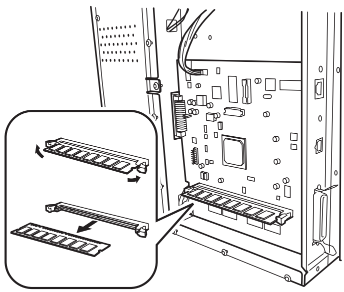
さらにメモリを追加する場合は、すでに装着されているメモリをより大きいメモリに交換してください。



4 メモリを取り付ける前にメモリを取り外す必要がある場合は、以下の手順で取り外してください。取り外す必要がない場合は、手順 5 に進んでください。

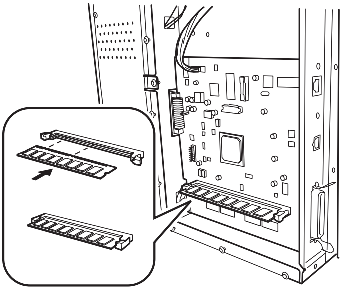
a 両方の親指で、留め金（DIMM スロットの両側にあります）を開きます。

b DIMM スロットからメモリをまっすぐ手前に取り出します。



5 メモリの切り欠きを DIMM スロットに合わせて、留め金がロックされる位置にはまるまでまっすぐ差し込みます。

メモリのコネクタ部分がスロットに合っていることを確認します。
メモリをしっかり差し込むことができない場合は、無理に押し込まないでください。メモリの底面が正しくスロットに差し込まれていることを確認して、もう一度取り付けてください。

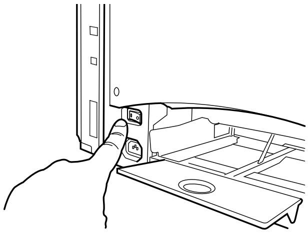


6 金属パネルを取り付け、位置を合わせてネジ 2 個で固定します。

7 手順 2 でゆるめたネジ 9 個をしめます。

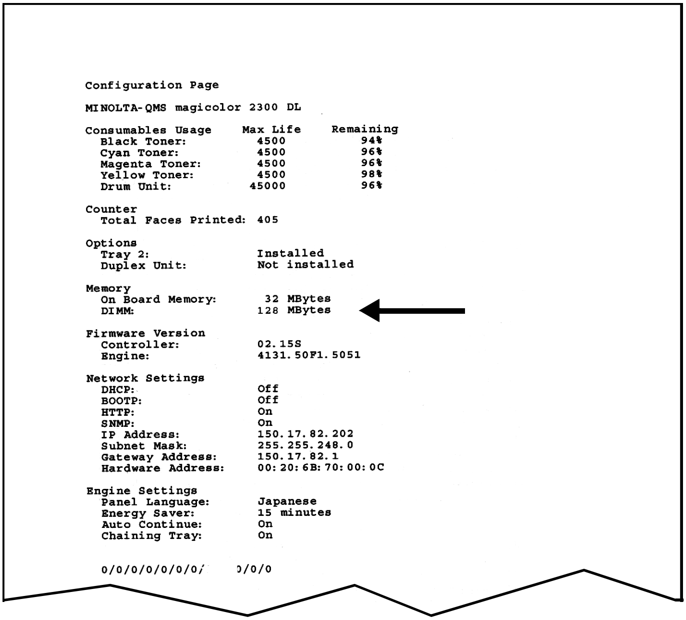
8 インターフェイスケーブルを接続します。

9 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



電源ケーブルの抜き差しがしやすいように設置してください。

10 **操作パネル（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）でコンフィグレーションページを印刷し、プリンタに装着されているメモリの総容量の表示を確認します。（「コンフィグレーションページを印刷する」（p.90）を参照。）**



Configuration Page

MINOLTA-QMS magicolor 2300 DL

Consumables Usage	Max Life	Remaining
Black Toner:	4500	94%
Cyan Toner:	4500	96%
Magenta Toner:	4500	96%
Yellow Toner:	4500	98%
Drum Unit:	45000	96%

Counter	
Total Faces Printed:	405
Options	
Tray 2:	Installed
Duplex Unit:	Not installed
Memory	
On Board Memory:	32 MBytes
DIMM:	128 MBytes
Firmware Version	
Controller:	02.15S
Engine:	4131.50F1.5051
Network Settings	
DHCP:	Off
BOOTP:	Off
HTTP:	On
SNMP:	On
IP Address:	150.17.82.202
Subnet Mask:	255.255.248.0
Gateway Address:	150.17.82.1
Hardware Address:	00:20:6B:70:00:0C
Engine Settings	
Panel Language:	Japanese
Energy Saver:	15 minutes
Auto Continue:	On
Chaining Tray:	On

0/0/0/0/0/0/0/ 0/0/0

日本語

両面プリントユニット の取り付け

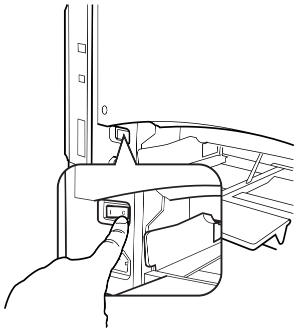
両面プリントユニットと十分なメモリが装着されていれば、自動的に両面印刷を行うことが可能です。「両面印刷」(p.29) を参照してください。

両面プリントユニットの構成

- 両面プリントユニット
- 段ネジ (2 個)

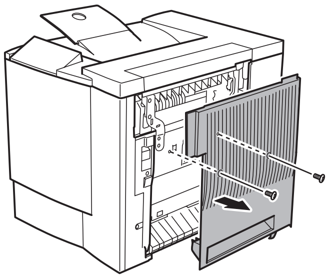
両面プリントユニットの取り付けかた

1 プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。



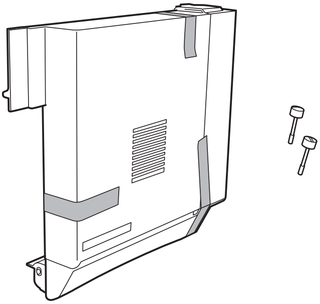
2 プリンタ右側のカバーを取り外します。ドライバを使い、2 つのネジを取り外します。

取り外したカバーとネジは、紛失しないよう注意し、大切に保管してください。



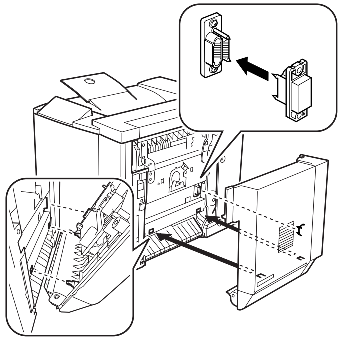
3 両面プリントユニットを箱から取り出します。

4 両面プリントユニットの保護テープをすべて取り除きます。



5 両面プリントユニットをプリンタに取り付けます。

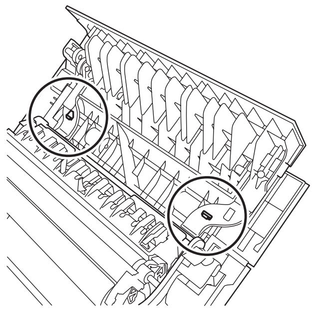
a 両面プリントユニット下部の2つのツメをプリンタの右側にある取り付け穴にはめ込みます。



b 両面プリントユニットを押し付けてプリンタに固定します。

c 両面プリントユニットを支えながらゆっくりとプリンタの右ドアを開きます。そして、右図の部分にツメがはまって両面プリントユニットが確実に固定されていることを確認します。

d プリンタの右ドアを閉じます。

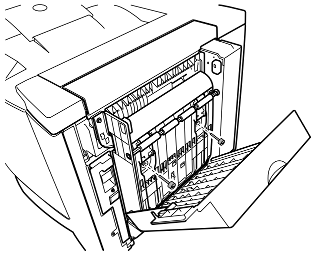


ご注意

両面プリントユニットをネジで固定するまでは手を離さないでください。ユニットが落下し、破損するおそれがあります。ネジで固定するまで、必ず両面プリントユニットを手で支えてください。

日本語

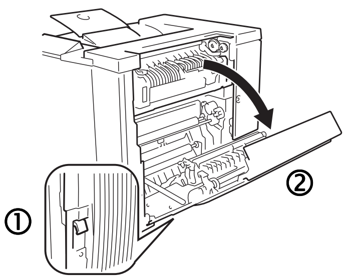
e 両面プリントユニットのカバーを開き、2 つの段ネジをしめて両面プリントユニットをプリンタに固定します。



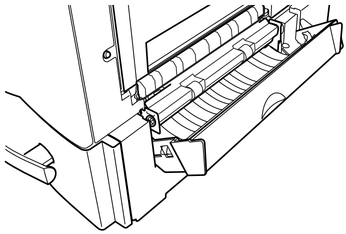
f 両面プリントユニットのカバーを閉じます。

6 両面プリントユニットのサポートワイヤをプリンタに取り付けます。

a 右ドア解除レバーを引いて、右ドアをゆっくり開きます。

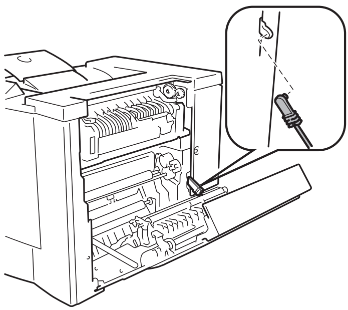


オプションの給紙ユニット装着時は、プリンタの右ドアが開くと同時に給紙ユニットの右ドアも開きます。



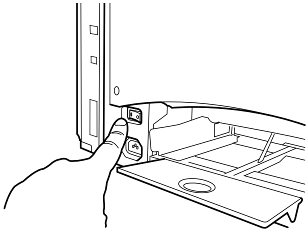
b 両面プリントユニットの右側からサポートワイヤのタブを引き出し、プリンタ側の取り付け穴に引っかけます。

c 右ドアを閉じます。



7 インターフェイスケーブルを接続します。

8 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



電源ケーブルの抜き差しがしやすいように設置してください。

9 操作パネル（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）でコンフィグレーションページを印刷し、オプションの両面プリントユニットの装着表示を確認します。（「コンフィグレーションページを印刷する」（p.90）を参照。）

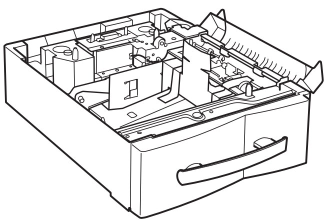
10 プリンタドライバの「デバイスオプション設定」タブで「両面プリントユニット」を「インストール済みオプション」に追加します。（「プリンタドライバのオプション／初期設定の設定」（p.8）を参照。）

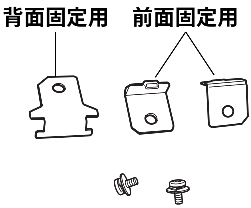
給紙ユニット（トレイ 2）の取り付け

オプションの給紙ユニットをプリンタに装着すると、給紙容量が増加し、A4 サイズの用紙をトレイ 2 から 500 枚給紙できます。

給紙ユニットの構成

- 給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）
- 固定板（3 個）
  - 前面固定用（2 個）
  - 背面固定用（1 個）
- ネジ（2 個）





日本語

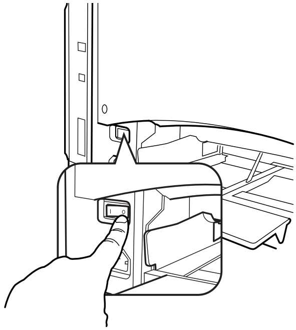
給紙ユニットの取り付けかた

ご注意

プリンタには消耗品が取り付けられているため、プリンタを動かすときは、トナーがこぼれないようプリンタを水平にして運んでください。

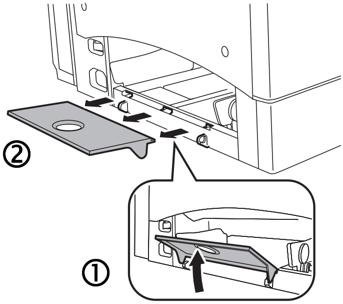
日本語

1 **プリンタの電源を切り、電源ケーブルとインターフェイスケーブルを取り外します。**



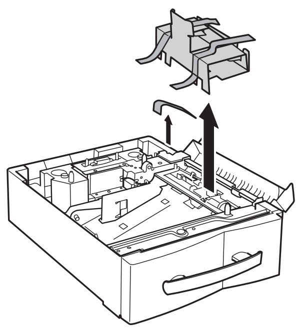
2 **トレイ 1 用紙サポートを取り外します。**

用紙サポートを少し上に持ち上げるようにしてプリンタからゆっくり取り外します。

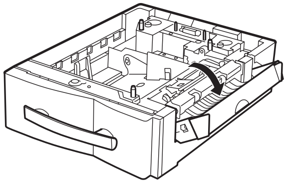


3 **給紙ユニットを箱から取り出し、プリンタの近くのテーブルなどの平らな場所に置きます。**

4 **給紙ユニットから保護テープ、保護材をすべて取り除きます。**



5　給紙ユニットの右ドアを開きます。



ご注意

必ず給紙ユニットの右ドアを開いてからプリンタをセットしてください。右ドアを閉じたままプリンタをセットすると、給紙ユニットが破損するおそれがあります。

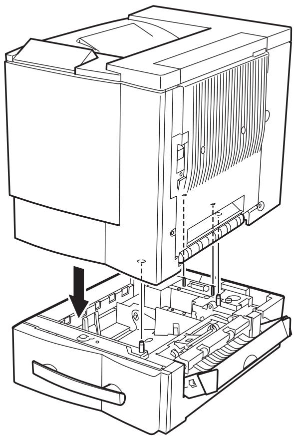
6　2 人でプリンタを持ち、給紙ユニットの上に置きます。

警告！

本プリンタは消耗品を含めて約 28 kg の重量があります。必ず 2 人以上で持ち上げて運んでください。

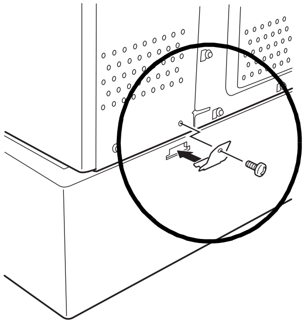
7　給紙ユニット位置決めピンをプリンタの底の受け穴に合わせて正しくセットします。

プリンタの左側面と給紙ユニットの左側面を合わせると、位置決めピンが正しくはまるようになっています。



日本語

8 背面用の固定板を取り付けます。

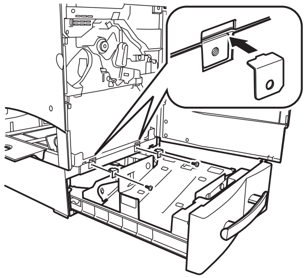


a プリンタ背面にあるネジ1つを取り外します。

b 固定板のタブを給紙ユニットの取りつけ穴に引っかけ、ネジ穴をプリンタ側のネジ穴に合わせます。

c ドライバを使い、a で取り外したネジでしめて固定します。

9 前面用の固定板を取りつけます。



a プリンタの前ドアを開き、給紙トレイを引き出します。

b 固定板（2 個）のタブをプリンタの取りつけ穴（2 箇所）に引っかけ、ネジ穴を給紙ユニット側のネジ穴に合わせます。

c ドライバを使い、付属のネジ 2 個でしめて固定します。

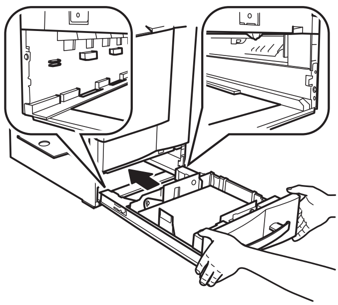
d 前ドア、給紙トレイを元に戻します。

10 右ドアを閉じます。

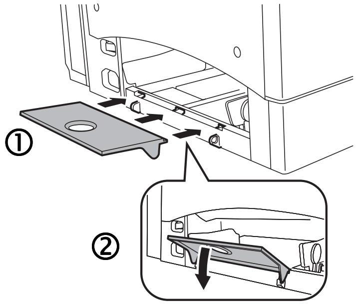
ご注意

給紙ユニット装着時にプリンタの右ドアを開くと、同時に給紙ユニットの右ドアが開きます。プリンタの右ドアを閉じるときは、忘れないように給紙ユニットの右ドアも閉じてください。

11 給紙トレイを引き抜いている場合は、給紙トレイをプリンタに挿入します。

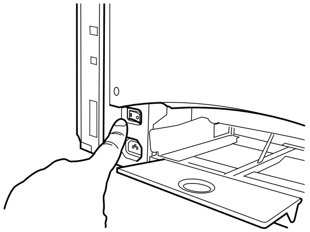


12 トレイ 1 用紙サポートを取り付けます。



13 インターフェイスケーブルを接続します。

14 電源ケーブルを接続し、プリンタの電源を入れます。



電源ケーブルの抜き差しがしやすいように設置してください。

15 操作パネル（ｽﾍﾟｼｬﾙ ﾍﾟｰｼﾞ / ﾌﾟﾘﾝﾄ ﾄｳｹｲﾃﾞｰﾀ ﾍﾟｰｼﾞ）でコンフィグレーションページを印刷し、オプションの給紙ユニットの装着表示を確認します。（「コンフィグレーションページを印刷する」（p.90）を参照。）

16 プリンタドライバの「デバイスオプション設定」タブで「トレイ 2」を「インストール済みオプション」に追加します。（「プリンタドライバのオプション／初期設定の設定」（p.8）を参照。）

付録 A

使用環境について

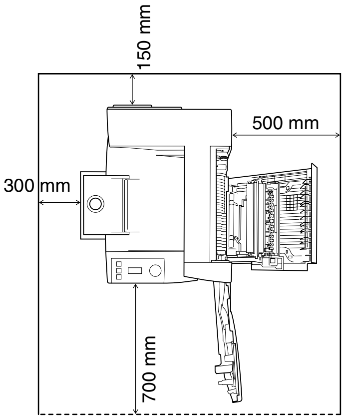
日本語

設置スペース

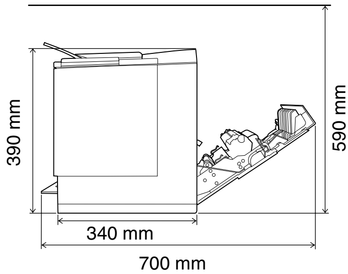
下図は、プリンタの操作、消耗品の交換、紙づまりした用紙の除去などで必要なスペースを示しています。

通気をよくし、修理をしやすいように、プリンタのまわりには十分なスペースを確保してください。出力結果を最も良い状態に保ち、消耗品の寿命を長くするために、プリンタを頑丈で水平な場所に設置してください。

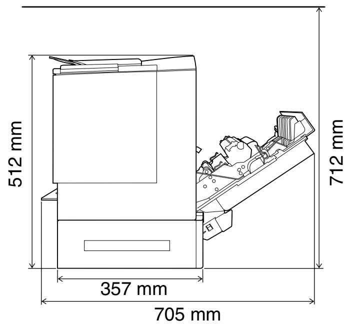
上から見た図



側面



オプション取り付け時



オプションの給紙ユニット装着時は、プリンタの高さが約 120 mm 高くなります。

設置場所

■ プリンタ（消耗品、オプションユニット、用紙を含む）の重量に耐えられる場所に設置してください。

構成要素	重量
プリンタ本体	25.7 kg
消耗品（トナーカートリッジ、ドラムカートリッジなど）	合計 2.8 kg
用紙	1.9 kg（坪量 75 g/m^2 の用紙の場合）
給紙ユニット（トレイ 2 を含む）	5.3 kg
両面プリントユニット	2.0 kg

次のような場所に設置してください。

■ 表面が固く、平らで、安定して、水平な（本体周辺がすべて± 1 ° 以下の傾きの）場所。
■ アース接地されている専用のコンセントに近い場所。
■ お使いのコンピュータに近い場所。
■ IEEE1284 の双方向パラレルケーブルの長さが 2 m 以下になる場所。
■ 使いやすさと適度な換気のため、十分に広い場所。
■ 周囲の温度が 10° C 〜 35° C、湿度が 15% 〜 85%。
■ 海抜 0 〜 2,500 m。

次のような場所には設置しないでください

■ 直射日光の当たる場所。
■ 暖房機や冷房機が近くにあり、温度差、湿度の差が激しい場所。
■ 風の吹く場所やほこりの多い場所。
■ 直火のある場所や燃えやすい場所。
■ 高電流の機器と同じコンセントに接続しないでください。
■ コピー機やエアコンなどノイズが発生する機器や、冷蔵庫など強い磁力や電磁力の発生する機器に近い場所。
■ 水、水道管、液体（飲物）の入れ物、腐食させる薬品や蒸気（アンモニアなど）に近い場所。
■ クリップやステープルの針などの細かい金属物が散らばっている場所。
■ 激しい振動が起こる場所。
■ プリンタが温度の低い部屋に置かれて急激に温度が上がった場合、また温度の低い場所から暖かく湿度の高い場所にプリンタを移動した場合、プリンタ内部で結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。結露が起こった場合は、使用する前に約 1 時間置いてその環境に適応させてください。
■ 加湿器や蒸発器がプリンタのある部屋にある場合は、精製した水または蒸留水を使用してください。水の中の不純物が空気中に放出されると、プリンタ内部に溜まり、印刷結果の低下の原因になります。

設置場所が水平かどうか確認してください。（例えば、丸い鉛筆を置いてどの方向にも転がらないこと。）
ケーブルなどの障害物がプリンタの下にはさまらないように、それらをどかし、設置場所が平らでプリンタが水平になるようにしてください。

日本語

警告！

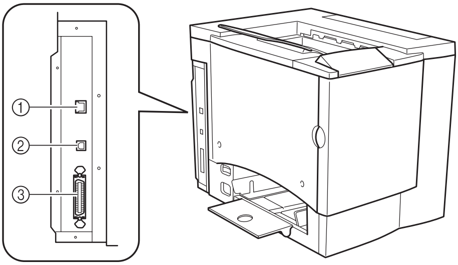
通気口をふさぐと、火災の危険があります。

- プリンタを移動するときは、できるだけ水平を保ち、傾けないよう注意してください。
- プリンタが温度の低い部屋に置かれて急激に温度が上がった場合、また温度の低い場所から暖かく湿度の高い場所にプリンタを移動した場合、プリンタ内部で結露が起こり、印刷品質が低下する可能性があります。結露が起こった場合は、使用する前に約 1 時間置いてその環境に適応させてください。
- 加湿器や蒸発器がプリンタのある部屋にある場合は、精製した水または蒸留水を使用してください。水の中の不純物が空気中に放出されると、プリンタ内部に溜まり、印刷品質低下の原因になります。

ご注意

アース線をガス管、水道管、電話専用アースに接続しないでください。

インターフェイスパネル



用途、使用環境に応じて次の 3 つをサポートしています。

① イーサネット（Ethernet）ポート

ツイストペア線（RJ45）の イーサネットケーブルでプリンタのイーサネットポートを 10Base-T/100Base-TX ネットワークに接続します。

② USB ポート

USB ケーブル（タイプ B）で、プリンタの USB ポートとコンピュータの USB ポートを接続します。

③ パラレルポート

IEEE 1284 双方向パラレルケーブルで、プリンタのパラレルポートとコンピュータのパラレルポートを接続します。

電源仕様

警告！

電源プラグを 100 V、13 A 以上のコンセントに接続してください。他の機器と同じコンセントに接続しないでください。過熱による火災や感電のおそれがあります。電源ケーブルのアース線は、火災や感電を起こさないように正しいアースに接続してください。

電源ケーブルの抜き差しがしやすいように設置してください。

電源	AC 100 V; 50/60 Hz
	注：アンペア数は、プリンタが使用するアンペア数の 1.2 **倍以上の容量が必要です。**
電圧の変動率	AC 100 V ±10%
	注：機械が問題なく動作するための電圧の変動率は 10% **です。**
周波数の変動率	50 〜 60 Hz ±3 Hz
最大電流	**動作時：**8 A
ノイズ発生機器	**プリンタが接続しているコンセントには他の機器を接続しないでください。**
接地	**プリンタは** AC **コンセントのアース端子に正しくアース接続してください。**

国際エネルギースタープログラム

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

国際エネルギースタープログラム対象製品とは？

国際エネルギースタープログラム対象製品とは、地球温暖化抑制に貢献する事を目的に作られた製品です。一定時間印刷を行わない場合、自動的に低電力モードに移行する機能が搭載されています。この機能により本機未使用時の消費電力を、効率的かつ経済的にコントロールしています。

プリンタ部とコントローラ部の仕様

日本語

プリンタ部

最大負荷サイクル	1ヶ月に A4 サイズの用紙に片面印刷で 平均 1,000 枚、最大 35,000 枚まで *
備考	負荷サイクルは、用紙の種類や印字率によっても変わります。 * このサイクルで連続して使用すると、プリンタの寿命が短くなります。

プリント速度 — 片面印刷

下の表は最大のプリント速度を分単位のページ数（ppm）で示しています。

用紙サイズ	モノクロ印刷（ppm）	4 色カラー印刷（ppm）
A4/ レター以下	16	4
OHP フィルム （A4/ レター）	2.5	1.6
ラベル紙／厚紙 （A4/ レター）	3.3	2.0

プリント速度 — 自動両面印刷

下の表は最大のプリント速度を分単位のページ数（ppm）で示しています。

用紙サイズ	モノクロ印刷（ppm）	4 色カラー印刷（ppm）
A4	10	4
レター	10	4

プリンタ全般

プリンタタイプ	デスクトップ、ノンインパクト、カラープリンタ
プリント方式	露光方式：半導体レーザー＋ポリゴンミラー 記録：電子写真方式 処理：シアン、マゼンタ、イエロー、ブラックトナーの各画像を用紙に転写 定着：ヒートローラー
トナー	タイプ：乾式、一成分 パッケージ：ユーザー交換可能なトナーカートリッジ
解像度	600 × 600 dpi、1200 × 600 dpi、2400 × 600 dpi
ウォームアップ時間	180 秒以下
給紙	標準：200 枚多目的トレイ オプション：給紙ユニット（500 枚給紙トレイ付き）
排紙	プリンタ上部の排紙トレイ：200 枚（A4/ レターの場合）
用紙サイズと坪量	「用紙の取り扱い」（p.11）参照。
用紙の種類	「用紙の取り扱い」（p.11）参照。
備考	両面印刷に対応している用紙の坪量は 60 ～ 90 g/m^2

コントローラ部

CPU	Power PC 405 Core (200 MHz)
常駐エミュレーション	Zj stream ASCII printing— コントロールコマンドを含むシンプルテキストデータ
フォント	固定ピッチ、固定サイズの 1 フォント（コンフィグレーションページの印刷と Windows サーバのバナープリント用）
標準インターフェイス	イーサネット（Ethernet）—10BaseT/100BaseTX パラレル — セントロニクス /IEEE 1284 双方向 USB—USB (version 1.1) Type B コネクタ
メモリ	タイプ：PC-100 または PC-133 準拠の SDRAM DIMM 標準メモリ：32 MB 総メモリ：288 MB まで増設可能
オプションのメモリ	128 MB、256 MB の DIMM

電気特性

電圧と電力

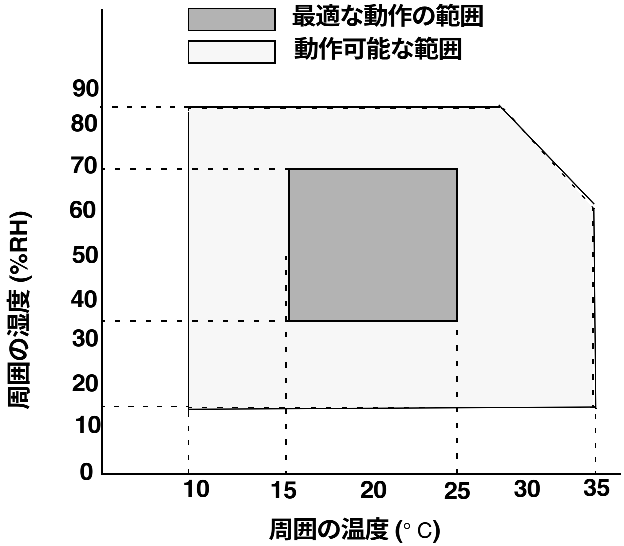
電圧／周波数	100 V ±10%、50/60 Hz		
位相	シングル		
消費電力	モード	平均	最大
	モノクロ印刷中 カラー印刷中 待機中 省電力	600 W 以下 450 W 以下 250 W 以下 30 W 以下	1100 W 以下
認証	国際エネルギースタープログラム		

電流

モード	平均
動作中（100 V） 突入電流	6.0 A 以下 50 A 以下（0-Peak）

環境

ノイズレベル	**印刷中：** 54 dB (A) **以下** **待機中：** 39 dB (A)
相対湿度	**動作中：** 15 〜 85% RH（**結露なきこと**） **移動中／保管中：** 30 〜 85% RH（**結露なきこと**） **湿度変化：** 1 **時間に** 20% **以下**
温度範囲	**動作中：** 10 〜 35° C **移動中／保管中：** 0 〜 35° C **温度変化：** 1 **時間に** 10° C **以下**
高度	**動作中：** 0 〜 2,500 m **最低気圧限界値：** 74.1 kPa **移動中／保管中の気圧：** 74.0 〜 101.3 kPa
傾き	**動作中：プリンタ周辺すべて傾きが** ±1° **以下**



化学物質の報告

製品安全データシート（Material Safety Data Sheets (MSDS)）	Title 29 CFR Ch. XVII, Part 1920.1200

物理特性

	本体	オプションの給紙ユニット装着時	オプションの給紙ユニットおよび両面プリントユニット装着時
外形寸法	**W:** 356 mm **H:** 392 mm **D:** 500 mm	**W:** 360 mm **H:** 513 mm **D:** 500 mm	**W:** 406 mm **H:** 513 mm **D:** 500 mm
重量（消耗品を含まない場合）	25.7 kg	**プリンタ：**25.7 kg **給紙ユニット：**5.3 kg	**プリンタ：**25.7 kg **給紙ユニット：**5.3 kg **両面ユニット：**2.0 kg
重量（消耗品を含み、用紙を含まない場合）	28.5 kg	33.8 kg	35.8 kg

日本語

消耗品の寿命（詳細）

日本語

記載している各消耗品の寿命の目安は、一定の印刷条件（用紙の種類、用紙サイズ、印刷内容）の場合のもので、通常は A4/ レター用紙で印字率 5%、連続印刷時の値です。

実際の寿命は、上記のような印刷条件や、連続印刷（平均 4 ページのプリントジョブが消耗品には最良です）か間欠的な印刷（例えば 1 ページのプリントジョブを複数回印刷する場合）などの印刷方法の違いによって異なります（短くなります）。また、周囲の気温や湿度も影響します。

MINOLTA-QMS 製以外の消耗品や弊社推奨品以外の用紙を使用してプリンタが損傷した場合は、保証の対象になりません。弊社推奨品以外の消耗品、オプションの使用によりプリンタが損傷した場合は、有償修理となります。

■ 普通紙、A4/ レターサイズ、印字率 5% の場合

消耗品	平均の寿命の目安
ドラムカートリッジ	モノクロの連続印刷で約 45,000 ページ 4 色カラーの連続印刷で約 11,250 ページ モノクロの単ページ印刷（間欠的な印刷）で約 10,000 ページ 4 色カラーの単ページ印刷で約 7,500 ページ
トナーカートリッジ	**標準サイズ（ブラック）：** 片面の連続印刷で約 1,500 ページ 片面の単ページ印刷で約 1,000 ページ （モノクロ印刷のみの場合）
	標準サイズ（イエロー、マゼンタ、シアン）： 片面の連続印刷／単ページ印刷で約 1,500 ページ
	大容量サイズ（ブラック）： 片面の連続印刷で約 4,500 ページ 片面の単ページ印刷で約 3,200 ページ （モノクロ印刷のみの場合）
	大容量サイズ（イエロー、マゼンタ、シアン）： 片面の連続印刷／単ページ印刷で約 4,500 ページ
廃トナーボトル	モノクロの連続印刷で約 25,000 ページ モノクロの単ページ印刷で約 14,400 ページ 4 色カラーの連続印刷／単ページ印刷で約 6,250 ページ

■ 普通紙以外の用紙（厚紙、OHP フィルムなど）、A4/ レターサイズ、印字率 5% の場合

消耗品 （特殊紙使用時）	平均の寿命の目安
ドラムカートリッジ	モノクロの連続印刷で約 15,000 ページ 4 色カラーの連続印刷で約 7,500 ページ モノクロの単ページ印刷（間欠的な印刷）で約 5,000 ページ 4 色カラーの単ページ印刷で約 4,100 ページ
トナーカートリッジ	**標準サイズ（ブラック）：** 片面の連続印刷で約 1,500 ページ 片面の単ページ印刷で約 1,000 ページ （モノクロ印刷のみの場合）
	標準サイズ（イエロー、マゼンタ、シアン）： 片面の連続印刷／単ページ印刷で約 1,500 ページ
	大容量サイズ（ブラック）： 片面の連続印刷で約 4,500 ページ 片面の単ページ印刷で約 3,200 ページ （モノクロ印刷のみの場合）
	大容量サイズ（イエロー、マゼンタ、シアン）： 片面の連続印刷／単ページ印刷で約 4,500 ページ
廃トナーボトル	モノクロの連続印刷で約 25,000 ページ モノクロの単ページ印刷で約 14,400 ページ 4 色カラーの連続印刷／単ページ印刷で約 6,250 ページ

消耗品の購入に関する情報、部品番号、価格などについては、お近くの販売店または弊社 Web ページ（www.minolta-qms.co.jp）にアクセスしてご確認いただけます。

適合宣言文

日本語

■ 電波障害について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に接近して使用されると受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

この装置は、シールドタイプのインターフェイスケーブルおよびネットワークケーブルを使用して下さい。ノンシールドケーブルを使用するとラジオやテレビジョン受信機の受信障害を引き起こすことがあり、VCCI 規制で禁止されています。

■ 高調波対策ガイドライン

本機器は社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会が定めた複写機及び類似の機器の高調波対策ガイドライン（家電・汎用品高調波抑制対策ガイドラインに準拠）に適合しています。

安全にお使いいただくために

トナー	
⚠ 警告	
🚫	トナーまたはトナーの入った容器を火中に投じないでください。トナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。
注意：お子様の手の届かないところに保管してください。	

レーザーの安全性
本機は、レーザーを使用するプリンタです。本マニュアルに記載の指示事項を守って動作させる限り、レーザーの危険にさらされることはありません。 レーザー光放射は、保護カバーの中に完全に遮蔽されていますので、ユーザー使用のどの段階においても、レーザー光が機外に漏れ出すことはありません。 本機はクラス 1 レーザー製品として認定されています。従って、本機が危険なレーザー放射を発生させることはありません。

内部レーザー放射

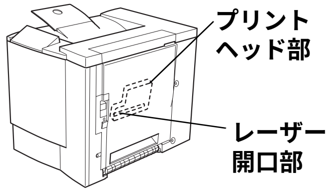
最大平均放射パワー：4.68 μW（PC **ドラム面にて**）

波長：770 〜 795 nm

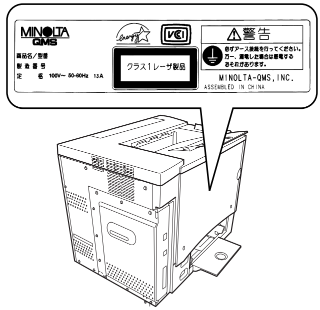
本機は、クラス 3b のレーザーダイオードを使用し、不可視のレーザー光を放射します。プリントヘッド部（プリンタ内部のトナーカートリッジの前にあります）には、このレーザーダイオードと読み取り用ポリゴンミラーが組み込まれています。
プリンタヘッド部には、プリントヘッドとミラーユニットが入っています。レーザー光は、プリントヘッドユニットから出力され、ミラーユニットを通り、プリンタ内部のミラーユニットのレーザー開口部から放射されます。

⚠ 警告

プリントヘッド部及びミラーユニットは市場保守調整品目ではありません。したがって、プリントヘッド部及びミラーユニットは、どのような状況でも開けないでください。



レーザー安全ラベル



⚠ 警告

警告：ここに規定した以外の手順による制御や調整は危険なレーザー放射の被ばくをもたらす恐れがあります。

これは半導体レーザーです。このレーザーダイオードの最大出力は 5 mW で、波長は 770 〜 795 nm です。

オゾン放出

本機の使用中は少量のオゾンが発生しますが、その量は人体に悪影響を及ぼさないレベルです。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用したり、大量に印刷を行ったりする場合には臭気が気になることがあります。
快適な環境を保つために、定期的な部屋の換気をお勧めします。

本製品をお使いになる前に、本項を必ずお読みください。本項ではユーザーの安全に関する情報と機械による事故・問題を回避するための重要な情報が記されています。

ここに記載されているすべての注意文をよくお読みください。

ご購入いただいた製品によっては、本項の内容と一部合致しないものがありますが、ご了承ください。

警告および注意記号の意味

警告 または 警告！	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性がある内容を示しています。
注意 または ご注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性または物的損害のみを負う可能性がある内容を示しています。

絵記号の意味



この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。



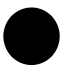
例）「高温注意」を表す絵表示



この記号は禁止の行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。



例）「分解禁止」を表す絵表示

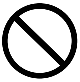
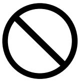
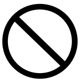


この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。記号の中や近くに具体的内容が書かれています。



例）「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠警告

	• 本製品を改造しないでください。火災・感電・故障のおそれがあります。また、レーザーを使用している機器にはレーザー光源があり、失明のおそれがあります。 • 本製品の固定されているカバーやパネルなどは外さないでください。製品によっては、内部で高電圧の部分やレーザー光源を使用してるものがあり、感電や失明のおそれがあります。
	• 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。 • 表示された電源電圧以外の電圧で使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。 • たこあし配線はしないでください。コンセントに表示された電流値を超えて使用すると、火災や感電のおそれがあります。
	濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
	電源プラグはコンセントに確実に差し込んでください。火災や感電のおそれがあります。
	• 電源コードを傷つけたり、加工したり、重いものを載せたり、加熱したり、無理にねじったり、曲げたり、引っぱったりして破損させないでください。傷んだ電源コード（芯線の露出、断線等）を使用すると火災のおそれがあります。 万一この様な状態を発見した場合、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。 • 原則的に延長コードは使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、担当サービスマンにご相談ください。
	本製品の上に水などの入った花瓶等の容器やクリップ等の小さな金属物などを置かないでください。こぼれて製品内に入った場合、火災や感電のおそれがあります。 万一、金属片・水・液体等の異物が本製品の内部に入った場合には、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。
	• 本製品が異常に熱くなったり、煙・異臭・異音等の異常が発生した場合には、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災や感電のおそれがあります。 • 本製品を落したり、カバーを破損した場合は、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスマンにご連絡ください。そのまま使用しますと、火災や感電のおそれがあります。
	トナーもしくはトナーカートリッジは火の中に投じないでください。燃えたトナーが飛び散り、やけどのおそれがあります。



必ずアース接続してください。アース接続をしないで、万一漏電した場合は火災や感電のおそれがあります。なお、アース接続できない場合は、担当サービスマンにご相談ください。
アースを接続する場合は必ず電源プラグを電源に取り付ける前に行ってください。

＊ アース接続を取り外す場合は必ず電源プラグを電源から取り外してから行ってください。

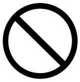
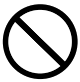
＊ アース線を接続する場合は、以下のいずれかの場所に取り付けるようにしてください。

- コンセントのアース端子
- 接地工事を施してある接地端子（第 D 種）

次のような所には絶対にアース線を取り付けないでください。

- ガス管（ガス爆発の原因になります。）
- 電話専用アース（落雷時に大きな電流が流れ、火災や感電のおそれがあります）
- 水道管（途中が樹脂になっていて、アースの役目を果たさない場合があります）

⚠ 注意

	• 本製品の周囲で引火性のスプレーや液体、ガス等を使用しないでください。火災の原因となります。 • トナーユニットや感光体ユニット等を子供の手の届くところに放置しないでください。なめたり食べたりすると健康に障害をきたす原因になることがあります • 本製品の通風孔をふさがないでください。内部に熱がこもり、火災や故障の原因となることがあります。 • 本製品を直射日光の当たる場所、エアコン、暖房器具のそばに設置しないでください。製品内部の温度変化により機能障害や、火災や感電の原因となります。 • 本製品をホコリの多い場所や調理台・風呂場・加湿器のそばや油煙・湯気の当たる場所には置かないでください。火災•感電•故障の原因となることがあります。 • 本製品を不安定な台の上や傾いたところ、振動・衝撃の多いところに置かないでください。落ちたり、倒れたりして、ケガや故障の原因となることがあります。 • 本製品を設置したら固定脚を使用して固定してください。動いたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。 • トナーユニットや感光体ユニットは、フロッピーディスクや時計等磁気に弱いものの近くには保管しないでください。これら製品の機能に障害を与える可能性があります。
	本製品の内部にはやけどの原因となる高温部分があります。紙づまりの処置など内部を点検するときは、「高温注意」表示がある部分（定着器周辺など）に触れないでください。
	電源プラグのまわりに物を置かないでください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。
	機器の近くにコンセントがあり、かつ容易に抜き差しできるようにしてください。非常時に電源プラグを抜けなくなります。
	• 本製品を換気の良い場所で使用してください。換気の悪い状態で長期間使用すると健康に障害を与える可能性がありますので、定期的に部屋の換気等をしてください。 • 本製品を移動する際は、先ず電源コードや他のケーブル類を外してください。コードが傷つき、火災・感電・故障の原因となることがあります。 • 本製品を移動する際は必ず取扱説明書等で指定された場所を持って移動してください。製品が落下してけがの原因となります。また、製品が変形して故障の原因となります。 • 電源プラグは年１回以上コンセントから抜いて、プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると、火災の原因となることがあります。 • 電源プラグを抜く時は、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱって抜くとコードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。

日本語

末永くご使用いただくために

	• トナーユニットや感光体ユニットなどを含む消耗品は直射日光の当たる場所、高温・多湿の場所には保管しないでください。画像品質の劣化や機能不良の原因となることがあります。 • トナーユニットや感光体ユニットを直射日光の当たる場所で交換しないでください。感光体に強い光が当たると画像品質の劣化の原因となります。 • トナーユニットや感光体ユニット等の包装は、使用直前まで開封しないでください。また、開封済のユニットを放置しないでください。画像品質の劣化の原因となります。 • トナーユニットや感光体ユニット等は、立てたり逆さにして保管しないでください。画像品質の劣化の原因となります。 • トナーユニットや感光体ユニット等を投げたり落したりしないでください。画像品質の劣化の原因となります。 • 本製品をアンモニアガス等、化学薬品が発生する場所には置かないでください。製品の寿命が短くなったり、故障や誤動作の原因となります。 • 本製品は取扱説明書に記載された温度範囲外のところで使用しないでください。故障や誤動作の原因となります。 • ステープル止めされた用紙やカーボン紙、アルミホイル等を通紙しないでください。機能障害や故障の原因となることがあります。
	トナーユニットの現像ローラーや感光体の表面に手を触れたり、傷を付けないでください。画像品質の劣化の原因となります。
	消耗品は弊社推奨品をご使用ください。推奨外品の使用は画像品質の劣化や故障の原因になることがあります。

使用上のご注意

警告！

誤った取り扱いをすると健康に害を及ぼしたり、感電、火災を引き起こすおそれがあります。プリンタを梱包箱から取り出す前に、安全上の注意事項、使用上の注意事項をよくお読みください。

日本語

電源／電源コード／コンセント

次の点にご注意ください。

- 仕様に合った電源電圧以外の電源を使用しないでください。火災や感電のおそれがあります。
- 電源コードの破損を発見した場合、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電のおそれがあります。
- 電源プラグはしっかりコンセントに接続し、コンセントは電源プラグの抜き差しがしやすく、常によく見えるようにしてください。
- 電源コードにプリンタなどの重いものを乗せたりしないでください。電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。
- 連休等で長期間本機を使用しない場合は、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 延長コードが必要な場合は、本製品の消費電力以上の容量を持っている延長コードを使用してください。容量が不足すると、過熱して火災のおそれがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱるとコードが傷つき、火災、感電のおそれがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電のおそれがあります。
- 電源コードを引っぱったりねじったりすると、電源コードを傷め、火災、感電のおそれがあります。
- 本機を移動する際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。電源コードを傷め、ショート、火災のおそれがあります。
- 印刷中は電源を切らないでください。

プリンタ本体

次の点にご注意ください。

- 本マニュアルに記載されている使用方法にしたがってください。誤った取り扱いをすると、火災や感電のおそれがあります。
- 本機が異常に熱くなったり、煙、異臭、異音がするなどの異常が発生した場合は、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の上に重いものを乗せないでください。
- 磁石や磁力の強いものを本機に近づけないでください。
- 本機の上に花瓶やコップなど、液体の入ったものを置かないでください。液体がこぼれて中に入った場合、火災、感電のおそれがあります。水分が本機の内部に入った場合は、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の通風口などから、クリップやステープル針などの金属片を落とさないでください。火災、感電の原因になります。
  金属片が本機の内部に入った場合は、ただちに電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 印刷中にカバーを開けないでください。
- 可燃性のスプレー、水分、ガスを本機に近づけないでください。
- 固定されているカバーやパネルなどは、指示がない限り、絶対に外さないでください。内部には電圧の高い部分があり、火災、感電のおそれがあります。

索引